



ライオンズクラブ国際協会331-C地区

2025.7~2026.6
室蘭キャビネット



MISSION 1.5

第1回 キャビネット会議 資料



—— keyword ——

Take Action
「行動起こす」

2025年8月9日(土)

於:蓬峯殿 室蘭市宮の森町1-1

誇りをもとう

地区ガバナー スローガン

未来へつなぐ奉仕の心

LIONSCLUB 331-C DISTRICT GOVERNOR'S CABINET

【 目 次 】

● GAT・GMA 会議次第座席表	
長期計画リサーチ委員会次第座席表・名誉顧問会次第座席表	P. 1～5
● 第1回キャビネット会議座席表	P. 6
● 第1回キャビネット会議懇親会座席表	P. 7
● 第1回キャビネット会議出席者名簿	P. 8～10
● 物故会員	P. 11
● 第1回キャビネット会議次第	P. 12～13
● ガバナースローガン・シンボルマーク	P. 14
● ガバナー基本方針	P. 15
● ガバナー紹介	P. 16
● 第72回地区年次大会ガバナーズアワード（案）	P. 17
● 審議事項	
➤ キャビネット幹事・会計選任（同意書）について	P. 19
➤ 幹事・会計の担保について	P. 22
➤ 地区会計監査の委嘱について	P. 23
➤ キャビネット一般収支予算（案）（収入）について	P. 24
➤ キャビネット一般収支予算（案）（支出）について	P. 25
➤ 青少年育成費収支予算（案）について	P. 26
➤ エコー紙・IT活動費発行費収支予算（案）について	P. 27
➤ 今年度クラブ拠出金一覧（案）について	P. 28
➤ 今年度取引銀行・事務局案内について	P. 29
➤ 地区キャビネット旅費支給規定（案）について	P. 30～32
➤ キャビネット慶弔規定（案）について	P. 33
➤ 地区ガバナー公式訪問日程予定表について	P. 34
➤ クラブ提出議案について	P. 35
➤ 推薦状	P. 36～37
● 国際レベル資料	P. 39
● 日本レベル資料	P. 41～96
● 331複合レベル資料	P. 97～98
● 331-C地区報告	P. 99～104
● マンスリーレポート（2023.7～2024.5）	P. 105～108
● LCIF状況（2023.7～2024.5）	P. 109～112
● 就任挨拶・活動方針	P. 113～149

ライオンズクラブ国際協会 331 - C 地区

第 1 回 GAT・GMA 会議

会議次第

日 時 2025 年 8 月 9 日 (土) 12:00~13:00
場 所 蓬峯殿 1F 黎明の間
司 会 地区キャビネット幹事 L 門脇 宏幸
記 録 キャビネット運営委員長 L 西條 隆

1 地区ガバナー挨拶 L 高橋 伸介

2 諮問事項

(1) 今期の方針説明と協力要請
地区ガバナーより説明

(2) 各コーディネーターからの連絡事項

(3) 各 ZC から連絡事項

(4) 公益財団 日本ライオンズ委員会立上げについて
委員長 本所 光男 L より説明

3 その他 質疑応答

GMA・GAT会議座席表

第1副地区ガバナー L 山本 憲治	地区ガバナー L 高橋 伸介	地区名誉顧問 (公)日本ライオンズ委員長 L本所 光男	地区第2副地区ガバナー L 作並 真一
----------------------	-------------------	-----------------------------------	------------------------

GMTコーディネーター L 庄司 典弘	WYPTコーディネーター L 相原 慎太郎	地区ガバナー L 高橋 伸介	地区名誉顧問 (公)日本ライオンズ委員長 L本所 光男	第1R第1Z ゾーンチェアパーソン L 仁礼 法秀	第3R第2Z ゾーンチェアパーソン L 田中 秀治
GLTコーディネーター L 石戸 保	GLT副コーディネーター L 三上 一徳	第1副地区ガバナー L 山本 憲治	地区第2副地区ガバナー L 作並 真一	第2R第1Z ゾーンチェアパーソン L 阪井 大輔	第5R第1Z ゾーンチェアパーソン L 平野井 裕
GSTコーディネーター L 石原 諭	GET副コーディネーター L 前川 弘亘	キャビネット幹事 L 門脇 宏幸	キャビネット会計 L 児島 克己	第2R第2Z ゾーンチェアパーソン L 古谷 征宗	第5R第2Z ゾーンチェアパーソン L 真保 郵生
GETコーディネーター L 西條 隆				第3R第1Z ゾーンチェアパーソン L 遠藤 勝也	

オブザーバー 第2R第1Zゾーン委員 L 小谷 孝夫

ライオンズクラブ国際協会 331 - C 地区

第 1 回 長期計画リサーチ委員会

会議次第

日時 2025 年 8 月 9 日 (土) 13:00~14:00

場所 蓬峯殿 2F 銀河の間

司会 キャビネット運営委員会 副委員長 L 今野 幹大

記録 //

- 1 地区ガバナー挨拶 L 高橋 伸介

- 2 長期計画リサーチ委員会委員長挨拶 地区名誉顧問 L 渡部 義男

- 3 諮問事項
 - (1) ガバナーより今期の行動説明

 - (2) 各コーディネータからの連絡事項
GMT・GLT・GST・WYPT・GET・LCIF

 - (3) キャビネット事務手続き引継ぎについて
地区ホームページ・ライオンポータル・EMMR サバンナの管理について

 - (4) 今後のガバナー公式訪問について
他地区では、1 リジョン 1 回の開催 (現在は 8 か所の開催)
今後は、1 リジョン 1 回の開催で 5 回にしては
(函館) (木古内・松前) (江差・北檜山・奥尻) (小樽) (黒松内・倶知安・余市) (苫小牧) (静内・新冠) (室蘭・登別・伊達)

 - (5) 各クラブ提出議案返答書

- 4 その他 (質疑・応答)

ライオンズクラブ国際協会 331 - C 地区

第1回 名誉顧問会 会議

会議次第

日 時 2025年8月9日(土) 14:00~15:00

場 所 蓬峽殿 2F 慶雲の間

司 会 キャビネット運営委員会 委員長 L 西條 隆

記 録 //

- 1 地区ガバナー挨拶 L 高橋 伸介

- 2 地区名誉顧問 議長代理挨拶 元地区ガバナー L 馬場 哲也

- 3 諮問事項
 - (1) 今期の方針説明と協力要請
会員増強(ミッション1.5の件 LCIFのご協力と、災害準備交付金について)
 - (2) 今後のガバナー公式訪問について
他地区では、1リジョン1回の開催(現在は8か所の開催)
今後は1リジョンで1回で5回の開催としては
(函館)(木古内・松前)(江差・北檜山・奥尻)(小樽)(黒松内・倶知安・余市)(苫小牧)(静内・新冠)(むろらん・登別・伊達)
 - (3) 地区の予算について
各予算・補正予算が出てからでないと言予算が少ないことから次期繰り越し金の扱いについて
 - (4) 各クラブ提出議案返答書

- 4 キャビネット事務手続きについて
地区ホームページ・ライオンポータル・EMMR サバンナの管理について

- 5 その他 質疑応答

長期計画リサーチ委員会座席表 2F 銀河の間

(13:00~14:00)

司会 キャビネット運営委員会 副委員長 L 今野 幹大

L 作並真一	L 渡部義男	L 高橋伸介	L 山本憲治
--------	--------	--------	--------

L 馬場哲也
L 須藤敏幸
L 庄司典弘
L 石戸保
L 石原諭
L 西條隆
L 相原慎太郎

L 本所光男
L 佐々木忠康
L 松浦則雄
L 門脇宏幸
L 児島克己
L 後藤 彰
オブザーバー L 三上一徳
オブザーバー L 前川弘亘

地区名誉顧問会座席表 2F 慶雲の間

(14:00~15:00)

司会 キャビネット運営委員会 委員長 L 西條 隆

第二副地区ガバナー L 作並真一	L 馬場哲也	地区ガバナー L 高橋伸介	第一副地区ガバナー L 山本憲治
---------------------	--------	------------------	---------------------

L 渡部義男		L 本所光男
L 須藤敏幸		L 佐々木忠康
L 中村全博		L 松浦則雄
L 北島孝雄		L 奥山幸一
L 吉原成昌		L 荒川隆志
	オブザーバー L 児島克己	オブザーバー L 門脇宏幸

ライオンズクラブ国際協会331-C地区キャビネット
第1回キャビネット会議 (1F明庭の間)

2025年8月9日(土) 15:10~18:00 蓬萊殿

司会 キャビネット運営委員会 副委員長 L高臣 陽太
 記録者 キャビネット運営委員会 副委員長 L大島 秀雄
 記録者 キャビネット運営委員会 副委員長 L山木 博孝

入口

		L 後藤 彰 <small>長期計画リーダー委員会委員長</small>	L 阪本 尚哉 <small>地区会計監査</small>	L 広地 紀彰 <small>地区会計監査</small>	L 本所 光男 <small>元地区ガバナー 相談役</small>	L 佐々木 忠	L 松浦 則雄 <small>元地区ガバナー</small>	L 奥山 幸一 <small>元地区ガバナー</small>		L 荒川 隆志 <small>元地区ガバナー</small>
L 児島 克己 <small>キャビネット会計</small>	L 門脇 宏幸 <small>キャビネット幹事</small>	L 作並 真一 <small>第二副地区ガバナー</small>	L 山本 憲治 <small>第一副地区ガバナー</small>	L 高橋 伸介 <small>地区ガバナー</small>	L 渡部 義男 <small>元地区ガバナー</small>	L 馬場 哲也 <small>元地区ガバナー</small>	L 須藤 敏幸 <small>元地区ガバナー 相談役</small>	L 中村 全博 <small>元地区ガバナー</small>	L 北島 孝雄 <small>元地区ガバナー</small>	L 吉原 成昌 <small>元地区ガバナー</small>

	地区GMT L庄司典弘
地区GLT副 L三上一徳	地区GLT L石戸保
	地区GST L石原諭
地区GET副 L前川弘巨	地区GET L西條隆
	地区WYPT L相原慎太郎
地区LCIF副 重複	

演題

ECHO委員会 副委員長 L小林 秀光	ECHO委員会 委員長 L永井 武憲
	次世代委員会 委員長 L瀬野 秀紀
	会川委員会 委員長 L戸田 克利
	クエスト委員会 委員長 L児玉 智明
日本LC委員会 副委員長 L金濱 元一	日本LC委員会 委員長 重複
大会委員会 事務局長 L長島 義雄	
	献眼献由委員会 委員長 L目良 浩一
LCIF委員会 委員 L松浦 慎太郎	LCIF委員会 委員長 L早坂 憲二

1R1Z ZC L仁礼 法秀	1R1Z Z L山田 顕人
2R1Z ZC L阪井 大輔	2R1Z Z L小谷 孝夫
2R2Z ZC L古谷 征宗	2R2Z Z L石橋 拓哉
3R1Z ZC L遠藤 勝也	3R1Z Z L脇坂 紀一
3R1Z ZC L田中 秀治	
4R1Z ZC L藤本 圭	
4R2Z ZC L吉田 尚平	
5R1Z ZC L平野 井裕	5R1Z Z L片岡 博
5R2Z ZC L真保 郵生	5R2Z Z L阿部 一二

運営委員会 委員長
重複

運営委員会 副委員長 L高臣 陽太
運営委員会 副委員長 L山木 博孝
運営委員会 副委員長 L今野 幹大
運営委員会 副委員長 L大坂 要
運営委員会 副委員長 L大島 秀雄

ホストクラブ 伊達LC	ホストクラブ 登別LC	ホストクラブ 室蘭東LC	ホストクラブ 白老LC
----------------	----------------	-----------------	----------------

ライオンズクラブ国際協会331-C地区キャビネット 第1回キャビネット会議懇親会 (1F黎明の間)

2025年8月9日(土) 15:10~18:00 蓬莱殿
司会 キャビネット運営委員会 副委員長 L大坂 要

ステージ

46名

竹

L本所光男	L佐々木忠康
L松浦則雄	L奥山幸一
	L門脇宏幸
L児島克己	L後藤 彰

松

L高橋伸介	L山本憲治
L作並真一	L渡部義男
L馬場哲也	L中村全博
L北島孝雄	L吉原成昌

梅

L石戸保	L石原諭
L西條隆	L相原慎太郎
L三上一徳	L前川弘亘
L広地紀彰	L阪本尚哉

入口

A

L早坂憲二	L児玉智明
L松浦慎太郎	L小林秀光
L金濱元一	L木村耕志

祝

L仁礼法秀	L阪井大輔
L古谷征宗	L遠藤勝也
L田中秀治	L平野井裕

寿

L山田頭人	L小谷孝夫
L石橋拓哉	L脇坂紀一
L片岡博	

B

L高臣陽太	L山木博孝
L今野幹大	L大坂要
L大島秀雄	

2025.8第1回キャビネット会議出席者名簿

役職名	氏名	所属クラブ	GAT・GMA	長計	名誉顧問	全体会議	懇親会
地区ガバナー・地区GATファシリテーター 地区GMAチームリーダー	L高橋 伸介	室蘭東	○	○	○	○	○
前地区ガバナー・地区名誉顧問会議長 長期計画リサーチ委員会副委員長	L齋藤 尚仁	函館北斗		×	×	×	×
第1副地区ガバナー・地区GMAチームリーダー 長期計画リサーチ委員会 副委員長	L山本 憲治	小樽みなと	○	○	○	○	○
第二副地区ガバナー 地区GMAチームリーダー 長期計画リサーチ委員会 副委員長	L作並 真一	函館みなと	○	○	○	○	○
元地区ガバナー・地区名誉顧問 長期計画リサーチ委員会 委員長	L渡部 義男	苫小牧中央		○	○	○	×
元地区ガバナー 地区名誉顧問・長期計画リサーチ委員会 委員	L馬場 哲也	函館東		○	○	○	○
元地区ガバナー 地区名誉顧問 地区相談役 長期計画リサーチ委員会委員	L須藤 敏幸	伊達		○	○	○	×
元地区ガバナー 地区名誉顧問	L中村 全博	小樽			○	○	○
元地区ガバナー 地区名誉顧問	L北島 孝雄	木古内・知内			○	○	○
元地区ガバナー 地区名誉顧問	L吉原 成昌	苫小牧ハスカップ			○	○	○
元地区ガバナー 地区名誉顧問・地区相談役 長期計画リサーチ委員会 委員	L本所 光男	室蘭東	○	○	○	○	○
元地区ガバナー 地区名誉顧問・長期計画リサーチ委員会 委員	L佐々木 忠康	小樽		○	○	○	○
元地区ガバナー 地区名誉顧問 長期計画リサーチ委員会 委員	L松浦 則雄	函館北斗		○	○	○	○
元地区ガバナー 地区名誉顧問	L高橋 和雄	苫小牧			×	×	×
元地区ガバナー 地区名誉顧問	L奥山 幸一	函館みなと			○	○	○
元地区ガバナー 地区名誉顧問	L小玉 誠	苫小牧白鳥			×	×	×
元地区ガバナー 地区名誉顧問	L後藤 忍	函館グリーン			×	×	×
元地区ガバナー 地区名誉顧問	L田中 稔	苫小牧中央			×	×	×
元地区ガバナー 地区名誉顧問	L荒川 隆志	室蘭東			○	○	×
地区キャビネット幹事・地区GMAチームサポーター 長期計画リサーチ委員会委員 地区LCIF副コーディネーター	L門脇 宏幸	室蘭東	○	○	○	○	○
地区キャビネット会計 地区GMAチームサポーター 長期計画リサーチ委員会委員	L児島 克己	室蘭東	○	○	オフライン	○	○
地区会計監査	L広地 紀彰	白老				○	○
地区会計監査	L阪本 尚哉	登別中央				○	○
地区GMTコーディネーター 地区GMAチーム副リーダー 長期計画リサーチ委員会委員	L庄司 典弘	室蘭	○	○		○	×
地区GLTコーディネーター 地区GMAチーム副リーダー 長期計画リサーチ委員会委員	L石戸 保	松前	○	○		○	○
地区GSTコーディネーター 地区GMAチーム副リーダー 長期計画リサーチ委員会委員	L石原 諭	八雲	○	○		○	○
地区GETコーディネーター 地区GMAチーム副リーダー 長期計画リサーチ委員会委員	L西條 隆	室蘭東	○	○		○	○
地区WYPTコーディネーター 地区GMAチーム副リーダー 地区LCIFアラート エクステンション委員会委員 長期計画リサーチ委員会委員	L相原 慎太郎	函館みなと	○	○		○	○
地区LCIFコーディネーター 長期計画リサーチ委員会 委員	L嘉堂 卓也	函館臥牛	×	×		×	×
地区GLT副コーディネーター 長期計画リサーチ委員会委員	L三上 一徳	松前	○	オフライン		○	○
地区GET副コーディネーター 長期計画リサーチ委員会委員	L前川 弘亘	函館	○	オフライン		○	○
地区WYPT副コーディネーター 長期計画リサーチ委員会 委員 長期計画リサーチ委員会委員	L L後藤 彰	 函館北斗	 ○	 ○	 ○	 ○	 ○
小 計			13	17	15	26	22

役職名	氏名	所属クラブ	GAT・GMA	長計	名誉顧問	全体会議	懇親会
第1R第1Zゾーンチェアパーソン GMAチームメンバー	L仁礼 法秀	木古内・知内	○			○	○
第2R第1Zゾーンチェアパーソン GMAチームメンバー	L阪井 大輔	黒松内	○			○	○
第2R第2Zゾーンチェアパーソン GMAチームメンバー	L古谷 征宗	倶知安	○			○	○
第3R第1Zゾーンチェアパーソン GMAチームメンバー	L遠藤 勝也	室蘭	○			○	○
第3R第2Zゾーンチェアパーソン GMAチームメンバー	L田中 秀治	登別	○			○	○
第4R第1Zゾーンチェアパーソン GMAチームメンバー	L藤本 圭	函館元町	×			○	×
第4R第2Zゾーンチェアパーソン GMAチームメンバー	L吉田 尚平	函館中央	×			○	×
第5R第1Zゾーンチェアパーソン GMAチームメンバー	L平野井 裕	静内	○			○	○
第5R第2Zゾーンチェアパーソン GMAチームメンバー	L真保 郵生	安平	○			○	×
第1R第1Zゾーン委員	L山田 顕人	木古内・知内				○	○
第2R第1Zゾーン委員	L小谷 孝夫	黒松内	○			○	○
第2R第2Zゾーン委員	L石橋 拓哉	倶知安				○	○
第3R第1Zゾーン委員	L脇坂 紀一	室蘭				○	○
第3R第2Zゾーン委員	L秋山 貴夫	登別				×	×
第5R第1Zゾーン委員	L片岡 博	静内				○	○
第5R第2Zゾーン委員	L阿部 一二	安平				○	×
キャビネット運営委員会委員長	L西條 陸	室蘭東	重				
キャビネット運営委員会副委員長	L木村 誠志	室蘭				×	×
キャビネット運営委員会副委員長	L高臣 陽太	洞爺				○	○
キャビネット運営委員会副委員長	L山木 博孝	伊達				○	○
キャビネット運営委員会副委員長	L今野 幹大	登別				○	○
キャビネット運営委員会副委員長	L大坂 要	室蘭東				○	○
キャビネット運営委員会副委員長	L大頭 和彦	白老				×	×
キャビネット運営委員会副委員長	L大島 秀雄	登別中央				○	○
視力障害・糖尿病委員会 献眼献血委員会委員長	L目良 浩一	洞爺				○	×
次世代リーダー研究委員会 環境保全・社会福祉委員会委員長	L瀬野 秀紀	伊達				○	×
ECHO・IT委員会委員長	L永井 武憲	伊達				○	×
ECHO・IT委員会副委員長	L小林 秀光	室蘭東				○	○
ECHO・IT委員会副委員長	L中野 貴智	室蘭東				×	×
会則委員会委員長	L戸田 克利	白老				○	×
会則委員会委員	L岩崎 考真	白老				×	×
LCIF委員会 アラート委員会 エクステンション委員会委員長	L早坂 憲二	室蘭東				○	○
LCIF委員会 アラート委員会 エクステンション委員会委員	L松浦 慎太郎	函館一楽				○	○
小 計			8	0	0	27	19

役職名	氏名	所属クラブ	GAT・GMA	長計	名誉顧問	全体会議	懇親会
LCIF委員会 アラート委員会 エクステンション委員会委員	L館岡 功一	小樽みなど				×	×
LCIF委員会 アラート委員会 エクステンション委員会委員	L勝俣 智	登別中央				×	×
LCIF委員会 アラート委員会 エクステンション委員会委員	L相原 慎太郎	函館みなど	重				
LCIF委員会 アラート委員会 エクステンション委員会委員	L林 謙治	苫小牧中央				×	×
公益財団日本ライオンズ委員会委員長	L本所 光男	室蘭東	重				
公益財団日本ライオンズ委員会副委員長	L金濱 元一	室蘭東	×			○	○
ライオンズクエスト委員会 YCE委員会・薬物乱用防止委員会委員長	L児玉 智明	室蘭				○	○
ライオンズクエスト委員会 YCE委員会・薬物乱用防止委員会副委員長	L酒井 大介	白老				×	×
地区大会・国際大会委員会委員長	L高橋 國夫	室蘭				×	×
地区大会・国際大会委員会事務局長	L長島 義雄	白老				○	×
地区大会・国際大会委員会事務局次長	L新岡 尚	室蘭東				×	×
ホストクラブ会計	L山田 太賀	室蘭				×	×
ホストクラブ会長	L鈴木 雅善	洞爺				×	×
ホストクラブ会長	L木村 耕志	伊達				オブザーバー	○
ホストクラブ会長	L今野 幹大	登別				重	重
ホストクラブ会長	L金濱 元一	室蘭東				重	重
ホストクラブ会長	L島田 明美	白老				オブザーバー	×
ホストクラブ会長	L川浪 哲也	登別中央				×	×
小 計			0	0	0	3	3
合 計			21	17	15	56	44

物故会員ご芳名 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

故 L ^{たなか かんじ} 田中 寛志 (登別LC) 2025年6月7日 逝去(71歳)

故 L ^{あそう ひろし} 阿相 博志 (函館元町LC) 2025年7月21日 逝去(72歳)

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区

《 第1回キャビネット会議 次第 》

日 時 2023年8月9日(土)15:10~18:00

場 所 蓬莱殿 1階 明庭の間

司 会 キャビネット運営委員会 副委員長 L 高臣 陽太

記 録 キャビネット運営委員会 副委員長 L 大島 秀雄

キャビネット運営委員会 副委員長 L 山木 博孝

- | | | | |
|-------------------------------|------------------------|--------|----------|
| 1 開会ゴング | ライオンズクラブ国際協会 331-C | 地区ガバナー | L 高橋 伸介 |
| 2 国旗敬礼 | | | |
| 3 物故者に黙祷 | | | |
| 4 出席者紹介 | キャビネット運営委員会 | 委員長 | L 西條 隆 |
| 5 地区ガバナー挨拶・基本方針説明 | 地区ガバナー | | L 高橋 伸介 |
| 6 前地区ガバナー・名誉顧問会議長代理挨拶 | 元地区ガバナー | | |
| | ・名誉顧問会 | 議長代理 | L 馬場 哲也 |
| 7 長期計画リサーチ委員会報告 | 長期計画リサーチ委員会 | | L 渡部 義男 |
| 8 審議事項 | 地区ガバナー | | L 高橋 伸介 |
| | ・キャビネット幹事・会計の担保について | | |
| | ・地区会計監査の委嘱について | | |
| | ・今年度クラブ拠出金について | | |
| | ・キャビネット予算(案)について | | |
| | ・苫小牧キャビネット取引銀行・事務局について | | |
| | ・地区キャビネット旅費規程(案)について | | |
| | ・慶弔規定について | | |
| | ・ガバナー公式訪問(案)について | | |
| | ・クラブ提出議案 | | |
| | ・その他 | | |
| 9 報告・確認事項 | 地区キャビネット幹事 | | L 門脇 宏幸 |
| 10 地区コーディネーター役員就任挨拶、活動方針説明、報告 | | | |
| ・GMT | 地区 GMT コーディネーター | | L 庄司 典弘 |
| ・GLT | 地区 GLT コーディネーター | | L 石戸 保 |
| ・GST | 地区 GST コーディネーター | | L 石原 諭 |
| ・FWT | 地区 WYPT コーディネーター | | L 相原 慎太郎 |
| ・GET | 地区 GET コーディネーター | | L 西條 隆 |
| ・LCIF | 地区 LCIF コーディネーター | | L 嘉堂 卓也 |

11 ゾーンチェアパーソン役員就任挨拶、活動方針、報告

第1R 第1Z ゾーンチェアパーソン	L 二礼 法秀
第2R 第1Z ゾーンチェアパーソン	L 阪井 大輔
第2R 第2Z ゾーンチェアパーソン	L 古谷 征宗
第3R 第1Z ゾーンチェアパーソン	L 遠藤 勝也
第3R 第2Z ゾーンチェアパーソン	L 田中 秀治
第4R 第1Z ゾーンチェアパーソン	L 藤本 圭
第4R 第2Z ゾーンチェアパーソン	L 吉田 尚平
第5R 第1Z ゾーンチェアパーソン	L 平野井 裕
第5R 第2Z ゾーンチェアパーソン	L 新保 郵生

12 各委員会役員就任挨拶、活動方針、報告

地区大会・国際大会委員会	委員長	L 高橋 國夫
ライオンズクエスト委員会、YCE 委員会、薬物乱用防止委員会	委員長	L 児玉 智明
公益財団日本ライオンズ委員会	委員長	L 本所 光男
次世代リーダー研究委員会、環境保全・社会福祉委員会	委員長	L 瀬野 秀紀
LCIF 委員会、アラート委員会、エクステンション委員会	委員長	L 早坂 憲二
視力障害・糖尿病委員会、献眼献血委員会	委員長	L 目良 浩一
会則委員会	委員長	L 戸田 克利
ECHO・IT 委員会	委員長	L 永井 武憲
キャビネット運営委員会	委員長	L 西條 隆

13 質疑応答

14 閉会ゴング ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区ガバナー L 高橋 伸介

《懇親会》 18:10～20:00 1F 黎明の間

・挨拶	ライオンズクラブ国際協会 331-C	地区ガバナー	L 高橋 伸介
・ウィサーブ	ライオンズクラブ国際協会 331-C	長期計画リサーチ委員長	L 渡部 義男
・ローア	ガバナーチーム	地区ガバナー	L 高橋 伸介
		第1副地区ガバナー	L 山本 憲治
		第2副地区ガバナー	L 作並 真一

2025年～2026年 地区ガバナースローガン

『誇りをもとう 未来へつなぐ奉仕の心』

キーワードは・・・Take Action「行動起こす」

ライオンズクラブの基本理念「我々は奉仕をする・・・We serve」を掲げ私共は長きに渡り地域に根差した奉仕活動を行って参りました。331-C 地区では、函館ライオンズクラブがこの地で最初の発祥クラブとして約70年の月日経っております。このことは先人へ敬意を献ぐと共に素晴らしくこれからの方々へと継承して頂きたい事だと私は思います。この奉仕の心(火)を消すこと無く進み続けて行動して参りましょう。

2025年～2026年シンボルマーク

今期331-C 地区のシンボルマークは、誇りをもとう 未来へつなぐ奉仕の心とさせて頂きました。奉仕の心と言う事でハートを型取り、室蘭キャビネットの頭文字のMをハートの形とさせて頂きました。今世界では、ロシアとウクライナ・イスラエルとパレスチナでは、武器による戦争が続いており、本当に大変で悲惨な思いをしている人々(子供達)が沢山存在しております。又、日本でも、毎年のように繰り返される自然災害。昨年は、石川県の能登地方では、元日の地震による震災そして、9月の豪雨災害と本当に大変な災害が繰り返されており、今年にはロサンゼルス・岩手県・愛媛県・宮崎県の大規模山林火災等本当に大変な生活をしております。地区全体での奉仕活動を未来に向けて優しい心で進み続けましょう。とのイメージで作成致しました。



2025年～2026年 地区ガバナー基本方針

1. 会員増強 指導力育成

- ・GAT(ガバナーアクションチーム)を設置し、国際協会が進めているミッション 1.5 ミリオンの行動計画を行い、新設クラブ（支部・スペシャリティクラブ）の創設を図る。（元ライオンズメンバー方への勧誘等）
- ・地区全体での WYPT 女性・若手会員の地区交流促進会議を開催し、将来的に女性・若手会員の増強拡大を促す。
- ・新規入会者から、新たな入会者が入会して頂けるような組織づくり。
- ・新規入会 3 年目未満の方々へのメンバースクールの実施し、リーダーとしての自覚を育む。

2. LCIF

- ・今期の LCIF 地区目標金額は 150,000 ドルとさせて頂きました。
毎年本当に多くの自然災害が各地で多く繰り返されております。我々ライオンズクラブは、このような本当に困った皆様に支援することが私共の奉仕活動です。個人献金のメルビンジョーンズフェロシップ MJF1,000 ドル献金の推進。
クラブからの 1 人当たりの寄付額は、基本は 20 ドルですが、50 ドル 100 ドルの献金協力を促す。
各リジョンに於いて、会員交流の事業を計画し LCIF への寄付金の創出を促す。

3. 奉仕活動

- ・今期の SDG s の持続可能な目標は、貧困を無くそうと海の豊かさを守ろうと致しました。
使用してないものは、困った方へ又は使用したい方へ寄付をすると、5 月と 10 月は世界ライオンズデーに合わせた形で、各地区で清掃奉仕活動を今期も計画致します。海の豊かさと陸の豊かさを守るために地区全体で海岸街中等の清掃奉仕活動(海の無い地域では街並みの清掃等)を地元地域の皆様と協働で行いたいと思います。
中古眼鏡・古切手回収・献血 ACT・カレンダー抛出・ヘアドネーション・アルミ缶リサイクル・タオルボランティア等は引き続き継続事業と致しますので各クラブでお願い致します。ヘアドネーションはキャビネットへ送って下さい。
各クラブで行っているアクティビティについても見直しが必要とするものがあれば新規の奉仕活動をお願い致します。新規アクティビティについては、アワードもキャビネットして考えて行きます。
今期も各クラブに於きまして様々な奉仕活動宜しくお願い致します。

ライオンズクラブ国際協会 331-C地区 地区ガバナー紹介

※写真欄



L 高橋 伸介 (たかはし のぶゆき)

所 属 331-C地区 3R2Z

室蘭東ライオンズクラブ

生年月日 1962年 9月 8日

勤 務 先 高橋清掃株式会社 代表取締役

〒050-0076

室蘭市知利別町2丁目12番12号

配 偶 者 加代

■ライオン歴

2005年	室蘭東ライオンズクラブ	入会
2008年	室蘭東ライオンズクラブ	幹事
2009年	室蘭東ライオンズクラブ	会長
2010年	331-C地区 3R2Z	ゾーン委員
2011年	室蘭東ライオンズクラブ	幹事
2015年	331-C地区 3R2Z	ゾーン・チェアパーソン
2016年	キャビネット運営委員会	委員長
2019年	331-C地区 3R2Z	ゾーン委員
2020年	室蘭東ライオンズクラブ	幹事
2021年	室蘭東ライオンズクラブ	60周年実行委員長
2023年	331-C地区 GET	コーディネーター
2024年	331-C地区	第一副地区ガバナー

■受賞アワード

2008年	MJF 協力賞
2012年	キー賞
2015年	リーダーシップ優秀賞 第3R 第2Z ゾーンチェアパーソン
2016年	100周年記念会員増強賞
2019年	MJF キャンペーン100優秀賞
2020年	ガバナー功労賞
2021年	マイルストーン・シェブロン (15周年)
2023年	第3R100%幹事賞
2024年	MJF 献金特別賞
	MJF 献金特別賞

M J F (6回)

第 72回地区年次大会ガバナーズアワード(案)

(2025年-2026年)

1. ライオニズム大賞

2025年7月から2026年1月まで、地域でライオニズム精神に沿う活動を行う個人又は団体を、3リジョン内のクラブが推薦し大賞候補を厳選してライオニズム大賞を決定する。

2. アクテビティアワード

2025年7月から2026年1月まで、地域に貢献度の高いアクテビティを特別に行っている各クラブに対して、自薦・他薦を問わず優秀申請、理由を考慮して選考する。今期新しくアクテビティを始めたクラブにもアクテビティアワードの贈呈を致します。

3. 会員増強アワード

- ・会員増強優秀賞(金賞・銀賞・銅賞)(クラブ)
- ・会員増強優秀賞(金賞・銀賞・銅賞)(個人)
- ・エクステンション特別賞(すべての実施クラブ)
- ・支部クラブ結成特別賞(すべての実施クラブ)

4. クラブ会報優秀賞

2025年7月から2026年1月まで、キャビネット宛に提出されたクラブ会報から優秀クラブを選考する。

5. LCIF アワード

- LCIF 優秀賞(LCIF クラブ全員 100ドル拠出クラブ)
- MJF 優秀賞(拠出者全員)

- 《選考委員会》 ■委員長＝地区ガバナー ■副委員長＝第一、第二副地区ガバナー
■地区幹事 ■地区会計
- 《提出期限》 2026年1月31日まで
- 《申請方法》 1.2 は自薦・他薦するクラブ会長名でキャビネット事務局宛提出

審 議 事 項

- キャビネット幹事・会計選任（同意書）について
- 幹事・会計の担保について
- 地区会計監査の委嘱について
- キャビネット一般収支予算（案）（収入）について
- キャビネット一般収支予算（案）（支出）について
- 青少年育成費収支予算（案）について
- エコー誌・IT活動費発行費収支予算（案）について
- 今年度クラブ拠出金一覧（案）について
- 今年度取引銀行・事務局案内について
- 地区キャビネット旅費支給規定（案）について
- キャビネット慶弔規定（案）について
- 地区ガバナー公式訪問日程予定表について
- クラブ提出議案について
- ZC・Z委員の変更について

同意書

ライオンズクラブ国際協会331-地区
地区ガバナー L齋藤 尚仁 殿

ライオンズクラブ国際協会331-C地区 地区会則第5条3項に基づき、
下記予定者の任命に同意致します。

2025年～2026年度キャビネット幹事予定者 L門脇 宏幸
所属クラブ 室蘭東ライオンズクラブ
2022年度 クラブ会長

2025年～2026年度キャビネット会計予定者 L児島 克己
所属クラブ 室蘭東ライオンズクラブ
2016年度 クラブ会長

年 月 日

ライオンズクラブ国際協会331-C地区

地区名誉顧問

L 荒川 隆志 (印)

同意書

ライオンズクラブ国際協会331-C地区
地区ガバナー L齋藤 尚仁 殿

ライオンズクラブ国際協会331-C地区 地区会則第5条3項に基づき、
下記予定者の任命に同意致します。

2025年～2026年度キャビネット幹事予定者 L門脇 宏幸
所属クラブ 室蘭東ライオンズクラブ
2022年度 クラブ会長

2025年～2026年度キャビネット会計予定者 L児島 克己
所属クラブ 室蘭東ライオンズクラブ
2016年度 クラブ会長

年 月 日

ライオンズクラブ国際協会331-C地区

地区名誉顧問

L本所光男 

同意書

ライオンズクラブ国際協会331-地区
地区ガバナー L齋藤 尚仁 殿

ライオンズクラブ国際協会331-C地区 地区会則第5条3項に基づき、
下記予定者の任命に同意致します。


2025年～2026年度キャビネット幹事予定者 L門脇 宏幸
所属クラブ 室蘭東ライオンズクラブ
2022年度 クラブ会長

2025年～2026年度キャビネット会計予定者 L見島 克己
所属クラブ 室蘭東ライオンズクラブ
2016年度 クラブ会長

年 月 日

ライオンズクラブ国際協会331-C地区

地区名誉顧問

L 須藤 敏幸 

キャビネット幹事・会計 職務執行の保証としての担保について

キャビネット幹事 L門脇 宏幸（室蘭東LC）

室蘭信和通信機（株）／代表取締役

キャビネット会計 L児島 克己（室蘭東LC）

（株）神栄工機／代表取締役

両ライオンは、個人的資産と社会的信用もあり、職務執行に支障がないことを保証します。したがって担保の提供は免除願いたいので、ご了承下さい。

ライオンズクラブ国際協会 331-C地区

地区ガバナー L高橋 伸介

地区会計監査の委嘱について

地区会計監査 L 広地 紀彰（白老 LC）

（株）フェニックス北海道再生システム/代表取締役

地区会計監査 L 阪本 尚哉（登別中央 LC）

（株）サカモト / 代表取締役

以上 2 名を委嘱申し上げたいので、ご了承下さい。

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区

地区ガバナー L 高橋 伸介

ライオンズクラブ国際協会331-C地区

キャビネット一般収支予算（案）

（2025年7月1日～2026年6月30日）

【収入の部】

単位：円

科目	予算額	摘要
前期繰越金	0	
前地区引継金	4,000,000	函館キャビネットより繰越金
地区費	9,534,000	1,135名×700円×12ヶ月
地区特別運営費	5,448,000	1,135名×400円×12ヶ月
雑収入	1,000,000	研修会費 その他
小計	19,982,000	
地区大会費	1,362,000	1,135名×100円×12ヶ月
地区特別大会費	1,362,000	1,135名×100円×12ヶ月
青少年育成費	1,135,000	1,135名×1,000円
エコ一誌発行負担金	2,270,000	1,135名×2,000円
小計	6,129,000	
合計	26,111,000	
地区運営基金繰越金	10,112,125	函館キャビネットより繰越金
小計	10,112,125	
総合計	36,223,125	

ライオンズクラブ国際協会331-C地区
キャビネット一般収支予算（案）
（2025年7月1日～2026年6月30日）

【支出の部】

単位：円

科 目	予算額	摘 要
会 議 費	1,500,000	キャビネット会議、各種会議他
旅 費 交 通 費	1,700,000	キャビネット会議・旅費宿泊費
訪 問 費	600,000	ガバナー公式訪問他
人 件 費	4,000,000	事務局員給料
通 信 費	400,000	郵便料・電話料、光回線料他
印 刷 費	700,000	会議資料・コピーカウンター・印刷機消耗品他
事 務 所 費	800,000	事務所賃貸料・光熱費・暖房費他
消 耗 品 費	650,000	事務用品・コピー紙・名刺他
什 器 備 品 費	960,000	事務机他、コピー機、印刷機リース料・P C 他
贈 呈 費	1,350,000	C A B ネームプレート・バナー・バッジ他
慶 弔 費	200,000	会員香典・供花他
周 年 行 事 費	200,000	お祝い他
交 際 費	200,000	お祝い他
引 継 費	50,000	
研 修 費	650,000	地区役員・三役・事務局員研修会
G A T 経 費	300,000	GAT (GMT・GLT・WYPT・GST・LCIF・GET各50,000円) 活動費
ゾ ー ン 経 費	792,000	Z C 活動費 (基本額50,000円+ゾーン内クラブ数×8,000円)
委 員 会 経 費	500,000	委員会活動費
SDGs	100,000	
開 設 費	100,000	看板他
次期キャビネット準備金	4,000,000	次期キャビネットへ引継ぎ金
雑 費	100,000	振込料他
離 島 補 助	100,000	10万円以内
予 備 費	30,000	
小 計	19,982,000	
青 少 年 育 成 費	1,135,000	Y C E ・ライオンズクエスト関係
エ コ ー 誌 発 行 負 担 金	2,270,000	エコー誌発行・I T 活動費
地 区 大 会 費	2,724,000	地区大会運営費
小 計	6,129,000	
地区運営基金繰越金	10,112,125	
合 計	10,112,125	
総合計	36,223,125	

ライオンズクラブ国際協会331-C地区
青少年育成費収支予算（案）
 （2025年7月1日～2026年6月30日）

【収入の部】

単位：円

科目	予算額	摘要
青少年育成費	1,135,000	1,135名×1,000円
合計	1,135,000	

【支出の部】

科目	予算額	摘要
≪ Y C E 関係費 ≫		
会議費	20,000	
旅費交通費	100,000	
図書印刷費	10,000	
通信費	10,000	
雑費	10,000	
複合分担金	250,000	複合分担金
サマーキャンプ負担金	300,000	Y C E サマーキャンプ分担金
予備費	10,000	
小計	710,000	
≪ ライオンズクエスト関係費 ≫		
会議費	40,000	
旅費交通費	50,000	
図書印刷費	10,000	
通信費	20,000	
雑費	30,000	
ライオンズクエスト分担金	250,000	複合分担金
予備費	25,000	Y C E サマーキャンプ分担金
小計	425,000	
小計	1,135,000	

ライオンズクラブ国際協会331-C地区

エコー誌・IT活動費発行費収支予算（案）

（2025年7月1日～2026年6月30日）

【収入の部】

単位：円

科目	予算額	摘要
エコー誌発行負担金	2,270,000	1,135名×2,000円
合計	2,270,000	

【支出の部】

科目	予算額	摘要
エコー誌発行費	1,870,000	エコー誌4回発行
会議費	10,000	
取材活動費	50,000	活動経費
IT活動費	250,000	
通信費	70,000	発送費用
雑費	10,000	
予備費	10,000	
小計	2,270,000	

ライオンズクラブ国際協会331-C地区

今年度クラブ拠出金一覧（案）

（2025年7月1日～2026年6月30日）

国際協会会費 // L C I F	半期6ヶ月 (家族会員) (1人\$100の協力をお願いいたします)	\$25.00 半額
複合地区費	@180円×6ヶ月	1,080円
複合地区大会費	@20円×6ヶ月	120円
日本ライオンズ賛助会費	@120円×6ヶ月	720円
	(複合半期分) 前期6ヶ月 合計	1,920円
	後期6ヶ月 合計	1,920円
	(家族会員は除く)	
ライオン誌購読料 (個人宛発送)	@67円×4回	268円
(クラブ発送)	@583円×4回	2,332円
地区費	@700円×6ヶ月	4,200円
地区特別運営費	@400円×6ヶ月	2,400円
地区大会費	@100円×6ヶ月	600円
地区特別大会費	@100円×6ヶ月	600円
エコー誌発行負担金	半期分 6ヶ月	1,000円
青少年育成費	半期分 6ヶ月	500円
	(地区半期分) 前期6ヶ月 合計	9,300円
	後期6ヶ月 合計	9,300円
第62回OSEALフォーラム (2025年10月 日本・札幌) 支援協力金		1,000円

室蘭キャビネット事務局取引銀行の通知について

表記の件につき、下記のとおりご通知申し上げます。

ライオンズクラブ国際協会331-C地区取引銀行

(2025年7月1日～2026年6月30日)

口座開設日：2025年7月1日

口座閉鎖日：2026年6月30日

銀行名	北海道銀行 室蘭支店
口座名義	ライオンズクラブ国際協会331-C地区 室蘭キャビネット事務局 キャビネット会計 児島 克己
店番号	401
口座番号	普通預金 0816332

室蘭キャビネット事務局案内

住 所 〒050-0083
室蘭市東町5丁目15番18号 2階
T E L 0143-84-1411
F A X 0143-84-1422
メー ル lci331c_muroran-cab@lionsclubs-331c.org

事務局員 杉田 明美 野澤 ます美 高梨 由美子
業務時間 10:00～16:00
休 日 土曜日・日曜日・祝祭日

ライオンズクラブ国際協会331-C地区
2025-2026年度
地区キャビネット旅費支給規定（案）1/2

1. キャビネット構成員、事務職員の旅費の支給は、この規定による。
2. 旅費の支給を受ける者は、ライオンズクラブの用務のため、地区ガバナー要請により出張した者、また地区ガバナーより会議あるいは公式行事の出席要請を受け、その会議あるいは行事に出席した者とする。
3. 出張前に旅費計画書を地区ガバナーに提出し、順路によってキャビネット事務局において諸手配をなし、帰局後別表の旅費支給計算書により精算支給する。但し、前受金として仮払いをすることがある。
4. 地区ガバナーの旅費、その他の経費は国際協会の規定による。
5. キャビネット会議、その他の行事及び式典に出席する者は原則として次による。特に必要と認める場合は若干名の増員をすることがある。
 - (1)キャビネット会議、各種委員会（研修会）
キャビネット構成員、地区役員、その他地区ガバナーが出席を要請した者
 - (2)クラブ訪問
地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、またはその代理人
 - (3)チャーターナイト
地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、会員・エクステンション委員長、またはその代理人
 - (4)結成式及び記念式典
地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、会員・エクステンション委員長、地区MC・IT委員長またはその代理人
 - (5)複合地区年次大会
地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、またはその代理人
 - (6)ガバナー協議会
地区ガバナー、キャビネット幹事
 - (7)地区内に於ける公式行事
地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、またはその代理人
6. 特別ば事情で本規定によりがたい場合は、地区ガバナーの承認を得て、別紙支給額を定めることができる。
7. 他の機関より旅費その他の支給を受ける場合は、地区の旅費その他の支給をしないものとする。
8. この規定は、キャビネットの運営発足の日より適用する。
但し、キャビネット運営準備期間中は地区ガバナー・エレクトの指示による。

地区キャビネット旅費支給規定（案） 2/2

<p>交 通 費</p>	<p>地区役員所属クラブ所在の市町村役場から、目的地所在の市町村役場までの自家用車使用に係る燃料費及び高速等料金の往復合計費用とする。</p> <p>地区役員所属クラブ所在の市町村役場から、目的地所在の市町村役場までの自家用車使用に係る燃料費及び高速等料金の往復合計費用とする。</p> <p>計算上発生した千円未満の端数については、四捨五入とする。</p>				
<p>宿 泊 費</p>	<table> <tr> <td>道 内</td> <td>8, 0 0 0 円</td> </tr> <tr> <td>道 外</td> <td>1 0, 0 0 0 円</td> </tr> </table>	道 内	8, 0 0 0 円	道 外	1 0, 0 0 0 円
道 内	8, 0 0 0 円				
道 外	1 0, 0 0 0 円				

(注) 地区キャビネット旅行支給規定4.に規定されている地区ガバナーの旅費は、国際本部から支給される金額が僅少なので、当該地区キャビネット旅行支給規定を適用して他の者と同様にキャビネットより支給する。

2025-2026ライオンズ国際協会331-C地区
室蘭キャビネット 旅費支給額（案）（自家用車用）

目的地 室蘭

出発地	片道距離 (km)	一般道路料金 (往復) (円)	高速料金 (往復) (円)	支給金額 (円)
		価格165円/ℓ (燃費15K)		
函館	193.5	4,257	7,860	12,500
江差	184.9	4,068	6,640	11,000
北檜山	137.6	3,028	4,900	8,000
奥尻 ※	187.8	4,132	4,900	9,500
木古内・知内	213.1	4,689	7,860	13,000
松前	268.8	5,914	7,860	14,000
上磯	187.4	4,123	7,860	12,000
八雲	105.9	2,330	6,000	8,500
森	142.2	3,129	7,460	11,000
小樽	172.0	3,784	8,720	13,000
余市	190.3	4,187	9,740	14,000
岩内	122.3	2,691	3,460	6,500
黒松内	83.9	1,846	3,460	5,500
倶知安	93.9	2,066	1,760	4,000
二セコ	82.7	1,820	1,760	4,000
室蘭～幌別				支給なし
洞爺	46.8	1,030	880	2,000
伊達	23.7	522		1,000
登別	37.3	821		1,000
白老	54.5	1,199	1,240	2,500
苫小牧	79.9	1,758	3,800	6,000
静内	164.5	3,619	4,600	8,500
新冠	145.6	3,204	4,080	7,500
むかわ	114.1	2,511	4,600	7,500
安平	109.7	2,414	4,600	7,500
厚真	84.0	1,848	4,080	6,000

※奥尻⇄江差間のフェリー代16,070円（3m未満片道）は含まれていない。

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区
2025-2026 年度
慶弔規定(案)

慶弔区分	金額及び内容
地区役員が結婚したときのご祝儀	10,000円
地区役員の死亡弔慰金 (元ガバナー含む)	10,000円(香典) 供花、弔辞、弔電
地区役員家族の死亡弔慰金 (配偶者及び同居する一親等の家族)	5,000円(香典) 供花、弔辞、弔電
地区役員傷病見舞金 (但し、2週間以上の入院加療の場合)	10,000円
地区役員火災・風害の見舞金	10,000円
地区内クラブ会長、幹事、会計の死亡弔慰金	10,000円(香典) 供花、弔辞、弔電
地区内会員の死亡弔慰金	10,000円(香典) 弔辞、弔電
地区内会員の献眼者に対する弔慰金	10,000円(香典) 供花、弔辞、弔電、感謝状
地区キャビネット職員の慶弔金	10,000円
<p>(注)</p> <p>①上記以外の事項または、特別な事情が生じた場合は、地区ガバナーの裁量により決定する。</p> <p>②供花・弔電はガバナー、キャビネット役員の裁量にて決定する。</p> <p>③ガバナーが参列できない場合は、各リジョンの役職者がプロトコルの順位に従い、代行するものとする。</p> <p>④一般の献眼者に対しては、上記地区寧会員献眼者の金額及び内容に準じる。 (但し、クラブがスポンサーになる時)</p> <p>⑤キャビネット事務局員は、上記キャビネット構成員の項を準用する。</p> <p>⑥この規定は第1回キャビネット会議の承認後、2025年7月1日に遡って施行する。</p>	

★ガバナー公式訪問★

◎次期ガバナー公式訪問日程予定表

R	Z	訪問日	曜日	役員打ち合わせ	公式訪問	当番クラブ	開催場所	参加クラブ
4	2	8月20日	水	16:00	18:00	森	プラザ武蔵	八雲、森
				}	}			
				17:30	20:00			
2	1 ・ 2	8月22日	金	14:30	16:00	岩内	いわない 高原ホテル	岩内、黒松内、倶知安 黒松内わかぶな ニセコ
				}	}			
				15:30	18:00			
2	1 ・ 2	8月23日	土	16:30	18:00	小樽 うしお	ニュー三幸	小樽、小樽中央 小樽みなと、余市 小樽うしお
				}	}			
				17:30	20:00			
5	1 ・ 2	8月29日	金	15:30	17:00	静内	静内 エクリップス ホテル	静内、新冠 安平、厚真
				}	}			
				16:30	19:00			
5	1 ・ 2	9月4日	木			苫小牧	グラウンド ニュー王子	苫小牧、苫小牧ハスカップ 苫小牧ハスカップ友絆会 苫小牧中央、苫小牧白鳥 苫小牧中央NOILS 苫小牧中央ACT
				16:30	18:00			
				}	}			
				17:30	20:00			
1	1	9月6日	土	16:00	18:00	北檜山	温泉ホテル きたひやま	江差、北檜山、奥尻 木古内・知内、松前 木古内・知内若獅子会
				}	}			
				17:30	21:00			
1 ・ 4	1 ・ 2	9月13日	土	16:30	18:00	函館 ・ 函館東	函館 国際ホテル	函館、函館北斗 函館一楽、函館東 函館東こどもサポート 函館海峡、上磯、函館元町 函館臥牛、函館中央 函館グリーン、函館みなと 函館グリーンアマカル
				}	}			
				17:30	20:00			
3	1 ・ 2	9月19日	金	16:30	18:00	室蘭	室蘭 プリンスホテル	室蘭、洞爺、伊達 登別、室蘭東、白老 登別中央
				}	}			
				17:30	20:00			

【クラブ提出議案】

第1R 第1Z 木古内・知内ライオンズクラブ

C 地区会員全体数が、1,200人を下まわると地区消滅との話だが、昨今の少子高齢化人口減少を鑑みれば如何なものか、全クラブ会員増強、クラブ創出に努力しているが、この辺の見直しをどうお考えかご質問いたします。

第5R 第1Z 静内ライオンズクラブ

第5R第2Z むかわライオンズクラブが解散したことにより、第5Rは8クラブになりましたので、第5Rの第1Zと第2Zをあわせてゾーンを一つにしてほしい。
ZC選出が4年に1回になると、クラブ負担(金銭、人選等)が重くなるので、クラブの負担を少なくしてほしい。

【提出議案なし】

函館 LC、江差 LC、北檜山 LC、奥尻 LC、函館北斗 LC、松前 LC、函館一楽 LC

小樽 LC、余市 LC、岩内 LC、黒松内 LC、小樽中央 LC、倶知安 LC、
小樽みなと LC、ニセコ LC、小樽うしお LC

室蘭 LC、洞爺 LC、伊達 LC、登別 LC、室蘭東 LC、白老 LC、登別中央 LC

函館東 LC、函館海峡 LC、上磯 LC、函館元町 LC、函館臥牛 LC、八雲 LC、
森 LC、函館中央 LC、函館グリーン LC、函館みなと LC

苫小牧 LC、新冠 LC、苫小牧ハスカップ LC、苫小牧中央 LC、安平 LC、
厚真 LC、苫小牧白鳥 LC

推 薦 状

2025年 7月1日

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区

ガバナー L 高橋 伸介 殿

第 3 R 第 2 Z

登 別 ライオンズクラブ

会 長 今 野 幹 大



2025～2026 年度、ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区キャビネット

第 3R 第 2Z ゾーンチェアパーソン候補者として、下記の当クラブ会員を推薦いたします。

所 属	登別ライオンズクラブ		
(ふりがな) 候補者氏名	た な か ひ て じ 田 中 秀 治	生 年 月 日	西暦 1947 年 9 月 9 日
自 宅	住 所	(〒059-0464) 登別市登別東町 5-14-7	
	電 話	0143-83-2667	
勤 務 先	住 所	(〒)	
	名 称		
	電 話		
	FAX	(携帯)09037736773	
ライオン歴 (年度順)	2002 年 10 月	登別ライオンズクラブ入会	
入会年月日	2008 年 7 月	クラブ会長	
クラブ役職	2012 年 7 月	第 3R 第 2Z ゾーンチェアパーソン	
準地区・ 複合地区	2013 年 7 月	第 3R リジョンチェアパーソン	
役 職 等	2014 年 7 月	クラブ会長	
	2016 年 7 月	キャビネット会則委員長	
	2017 年 7 月	第 3R 第 2Z ゾーンチェアパーソン	
	2018 年 7 月	クラブ会長	
	2020 年 12 月	クラブ会長代理	
	2021 年 7 月	クラブ会長 キャビネット会計監査	

推 薦 状

2024 年 10 月 9 日

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区

ガバナー L 齋藤 尚仁 殿

第 2R 第 1Z

黒 松 内ライオンズクラブ

会 長 小谷孝夫



2025～2026 年度、ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区キャビネット

第 2R 第 1Z ゾーン委員候補者として、下記の当クラブ会員を推薦いたします。

所 属	ライオンズクラブ		
(ふりがな) 候補者氏名	こたにたかお 小谷孝夫	生 年 月 日	西暦 1958 年 6 月 14 日
自 宅	住 所	(〒048-0101) 寿都郡黒松内町字黒松内 371 番地 3	
	電 話	090-5221-5321	
勤 務 先	住 所	(〒048-0113) 寿都郡黒松内町字豊幌 279-2	
	名 称	黒松内銘水株式会社	
	電 話	0136-77-2222	(携帯)090-5221-5321
	FAX	0136-72-3981	
ライオン歴 (年度順) 入会年月日 クラブ役職 準地区・ 複合地区 役職等	2002 年 7 月 入会 2008～2009 クラブ幹事 2009～2010 第 2R 第 1Z ゾーン委員 2010～2011 キャビネット運営委員長 2014～2015 地区次世代リーダーシップ研究会委員長 2015～2016 MD331 青年アカデミー・アラート委員会委員長 2017～2018 第 2R 第 1Z ゾーンチェアパーソン 2024～2025 クラブ会長		

国際レベル資料



Lions International

300 W. 22nd Street
Oak Brook, Illinois 60523-8842 USA
+1-630-571-5466

2025年6月29日

MUKAWA ライオンズクラブ御中

誠に残念ながら、本日、貴クラブの解散処理が完了し、チャーターが取り消されましたので、お知らせ申し上げます。

ライオンズクラブ国際協会の一員として、人道主義的奉仕活動の強化と向上を目指して最善を尽くされた貴クラブ会員の皆さんに、国際理事会からの称賛の意をお伝えいたします。貴クラブは解散されましたが、皆さんには、ぜひ最寄りのライオンズクラブへ転籍していただき、地域社会において引き続きご活躍くださるよう、強く願っております。

また、貴地域に近い将来再びライオンズクラブが結成され、地域社会が数多くの恩恵を再度受けられるよう、あるいは、解散された貴クラブが再建され、元会員と新会員がともに地域社会に貢献できるよう、望んでおります。クラブ再建または新クラブ結成をお考えの場合には、お気軽に国際本部の太平洋アジア課までご連絡ください。

これまでライオンズとして奉仕に励んでこられた貴クラブの皆様へ、心から感謝申し上げます。今後のご成功をお祈りいたします。

ライオンズクラブ国際協会
太平洋アジア課
課長 ジンヒー・ベイ

Jinhee

写: 331 C 地区ガバナー

DA-CL1. JA

Serving a world in need.

www.lionsclubs.org

日本レベル資料

2025年3月12日(水) 13:30-16:00

AP 日本橋 G ルーム
出席者リスト

【正社員】 第3回社員総会 (全国ガバナー会) 出席者数 内訳:

	出席	欠席※	小計
DG	21	14	35
理事	19	2	21
監事	2	2	4
<hr/>			42
			60(名)

※議決権行使書受領済み

議決権行使書

第1号議案：一般社団法人日本ライオンズ 賛助会費値上げの件 賛 15 否 3

<正社員>	2024-25年度	(2024-25年度)	(2024-25年度)	2024-25年度	2024-25年度
330-A 地区ガバナー	森 亮介	一般社団法人日本ライオンズ副理事長	田名部 智之	330-A 地区ガバナー	田名部 智之
330-B 地区ガバナー	倉出 雅史	公益財団法人日本ライオンズ理事長	小野寺 眞悟	330-B 地区ガバナー	小野寺 眞悟
330-C 地区ガバナー	猪野塚 弘樹				
331-A 地区ガバナー	美田 法賢	(2024-25年度 協議会議長)			
331-B 地区ガバナー	伊東 隆志	MD330 議長	伊賀 保夫		
331-C 地区ガバナー	高仁仁※【欠席】	MD331 議長	諏訪 昇三		
332-A 地区ガバナー	吉澤 俊寿	MD332 議長	渡邊 俊弥		
332-B 地区ガバナー	平野 嘉男※【欠席】	MD333 議長	佐藤 裕幸		
332-C 地区ガバナー	佐藤 久一郎	MD334 議長	喜多 友一		
332-D 地区ガバナー	車田 信彦	MD335 議長	廣田 晃一		
332-E 地区ガバナー	安孫子 英彦	MD336 議長	藤井 信英		
332-F 地区ガバナー	長澤 源一	MD337 議長	濱田 浩平		
333-A 地区ガバナー	高頭 八郎※【欠席】	(2024-24年度 協議会議長)			
333-B 地区ガバナー	福田 智恵※【欠席】	MD330 議長	田中 雄一		
333-C 地区ガバナー	大瀧 勝明	MD331 議長	松浦 淳一		
333-D 地区ガバナー	染谷 文雄※【欠席】	MD332 議長	栗村 安弘		
333-E 地区ガバナー	椎名 健二	MD333 議長	星野 勝美		
334-A 地区ガバナー	柴田 高志	MD334 議長	戸祭 宏樹		
334-B 地区ガバナー	丹羽 浩康※【欠席】	MD335 議長	中谷 豊重		
334-C 地区ガバナー	鷹嶋 邦彦※【欠席】	MD336 議長	澤 辰水		
334-D 地区ガバナー	杉木 徹	MD337 議長	新里 正雄		
334-E 地区ガバナー	一平 雅章※【欠席】	(2024-25年度 新理事)			
335-A 地区ガバナー	永田 繁浩※【欠席】	2023-25 国際理事	城阪 勝喜※【欠席】		
335-B 地区ガバナー	古川 野々山 宏※【欠席】	2023-25 国際理事	濱野 雅司		
335-C 地区ガバナー	今市 明弘	2024-25 ICIF 理事	鶴嶋 浩二※【欠席】		
335-D 地区ガバナー	石井 淑雄				
335-E 地区ガバナー	上原 正樹	(2024-25年度 監事) 2年任期の1年目			
336-A 地区ガバナー	鳴戸 大二※【欠席】	MD332 元議長	下間 俊悦		
336-B 地区ガバナー	神田 義満	MD333 元議長	石橋 貞		
336-C 地区ガバナー	矢野 進※【欠席】	MD335 元議長	小林 聰※【欠席】		
336-D 地区ガバナー	武永 健治郎※【欠席】	MD337 元議長	乗田 泰※【欠席】		
337-A 地区ガバナー	為永 一夫※【欠席】	※議決権行使書			
337-B 地区ガバナー	宇都 要一	正社員総数 60名 (出席 42名・欠席 18名)			
337-C 地区ガバナー	吉井 木				
337-D 地区ガバナー					
337-E 地区ガバナー					

オブザーバー
【国際協会】

元国際会長	山田 實 敏
エリアリーダー	鈴木 哲 男
エリアリーダー(統括)	小川 晶 子
エリアリーダー(東日本)	松岡 勲
エリアリーダー(西日本)	識 名 安 信
エリアリーダー(GLT/GST)	【欠席】
副エリアリーダー	伊 藤 和 子
副エリアリーダー(MD330,333)	田名部 智之
副エリアリーダー(MD331,332)	大 山 恭 範
副エリアリーダー(MD334,335)	有 本 み どり
副エリアリーダー(MD336,337)	設 楽 幸 子
副エリアリーダー(GLT/GST)	瀨 島 清 美
DGE グループリーダー	【欠席】

【2025-27 年度 国際理事候補者】

仁科 良二

【OSEAL 調整事務局】

事務局長	マーズ 佐子
法律顧問	池田 和司
会計顧問	吉田 宗一郎

【一般社団法人日本ライオンズ事務長】

増澤 義治

【理事長事務局補佐】

南部谷 靖
成田 祐樹

以上

3

1.開会のことば

松浦理事長の挨拶の後、定款第 16 条の定めにより、理事長が議長に就任することを宣言され開会した。過半数の出席を得て、定足数を満たしているため、第 3 回社員総会が成立している事を確認。

続いて名誉理事長山田元国際会長、濱野国際理事、公益財団法人日本ライオンズ小野寺理事長、田名部理事長、仁科国際理事候補よりご挨拶をいただいた。

2.議事録作成人・署名人の選出

議事録作成人として、MD332 渡邊常務理事・MD333 佐藤常務理事が選出。
議事録署名人は 330-A 森亮介ガバナー、332-A 吉澤俊寿ガバナーが選出された。

3.議事運営について

議長より、議事運営ルールが説明され、発言者は地区名と氏名を述べてから発言することを確認された。

4.審議事項

第 1 号議案 一般社団法人日本ライオンズ 賛助会費値上げの件

中谷専務理事より説明

2016 年 1 月 1 日に旧日本ライオンズ連絡事務所とライオン誌日本語版事務所が合併して以来、賛助会費の金額を 80 円に据え置いた。

2022 年より日本ライオンズ理事会構成員への会議出席へかかる交通費支給の廃止を行い、昨年度からはライオン誌誌面編集や出張の内製化を行うなど、経費削減へ取り組んでいた。しかしながら昨今の社会経済情勢を踏まえ、一般社団法人日本ライオンズ理事会では賛助会費の値上げについて慎重に協議を重ね、組織存続のため今後 2 年において 40 円ずつ、計 80 円の賛助会費の値上げを行い、最終的に賛助会費を 160 円とすることが 2025 年 2 月 12 日開催の第 7 回理事会にて承認された。よって皆様のご承認をいただきたい。

参加した地区ガバナーの意見として、

値上げ後のロードマップについて、具体的な説明がない。地区内での説明のためにも詳細な会費値上げ後や経費削減の計画書など資料の提示の希望、

かなりの金額の内部留保がある件について、金額の詳細な使い道についての質問と、近年の決算を見ても財政がすぐに破綻するわけではなく、値上げについては時期尚早であるという意見、会費値上げの開始について 1 年もしくは 2 年の猶予を求め声寄せられた。

現在クラブに送料を負担いただいているライオン誌の発送方法を変更し社団が送料を負担する案についてはクラブ一括発送ではなく、引き続き個人発送を望む意見が地区により根強いことから、再度検討いただきたいという意見。松浦理事長・中谷専務理事より再度社団理事会にて検討を進めていく予定であるという回答。

4

採決の結果、賛成 43 名 反対 14 名 (議決権行使書による参加者を含む) 詳細は以下の通り。

会場：	賛成 29	反対 11	棄権 2
書面決議：	賛成 15	反対 3	
合計	賛成 44	反対 14	棄権 2
			合計 60

過半数の賛成により、第 1 号議案 一般社団法人日本ライオンズ 賛助会費値上げの件 が可決。

・松浦理事長より、スムーズな進行と可決についての御礼の後、引き続き報告事項へ移る。

5. 報告事項

・一般社団法人日本ライオンズ活動報告

松浦理事長より値上げの話をご承認いただいた。皆様から寄せられた意見を元により詳しい資料を準備し、賛助会費の値上げについてご理解いただけるようにしていくと報告された。

・各種行事開催報告

中谷専務理事より直近で開催した行事の報告。

◇国際委員会

・第 107 回オランダ大会最新情報

戸祭理事より報告。MD 公認 TC となっている旅行会社を使っていたいただきたい。各地区の旅行会社もあると思うので無理にとは言えないが、例年予約をとったホテルでかなり空気があり、OSEAL 調整事務局を通じ本部大会委員会よりクレームも入っている。是非ホテルだけでも公認 TC の手配した日本ホテル(ダブルツリーバイヒルトン・オランダホテル・アット・シールド)ご利用をお願いし、確保している 335 室が埋まるように強くお願いしたい。

続いてパレード委員長である MD334 大山大会委員長よりパレードの説明。

・第 62 回札幌フォーラム最新情報(10/23-26)

諏訪常務理事より報告。現在月 1、2 回の会議を行い、開催準備を進めている。5 月 23～25 日にステアリング委員会があり、スケジュールなどはそこで最終決定する予定。フォーラム閉会式の後に行われる国際会長公式訪問を含めた現時点でのスケジュールの説明。最新内容についてはホームページを確認いただきたい。3 月 31 日までが早期登録となり、さらに多くのご登録をお願いしたい。今後の国際協会における立場などを考え、札幌だけでなく日本全体で成功させることが重要であり皆さんの絶大なご協力を賜りたい。支援金については 98%程度ご入金をいただいております。

◇アラート委員会

新理事より報告。大船渡山林火災対策本部をアラート委員会に設置し会議を行った。能登地震の際、情報統制が取れなかった件などの反省を踏まえての開催とした。今後の

支援についても他国を通しての情報の流れなどルール作りが必要であると感じている。

◇YCE 委員会

田中理事より報告。4 回の委員会を行い、昨年は派遣のマニュアルを作成したが、受け入れ家庭用マニュアルを作成したく動いている。

事業の報告として、YCE は今夏の 3 回あるが、冬季は特段大きな問題なく終了していると報告を聞いている。春季は今の所は順調に進んでいる。夏季については YCE は 8・9 月中に派遣やキャンプがあり、そこまでは今期の委員会が担当することが多く、YCE の活動について副議長・ガバナーのご協力をご理解をお願いしたい。

◇会則委員会

中谷専務理事より報告。ライオンズ必携の改訂作業をしているため遅れてはいるが今年度中には発行したいと考えて進めている最中。

役員必携については 4 月に年次大会が終わって新しい役員が就任されるまでには発行でききるよう印刷会社とやり取りをしている。役員必携は 9,200 部の印刷で単価 650 円を予定中。

◇国際理事会報告

・山田元国際会長 (LICIF 理事)

国際協会の最優先事項であるミッション 1.5 の現状と、執行部で検討されているキャンペーン成功のための提案について報告され、参加されたガバナーにも MD334 での事例を上げて報告と提案が行われた。ライオンズの本来の目的は We Serve であり、入会された方がライオンズへ入ってよかった、ライオンズのバッチを付けていることが誇らしいと思っただけのよくなるくらいの大きな夢をもって取り組んでいただきたい。日本がライオンズ最大国となるよくなる。

・濱野国際理事 (奉仕事業委員会副委員長)

国際大会の投票は今回のオランダから 2 日間だけになるのでご注意をいただきたい。第三副会長については数名の候補者がいるが、国際理事会としてはオーストラリアより立候補しているトニー・ベンボウ元国際理事を推薦しており投票をお願いしている。

続いて国際理事会報告として国際理事の定数はそのまま会則地域ごとの配分が変わる件、プロトコール追加の件について、昨年度に続き元地区ガバナー研修開催について報告。

ライオン誌について、WEB 版発行時にライオンポータルに登録している方へ発行された旨のメールが送られるようになった。ライオン誌を見ただければ色々なものが伝わるかと思う。

国際協会の用意しているアワードと日本からの受賞クラブの紹介と、奉仕事業委員会の取り組みとして来朝から奉仕週間というのを意図して 3 週間、1 週ずつ分けて人道支援、環境保全、心と健康のケアの奉仕週間に設けることの報告。国際協会がテクノロジー強化に現在取り組んでいる観点よりオンライン研修や AI の活用についての呼びかけがあった。

◇GAT エリアリーダー報告

- ・鈴木智男 GAT 統括エリアリーダー
皆さんの任期も残り3カ月とはなりましたが、残りの期間も全力でミッション 1.5 について取り組んでいただきたい。会員増強へ取り組むことで世界中の人々が奉仕を受けることができ、救われることになる。
- ・松岡勲 GAT 西日本エリアリーダー
6月1日—3日にミッション 1.5 サミットを開催する。
各複合地区の GET、GMT の次年度のコーディネーター、単地区の GET、GMT のコーディネーターにご参加をお願いします。次年度においてすぐにスタートが切れるよう、次年度 GAT 役職者の人選と推薦について協力の呼びかけが行われた。
- ・小川晶子 GAT 東日本エリアリーダー
地区の進捗、評価を行う件が国際会長のメールで呼びかけがあったかと思う。
地区ごとのクラブ・支部設置の状況について報告があり、一部のガバナーについては目標設定などの変更を含め残って今後の報告をいただきたいと呼びかけ。

◇公益財団法人日本ライオンズ活動報告

小野寺理事より資料を元に報告。
特別支援高校を対象とした第4回全国フットサル大会を今年11月1日東京で行う。150校の参加を目標としており、室伏スポーツ片長官にもお越しいただきたいと考えている。事業としての知名度がかなり上がってきていると実感している。
皆さんの地元で行われる地区大会には時間を作っていたいただき是非見に行っていたください。児童養護施設の子供たちの学力向上を目的とした寺子屋事業は現在35の施設で行われている。協力をいただく NPO 法人が西の地域が少なく課題であるが、家庭教師を面談の上、パートナーとして施設に派遣を行っている。
施設の子供たちには小学校高学年で算数ができない、ひらがなが書けない子どもたちもいる。財団の事業を通じて将来が拓けた子供たちもいる。皆様には何卒ご協力をお願いしたい。

◇その他

- ・OSEAL レオフォーラム
廣田常務理事より報告。第6回となる OSEAL レオフォーラムを2025年11月7-9日に MD335 が主催として行うため検討を重ねてきた。
レオの目的と意義を果たし、明日のライオンを育成したい。予算の不足分についてはライオンズメンバーに限らない協賛、LCIF の交付金を活用し各地区への協力はお願いしたい予定である。
昨年は香港で開催されたが、その規模感にはレオの参加登録者が香港で60名、香港以外から50名で110名。ライオン50名で160名位。規模感には OSEAL フォーラムの1/100程と予想される。皆様に協力を願いたい。
- ・SON 感謝状が日本ライオンズへ授与された報告が中谷専務理事より行われた。

・監事講評

石橋監事より講評。
本日の議案であった賛助会費値上げは今後のことを考えてのことではありますが、各ガバナーにおいては地区への説明の材料が足りないとの話もあつたので、詳細な資料は松浦理事長がしっかりとりましたものを用意するかと思います。ご協力に感謝いたします。

◇開会宣言

理事長 松浦 淳一
以上

議事録作成人：

常務理事 渡邊 俊亦
常務理事 佐藤 裕幸

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ理事長 松浦 淳一【押印省略】
330-A 地区ガバナー 森 亮介【押印省略】
332-A 地区ガバナー 吉澤 俊寿【押印省略】

【正社員】 第4回社員総会 (全国ガバナー会) 出席者数 内訳:

出席	17	欠席	17	小計
DG	17			34
理事	20	1		21
監事	2	2		4
				59(名)

※議決権行使書受領済み

議決権行使書

- 第1号議案：社員退会者承認の件
費 20 否 0
- 第2号議案：新社員入社予定者承認の件
費 20 否 0
- 第3号議案：2024-25 年度事業報告及び計算書類 (経過) 承認の件
費 20 否 0
- 第4号議案：理事の任期満了に伴う改選案に関する件
費 20 否 0

<正社員> 2024-25 年度

- 330-A 地区ガバナー 森 亮介
- 330-B 地区ガバナー 倉田 雅史
- 330-C 地区ガバナー 猪野塚 弘樹
- 331-A 地区ガバナー 美田 法賢
- 331-B 地区ガバナー 伊東 隆志※【欠席】
- 331-C 地区ガバナー 齋藤 尚仁※【欠席】
- 332-A 地区ガバナー 吉澤 俊寿
- 332-B 地区ガバナー 平野 嘉男※【欠席】
- 332-C 地区ガバナー 佐藤 久一郎※【欠席】
- 332-D 地区ガバナー 車田 信彦
- 332-E 地区ガバナー 安孫子 英彦
- 332-F 地区ガバナー 長澤 源一※【欠席】
- 333-A 地区ガバナー 高頭 八郎※【欠席】
- 333-B 地区ガバナー 福田 智恵
- 333-C 地区ガバナー 大薮 勝明※【欠席】
- 333-D 地区ガバナー 染谷 文雄
- 333-E 地区ガバナー 椎名 健二
- 334-A 地区ガバナー 柴田 高志
- 334-B 地区ガバナー 丹羽 浩康※【欠席】
- 334-C 地区ガバナー 鷹嶋 邦彦
- 334-D 地区ガバナー 杉木 徹
- 334-E 地区ガバナー 浜 一平
- 335-A 地区ガバナー 永田 雅章※【欠席】
- 335-B 地区ガバナー 古川 繁浩※【欠席】
- 335-C 地区ガバナー 野々山 宏※【欠席】
- 335-D 地区ガバナー 今市 明弘※【欠席】
- 336-A 地区ガバナー 石井 淑雄
- 336-B 地区ガバナー 上原 正樹
- 336-C 地区ガバナー 鳴戸 大二※【欠席】
- 336-D 地区ガバナー 神田 義満
- 337-A 地区ガバナー 矢野 進※【欠席】
- 337-B 地区ガバナー 健治郎 為永
- 337-C 地区ガバナー 宇部 要一※【欠席】
- 337-D 地区ガバナー 吉 井 本※【欠席】

(2024-25 年度)

- 一般社団法人日本ライオンズ副理事長 田名部 智之
- 公益財団法人日本ライオンズ理事長 小野寺 眞悟

(2024-25 年度 協議会議長)

- MD330 議長 伊賀 保夫
- MD331 議長 諏訪 昇三
- MD332 議長 渡邊 俊弥
- MD333 議長 佐藤 裕幸
- MD334 議長 喜多 友一
- MD335 議長 廣田 晃一
- MD336 議長 藤井 信英
- MD337 議長 濱田 浩平

(2023-24 年度 協議会議長)

- MD330 議長 田中 雄一
- MD331 議長 松浦 淳一
- MD332 議長 栗村 安弘※【欠席】
- MD333 議長 星野 勝美
- MD334 議長 戸祭 宏樹
- MD335 議長 中谷 豊重
- MD336 議長 澤 辰水
- MD337 議長 新里 正雄

(2024-25 年度 新理事)

- 2023-25 国際理事 城阪 勝喜
- 2023-25 国際理事 濱野 雅司
- 2024-25 LCIF 理事 鶴嶋 浩二

(2024-25 年度 監事) 2 年任期の 1 年目

- MD332 元議長 下間 俊悦
- MD333 元議長 石橋 貞
- MD335 元議長 小林 聰※【欠席】
- MD337 元議長 乗田 泰※【欠席】

※議決権行使書

正社員総数 59 名 (出席 39 名・欠席 20 名)

オブザーバー

【国際協会】

元国際会長/名誉理事長
【2024-25 日本 GAT】

山田 賢 敏

鈴木 晋男 【欠席】

小川 品子 【欠席】

松岡 勲

識名 安信 【欠席】

伊藤 和子

田名部 智之 *

大山 恭範 【欠席】

有本 みどり 【欠席】

設楽 幸子

濱島 清美

川島 正行 【欠席】

仁科 良三

田名部 智之

【欠期議長予定者】

倉田 雅史

設楽 幸子

車田 信彦

水沼 孝夫

杉木 徹

山本 忍

山崎 もとみ

武永 健治郎

【地区ガバナーエレクト】

上野 繁幸 【欠席】

森川 吉季 【欠席】

三浦 宏仁 【欠席】

山崎 巖

大島 尚久 【欠席】

高橋 伸介 【欠席】

藤田 鉄哉

廣田 清美 【欠席】

高藤 孝一 【欠席】

酒井 富也

横山 昭子 【欠席】

野宮 加代子 【欠席】

林 隆行 【欠席】

前原 正義 【欠席】

廣瀬 直樹

荻野 匡司

若林 純也 【欠席】

清水 清朗

加藤 謙一

杉山 節雄

森川 直之

飯田 重光

栗栖 正明 【欠席】

笹部 美千代 【欠席】

田端 俊三 【欠席】

船橋 佳照 【欠席】

向 和人

明 明

榎本 浩二 【欠席】

宮本 眞二 【欠席】

日下 誠 【欠席】

松村 誠 【欠席】

増田 勝也 【欠席】

川原 保治 【欠席】

脇黒丸 一典 【欠席】

熊宮 敏敏 【欠席】

【一般社団法人日本ライオンズ】

法律顧問 池田 和司 【欠席】

会計顧問 吉田 宗一郎

事務長 増澤 義治

【松浦理事長事務局補佐】

南浦谷 靖

成田 祐樹

・社員総会開会に先立ち、公益財団法人麻葉・覚せい剤乱用防止センター 松本専務理事よりご挨拶と取り組みについての説明を頂いた。

以上

中谷専務理事

議事開始前に出席状況を確認した結果、社員総数59名中58名(会場39名、議決権行使19名、欠席1名)が出席しており、定款16条で定める定足数(社員総数の過半数)を充足しているため本定時総会は適法に成立したと宣言された。

註：欠席者1名については後日議決権行使書が提出されたため、最終的には議決権行使20名・欠席者0名となった。

また、定款17条に基づき、以後の議決は出席社員の過半数をもって決する旨が報告された。

1. 開会のことば 日本ライオンズ理事長 松浦 淳一

開会にあたり山田元国際会長、国際理事の皆様、各地区ガバナー、ガバナーエレクト並びに関係者へ感謝を述べ、昨年8月4日の就任以来の支援に深く謝意を示した。自身が病にかかり手術・抗がん剤治療を受けた際、山田 PIP をはじめ多くのメンバーがサポートしてくれたことを回想し、「助けられた命をライオンズに捧げたい」と決意を表明した。

就任後は田名部前理事長が進めた組織改革を継続しつつ実装段階へ移行したと説明し、特に(1)国際協会の認められる強固な運営体制づくり、(2)会費値上げとライオン誌送料負担の負担一元化、(3)国際会長・要人来日の受け入れ体制の社団予算化、(4)国際大会やパレード支援費用の社団負担など、具体的な4点を成果として示した。

賛助会費値上げは35地区の事情に配慮しながら10月から議論を重ね、各地区大会で承認に至った経緯を報告したほか、ライオン誌の発送先を従来のクラブ宛へ集約し活用を促進する考えを示した。また為替が150円付近で推移し補助金収入が減少する可能性に触れ、財政リスク管理の重要性を強調した。来期以降は国際会長招聘や大会関連費用を社団として計画的に負担し、会員増強、若手・女性の参加環境整備を呼び掛けた。

最後に「日本全体で力を合わせ、地域に即した魅力ある活動を展開し、新しい仲間を迎え入れよう」と締めくくり、出席者の協力を求めた。

2. 議事録作成人・署名人の選出

議事録署名人として333-B 福田智恵ガバナー、337-B 武永健治助ガバナーが選出
議事録作成人とし MD336 藤井常務理事、MD337 濱田常務理事が選出された。

3. 議事運営について

審議に入る前に議事運営のルールが示され、総会の円滑な進行と秩序を保持するため出席者はすべて議長に指示に従うこと、発言は議長の指名を受けた順に行うこと、指名された者は所属地区と氏名を述べてから発言すること、質問や意見は簡潔にまとめおむね3分以内とすることが確認された。

4. 審議事項

第1号議案 社員退会者承認の件

議案資料に記載された退会届提出者59名について説明がなされ、質疑を求めたが異議はなく、出席・委任を含む全会一致で当該正社員59名の退会を承認した。

第2号議案 新社員入社予定者承認の件

次年度の入社予定者60名の入社届を受理しており、理事会構成は今年度と同様の構成で21名とする。2年任期中の監事は継続と説明のうえ質疑を求めたが発言はなく、出席・委任を含む全会一致で全員の入社を承認した。

第3号議案 2024-25年度事業報告及び計算書類(経過)承認の件

戸籍財務担当理事に代わり、吉田会計顧問より第3号議案の配付資料に沿って説明があった。まず5月末時点の貸借対照表が示され、続いて正味財産増減計算書(概算見込)を説明し、会費値上げ分やライオン誌関連費用の影響、国際協会補助金、物販収益など主要科目についても概況を補足し、最終決算は6月30日締めとなり、7月8日に8MDによる年度末監査を受けたいうえで8月4日の次年度第1回定時総会で正式承認を求める段取りが示された。

質疑を促したが発言はなく、議長が採決に付したところ出席・委任を含む全会一致の賛成で事業報告と計算書類経過を承認した。

第4号議案 理事の任期満了に伴う改選案に関する件

現行理事は本総会終結をもって任期満了となるため、次年度理事候補として現・前議長16名、前理事長1名、公益財団法人日本ライオンズ理事長1名、国際理事候補者2名、LCIF 理事予定者1名の計21名体制とする旨が示され、資料記載の21名を次期理事候補者として推薦し、8月4日開催予定の第1回定時総会で正式選任する段取りとなることが報告された。議長が質疑を求めたが発言はなく、採決にて出席・委任を含む全員が賛成し、全会一致で原案とおり承認された。

5. 報告事項：各種活動報告 等

◇国際連事会報告

・山田眞誠元国際会長・名誉理事長

本日の社員総会についてまずガバナーが1/3の出席、ガバナーエレクトの出席率が約55%にとどまっていたことに触れ、コロナ禍でオンライン中心となった結果、世界的にライオンズの熱量が下がったと指摘したうえで、対面での活発な意見交換を再開して組織の活力を取り戻すべきだと述べた。発言を遠慮する空気は組織を弱めるとして、立場や性別を問わず言うべきことを率直に言う文化への回帰を提唱した。

次にミッション1.5について、国際協会が日本に課した会員純増目標940名について算出根拠不透明だとしながらも、目標を達成してこそ日本の発言力が維持できると強調し、現実的な達成手段として家族会員の積極活用を勧めた。会費高騰下で入会基準を緩め過ぎればクラブの品位が損なわれ既存会員の流出を招くと警鐘を鳴らし、質を守りつつ数を伸ばす方策として家族会員や企業内クラブの活用を再度訴えた。さらに、LCIF への日本の貢献は世界首位である一方、LCI 本体での発言力を高めるには会員数増強が不可欠であると述べ、国際理事候補2名への支援を呼びかけた。情報がガバナーからゾーン・チャェアパーソン、クラブへと溢れれず伝達される体制の必要性を説き、全層が同じ目標を共有してこそミッション1.5が完遂できると説明した。

最後に7月のオランダ国際大会でメンバーシップに関する講演を行う予定であることを報告し、日本は必ず目標を達成できるので共に頑張ろうと出席者を鼓舞して報告を締めくくった。

・城阪勝晋国際理事

2年間の在任に対する謝意を述べた後、理事会活動の概要を報告した。エジプト、カナダ、ブラジル、オークラブロックなど世界各地の理事会に出席し、主に財務委員会と監査委員会を担当したと説明。

国際協会は総資産の一部をメリルリンチで安全運用しており、年10%近い利回りによる収益が協会運営を支えていると紹介した。しかし今期はインドで会費に18%の消費税が課されたため約400万ドルの赤字が生じ、春の理事会では「経費削減」が最大課題となったと報告。国際会長の移動をフアーストクラスからビジネスクラスへ切り替える検討や、世界から750人のガバナーをシカゴに集めて実施していたQ センター研修を全面オンラインに切り替える措置など、具体的なコスト削減策が議論されたと述べた。

自身が委員長を務める監査委員会では新たに外部監査法人 RSM 米国法人を選定し、財務と

業務の両面からチェック体制を強化したことを報告した。
最後はミッジョン1.5達成にはひ弱な世間のリーダーより元気な中小企業オーナーの人会促進が効果的だとして、地区レベルで意欲ある経営者を迎え入れ、日本は一丸となって会員増強と影響力拡大を図るべきだと呼び掛け、報告を締めくくった。

・**濱野雅司国際理事**

今年度のガバナーの労をねぎらい、ミッジョン1.5達成には会員増強だけでなく奉仕活動の活性化が不可欠だと強調した。
自身が2年間所属した奉仕事業委員会で世界各地の理事と交流し、日本の活動を国際水準で見直す機会を得たと述べた。6月21日と22日にLCI日本事務局主催で実施した奉仕アクトイブティ・ウェビナーには初日約400名、2日目約200名が参加し、国際協会の重点分野とアクトイブティ報告手順を解説したと報告。
来期の世界奉仕週間は①10月4日-12日（心の健康ケア）②11月3日-11日（食料支援）③4月18日-26日（環境保全）の3回で、詳細は会員リソースセンターに用意された事業案を参照してほしいと呼び掛けた。

アワード制度では、今年度実施した優れた奉仕事業を顕彰する Kindness Matters Service Award への申請を7月31日までに地区 GST コーディネーター経由で行うよう依頼。次年度は会員純増2名または10%、LCIF 寄付1人当たり10ドル、アクトイブティ報告の要件を満たしたクラブに「クラブ優秀賞」、純増20%（または5名）・寄付20ドルなど上位基準で「五つ星優秀賞」を授与する仕組みを紹介した。

研修面では FDI (Faculty Development Institute) が来期で終了し、申し込み締切が8月25日であること、来期は他の対面研修プログラムが予定されていないため人材育成に活用してほしいと説明。

アクトイブティ報告率は世界平均約75%に対し日本は約70%であり、今年度は7月31日までに必ず入力するよう要請した。

オランダ国際大会での投票では7月15日 12:00-17:00 と16日 10:00-17:00 の2日間のみで、

- ① インドなどで発生する会費課税分を該当国会員に転嫁できる定款改正
- ② 理事配分変更（米国-3、南米+1、インド+2）
- ③ 同 クラブから同時にガバナーと第1副ガバナーを出せない規定の3議案が審議されると説明。

最後に奉仕週間への参加と正確な活動報告で日本の存在感を高めようと呼びかけて報告を締めくくった。

・**崎崎浩二 LCIF 理事**

本年度日本の LCIF 寄付目標1,028万8,000ドルに対し6月23日時点の実績が1,027万4,744ドルで達成率99.9%に到達していると報告し、残り数日で目標を完全達成できる見通しであると述べた。これは円換算で約14億円に相当し、世界全体の LCIF 年間寄付額約55億円の中で日本の比重が極めて大きいことを強調した。交付金申請では5月末までに世界184件のうち日本関連案件はほぼ全件承認されており、例として332-C地区の子ども見守りシステム構築、330-B地区のフィリピン支援施設2か所設置、337地区の災害備蓄資機材整備などを紹介した。地区やクラブは交付金を活用して規模の大きい奉仕活動に発展させてほしいと呼び掛けた。申請時期が遅れると年度後半に間に合わないケースが多いので早期手続きを勧奨した。クラブシェアリング交付金については現在の15%が国際大会後に20%、将来的には30%へ段階的に引き上げられる予定であり、来期以降の寄付分から適用されると説明。併せて地区シェ

アリング交付金も増額されるため、各地区は計画的に事業を設計してほしいと述べた。

続いて10月23日-27日に札幌で開催される第62回 OSEAL フォーラム委員長として準備状況の案内。記念トータルバツグ試作品を配布し、本番ではより大きなバツグとバツグを用意すると案内。登録目標1万6,000人に対し4月23日時点では総計約4,100人にとどまっている現状を示し、各複合地区別の登録人数を読み上げて増員の協力を依頼した。会場確保の都合上、10月25日に同日程度で開催される関ジャニ∞の札幌公演とホテル・交通手配が適合するため、早期登録の重要性を強調した。さらに登録キックを事前に各地区へ着払い発送する案への意見を求め、持ち帰りの手間を省く方法を検討すると述べた。

最後に、松浦理事長をはじめ執行部への謝意を表すとともに、これからも奉仕活動に邁進していただくよう訴えて報告を締めくくった。

◇**公益財団法人日本ライオンズ活動報告**

・**公益財団法人日本ライオンズ 小野寺眞理理事長**

財団が設立から5年を迎えたことを報告し、同財団の重点事業を障がいのある子どもへの支援と位置づけていると説明した。具体的には、2022年に開始した特別支援学校全国アクトサル大会を今年で3回目まで開催し、延べ約3,000人の児童生徒が参加していると紹介した。また児童養護施設への学習支援寺子屋事業も2021年から展開し、現在43施設で小学生から高校生までを対象に学力向上と自己肯定感の醸成に取り組んでいる。児童養護施設入所児童の約70%が虐待経験者である現状を踏まえ、学習環境の整備とメンタルケアの重要性を強調した。財政面では、寄付の大半を役員自身が負担しており、今年度は理事長の地元 MD331 から約2,300万円、最初の理事長である不老 PID の所属する MD337 から多額の支援が寄せられたと報告した。財団役員は手弁当で活動しており、事務費も自己負担であると説明して参加者の理解と協力を求めた。さらに LCIF とのパートナーシップによる交付金や助成金の獲得が進んでいる。次年度は支援対象児童をさらに拡大するための改正案を策定し、クラブレベルでの理解浸透を図る広報活動を強化する方針を示した。

呼ばれるほどどこへでも出向いて説明すると述べ、最後に障がいを持つ子どもたちの自立を後押しするのが公益財団法人日本ライオンズの使命であり、今後とも変わらぬ支援とご指導をお願いしたいと結んだ。

◇**GAT エリアリーダー報告**

・**松岡勲 GAT 西日本エリアリーダー**

来期の喜多理理事長予定者と新執行部への協力を呼びかけ、日本ライオンズ組織が一つのチームとして機能するには、GAT と LCIF を両輪で連携させることが不可欠だと強調した。特に GST が創出する奉仕活動こそが会員増強 (GMT) とリーダー育成 (GLT) を促進し、FWT による家族会員拡充へ循環するという流れを再確認してほしいと訴えた。

ミッジョン1.5達成に向けてはスペシャリティクラブが増加しており、その受け皿として会費・例会形態など既存クラブの規制緩和が必須と指摘した。

来期の年次大会議案では、ガバナーエレクトと次年度第1副地区ガバナーが連携し、会則改定を含む環境整備を進めるよう要請した。また GLT 研修報告の提出率が87.5%にとどまり、未報告は MD333 のみである明かし、6月30日までに必ず登録するよう強い協力を求めた。さらに、FDI 受講や各種研修の申込みは研修実績報告が前提条件となるため、全地区の報告はもちろん、MD からの報告もしっかりと行っていただきたいという願いをし、報告を締めくくった。

◇**一般社団法人日本ライオンズ監事中間報告**

・**石橋貞事**

本総会で審議した4件の議案が出席者全員の賛同を得て承認されたと報告し、協力が感謝を述べた。社員総会は年4回実施しており、今後はガバナーの出席率向上が重要課題だと指摘した。世界情勢が読めないため、国際理事、LCIF 理事にも理事会へ入っていただきたいと情報共有を

強化してきたことには有意義だったと評価した。
会費値上げをめぐっては前回理事会で決議済みであり、各複合・地区の年次大会での承認状況を確認している旨を説明し、自身の所属する333複合では議長の間接的な参加と協力を求めた。最後に次期役員・ガバナーにつき統括的な参加と協力を求めた。

◇一般社団法人日本ライオンズ委員会報告

- ・国際大会委員会 戸森宏樹委員長
オーランド国際大会に伴う行事運営の詳細を報告した。7月15日の代議員朝食会ではビジネススタイルでの参加を求め、DGE向けのバス代金が1人あたり7,000円、同業者が求められる方は計14,000円負担となると説明した。
国際大会で行われるパレードについて、集合は8時30分、出発順位は151番目であると伝えた。行進の迫力を高めるため、ブラスバンドや三三三拍子を入れる。前日打合せと当日の待機時間が長引く可能性が高いことから、参加者へ十分な協力を求めた。

・YBC委員会 田中雄一委員長

日本ライオンズとして統一の指針がなかったホストファミリー手引書を新たに作成し、ホストクラブ向けガイドを追加したこと、また複数年にわたり検討しているYCE事業の日本ライオンズ一本化については結論に時間を要するため、来期委員会へ諮問機関の設置を含め継続協議事項として引き継いでいく。
今年度の冬期・春期交換プログラムの重事故もなく終了し、夏期交換についても現在編纂に準備が進んでいると説明した。夏期は7月から8月、遅い地区では9月まで日程が伸びたため、現ガバナーの任期内に委員会メンバーを激励していただきたいと報告した。

・アラート委員会 新里正雄委員長

アラートフォーラム in 茨城では委員長親身研修を今回はじめて開催。次年度の開催予定のアラートフォーラム in 大阪では、支援活動に関心を持つメンバーの積極的な参加を求めた。また、アラートフォーラムへのガバナーの出席が非常に少なかった事に触れ、次回は各地区からの参加を強く要請した。

・会則委員会 中谷豊重委員長

改訂版の役員必修を本年度中に発行し、まもなく各クラブへ配布できる見込みである。しかしライオンズ必修については、大幅な条文整理と見直し作業に時間を要しているため今期内の完成は困難だが、ひな形と根拠条文の整理は終えており、次年度早期に発行できるよう準備を進めると説明した。

・国際理事候補者資格審査委員会 薄尾水委員長

昨年の8月2日、日本ライオンズ事務局で行い、2025-2027年度国際理事候補者として届出のあった田名部ライオンズについて資格審査を行った。8複合の委員と人念にチェックをし、同候補者が国際理事候補者資格要件をすべて満たしていることを確認し、委員全員が審査報告書に署名捺印したと報告した。

・ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会 松浦淳一理事

栗村理事が欠席の為、代わり松浦理事長が報告。これまで唯一、一度も開催をしていない委員会である。本日冒頭で公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターご担当者にあいさつを頂いたが、薬物乱用防止は全国各地で積極的に行っているため、もう一度立て直しをしてゆきたい。

・PRマーケティング委員会 (ライオン誌) 星野勝美委員長

ライオン誌日本語版委員会及びマーケティング委員会での活動をしており、今期はライ

オン誌の取材を内製化した結果、制作費を大幅に削減しつつ記事量と新企画を増やせたこと報告した。国際理事関連などタイムリーな情報を掲載できた一方、ウェブ版の閲覧率は会員の約1割にとどまるため、LINEのQRコード配布やメールマガジン送信を試みたものの登録数が約6,000件に留まっていると課題を提示。

来期はクラブ短一括発送へ変更し、クラブ例会で会長に紙面を紹介いただくなどの形で読者拡大を図るとともに、8月号から全国のマーケティング委員長が歩調を合わせて対外広報にも力を入れる方針を示した。

◇その他

・仁科良三国際理事候補者

オーランド国際大会の現地へ皆と合流できるのを楽しみにしており、とりわけ日本からの参加者へ伝えるのが待ち遠しいと述べた。自身の性格について感じれば言わずにいられず、見ればすぐ行動するタイプだと紹介し、全力で職責を果たすと約束した。最後に力強い支援を重ねて依頼し、謝辞を述べて挨拶を締めくくった。

・田名部智之国際理事候補者

日本ライオンズ前理事長としての現職を、本日をもって終えると挨拶し、松浦理事長が昨年の改革を受け継ぎさらに発展させたことに謝意を表した。理事会では発言を控えてきたが、7月のオーランド国際大会で当選を果たせば、仁科国際理事候補者とともに国際理事としてオーランドの立場を一層高めるべく全力で取り組むと決意を示した。

・松浦淳一理事長より一年を振り返っての閉会あいさつ

委員会報告が熱心に行われ、年間の成果が共有されたことに謝意を示し、疑問があれば事務局へ問い合わせしてほしいと述べた。

冒頭でも触れたとおり山田元国際会長の支援で助けられた命であり、これらの恩を返すのはライオンズしかないことと決意を示した。各複合、35人のガバナーと親しく連携してきたと振り返り、1年間共に取り組んだ全員に深い感謝を表した。今年度は計116件の事業を実施し、対面・オンライン双方で出向した委員が35地区8複合地区へ積極的に関与したことを報告したうえで、来年度は喜多理事長予定者の体制の下でさらに団体を発展させて欲しいと展望を示した。

今後も忘れない意見を寄せてほしいと呼び掛け、オーランドへ向かう35名の健闘と各自の素晴らしい1年の締めくくりを祈念すると結んだ。

以上

議事録作成人:

常務理事 藤井 信英

常務理事 濱田 浩平

議事録署名人:

一般社団法人日本ライオンズ理事長 松浦 淳一【押印省略】

333-B地区ガバナー 福田 智恵【押印省略】

337-B地区ガバナー 武永 健治部【押印省略】

(2024-2025 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 第6回理事会 議事要録

開催日時：2025年1月23日(木) 10：30-14：00

場 所：日本ライオンズ事務所+ZOOM

理事長
専務理事
副理事長
副理事長

松浦 淳一 (岩見沢はまなす)
中谷 豊重 (岸和田) 【Web】
喜多 友一 (上田城南)
澤 辰水 (下関)

常務理事
常務理事
常務理事
常務理事
常務理事
常務理事
常務理事

伊賀 保夫 (東京レース)
諏訪 昇三 (札幌時計台)
渡邊 俊弥 (仙台五城)
佐藤 裕幸 (柏崎日本海)
廣田 晃一 (姫路中央)
藤井 信英 (岡山みらい)
濱田 浩平 (長崎南)
田中 雄一 (狹山)
栗村 安弘 (大船渡)

理事
理事
理事
理事

【欠席】

星野 勝美 (太田)
戸祭 宏樹 (鯉江玉山)
新里 正雄 (沖繩)
下間 俊悦 (男鹿)
石橋 貞 (足利西)
小林 聰 (姫路広陵)
栗田 泰 (伊万里) 【Web】

日本ライオンズ前理事長
公益財団法人日本ライオンズ理事長

田名部 智之 (八戸)
小野寺 眞悟 (札幌北の杜)

国際理事
国際理事
LCIF 理事
法律顧問
会計顧問

城阪 勝喜 (大阪港)
濱野 雅司 (岩槻)
鶴嶋 浩二 (札幌中島)
池田 和司 (東京桜門)
吉田 宗一郎 (東京武蔵野) 【欠席】
増澤 義治 (諏訪湖)

日本ライオンズ事務局長
理事長事務局長補佐
理事長事務局長補佐

南部谷 靖 (岩見沢はまなす)
成田 祐樹 (岩見沢はまなす)

◇開会宣言

松浦理事長より冒頭の挨拶。
城際国際理事、濱野国際理事、鶴嶋 LCIF 理事、田名部前理事長より挨拶を賜る。

◇出席者確認

過半数が出席のため、理事会が成立。

◇議事録作成人の指名

議事録作成人として渡邊常務理事、佐藤常務理事を指名。

1. 報告・協議及び審議事項等

(1) 1/8 第6回国際大会委員会報告

第107回オランダ国際大会 (2025年7月13日-7月17日)

【報告事項】

日本ホテルおよびツアー計画の進捗、パレード参加の進捗。
幹事公認TCと打合せを行い、空港からホテルへの送迎も各MD混載ということ
で一つにまとめる。オプションツアーも全MD共通とする事で空席を少なくし、
値段を下げ方向で話をしており、2月3日開催の第7回国際大会委員会で公認
TCに来ていただいたき話をする事となっている。

ホテルについては「ダブルツリーバイヒルトン・オランダホテル・アットザ・
シーワールド」で385室抑えられそうという状況。アメリカの慣例により、週末
を跨ぐと航空運賃が安くなる傾向がありツアー一日程にも反映する。

パレードのバンドについては現地で手配できるかを OSEAL 調整事務局に確認中。
隊列が長くなった場合はバンドを複数頼む必要があると指摘あり。

パレードについては詳細の調整中のため、改めて議題とする。

パレード「頒布品」コンペ開催結果報告

交換ピンは同一デザインを2個一組、缶バッジは同一デザイン・サイズを2個一
組、小物はキャップとした。頒布品について全会一致で承認。
パレードではタイ・パタヤでの第61回 OSEAL フォーラムの際のアロハシャツを
着用。田名部国際理事候補に確認して了承をいただいている。
ポトムスは白系統のスボンと踵のある同じく白系統の靴。

日本代議員日程について

7/15 開会式の朝、朝食会の形でダブルツリーバイヒルトンにて行う予定。詳細が
決まり次第案内する。

【審議事項】

オーランド国際大会への職員出張要請

増澤事務長、職員2名の計3名の出張要請が提出され、全会一致で承認。

MD 別公認 TC の営業活動範囲の見直し(公認 TC 規程)

MD331 でふさわしい一種旅行業者が見つからず、MD330・333 を担当している公認 TC を MD331 公認 TC とした件の報告。協議の結果、規約変更は行わず今年度のみ特例として承認する。

第 62 回 OSEAL フォーラム in 札幌 (2025 年 10 月 23 日-10 月 26 日)

【報告事項】

各 MD 登録目標数 (1/9 第 5 回執行理事会議長確認)

全日本で 10,000 名、開催地として MD331 は 3,000 名とし、MD では全員登録の依頼を出している。各 MD の登録目標については執行理事会にて特典会員を除く会員数からの割り当て案を元にした目標人数設定とした。田名部国際理事候補者、仁科国際理事候補者の地区は目標を大きく超えるようにお願いしたい。早期登録については日本のみ 3 月末まで。

【登録方法】手順のご案内

第 62 回 OSEAL フォーラムホームペーからの登録についての説明。登録手順については資料の記載の通り。現在はクレジットカードでの支払いのみだが、グループ登録時の銀行振り込みを可能にすることを検討中。2 月の早い段階で対応をする予定。

(3) スベシャルオリンピックス (SO) 2025 年 トリノ大会

【審議事項】「ラジオ企画」支援について

スベシャルオリンピックスのラジオ企画の支援として 175 万円 (160 万円+税) の協賛をしたい。SO の特別会計に 640 万円ほどの残高があるのでここからの支出としたい。前回のドイツ大会では 1,000 万円の交通費を社団から支援を行った。様々な冠協賛企画があるのでライオンズをアピールするには良いのではないかと考えている。S T V は日本テレビ系の北海道ローカルラジオ放送。録音をさせていただくので後から音声を皆さんに聞いていただくことは可能。全会一致で承認。

(4) ダイナースカード「賞書(案)」の件

【報告事項】契約締結に向けての進捗報告

賞書(案)にある支払い責任についての記載について議論。

池田法律顧問より日本ライオンズにとって大きなマイナス面があるので再検討したほうがよいと意見。

ダイナースとは増澤事務長と池田法律顧問が再度打ち合わせを行うことを承認。

(5) 「会費」値上げ対応の件

今まで2年間、理事への交通費の支給なしで運営をしている。現状は赤字の決算となっている。請求発行の仕組みなどの導入でコスト削減しつつも、初年度 40 円、次年度 80 円で現状の 80 円から 160 円まで値上げをした。

賛成・反対の立場から意見が出、議論が交わされた。

まずは社団でのさらなる経費削減の見直しが必要とし、ライオン誌発送方法など、具体的な経費削減方法の案などが出る。

会費値上げの場合のブル金計算の扱いについても議論が必要。

会員の皆様にご理解いただくためには丁寧な説明が必要であり想定問答集資料作成などを行う。

2 年をかけて計 80 円の値上げを行うことについて、全会一致で承認。

(6) 下半期予定の確認

下半期の活動予定およびスベスケジュールの共有。

2. 各種報告事項

ブラジル国際理事会(2024 年 10 月)決議要約の確認

- ① 財務及び本部運営委員会にて 334-D 地区内の 7 クラブの国際会費の免除が 2025 年 12 月 31 日まで延長となった。
- ② 長期計画委員会にて国際大会の 5 日目の投票が廃止とした。これにより閉会式の直前の投票が不可となった。
- ③ マーケティング委員会にて公認プロトコルの改訂がされ、GET コーディネーターが加わった。
濱野国際理事より主にこの 3 点を各 MD に伝えていただきたいと報告。

アラート委員会報告

能登サント企画

喜多副理事より本件の経緯を再度説明。問題が多岐発生。本来取るべき手順が取られておらず、MD では委員会自体の再編の可能性もでていることの報告。

日本ライオンズのアラート委員会にも迷惑をかけている。組織を無視してやっている状況。日本ライオンズ理事会へ一任していただき、抗議文などの処理の報告

はさせていただきたい。本来MDで解決する問題ではあるが大きくなってきているので、日本ライオンズとして対応する必要があると意見。

能登ベース 支援金収支報告と物品譲渡契約書

藤井常務理事より報告。
収支について、ガス、電気料金として予算150万円の中から3.8万円ほど使用料として執行し、余った分を社団に振り戻しをした。物品譲渡については再度協議し報告をしたい。

全国アラートフォーラムin 茨城 (2025年3月14日開催予定) 進捗

1月31日ババ切だが本日の時点で169名の登録。500名の目標だと300名ほど足りていない。社団の総会の翌々日ということもあるが、出来るだけ皆さんに目標の数字に近づくように協力をお願いしたい。MD332とMD334が目標との差が大きいのので特に協力をお願いしたい。MD333は300名ほど参加予定。現在の組織について東西のリーダー、統括リーダー委員の下に班長、副班長となっているが組織変革を検討中。理事会でも相談したい。

会則委員会関係報告

ライオンズ必携については根本的な編成見直しのため完成が遅れている。役員必携については新しい役員研修資料にしたいいので3月末から4月上旬発行に向けて動いている。役員必携の見直しを部数により3パターン取っている。各MD・地区に必要部数のアンケートを取っているのとまとめた時点で正式な数量を決定して進めていきたいと思っている。

日本国内共通コンプライアンス規定について

日本国内の会員・事務局職員に対し、日本共通のコンプライアンス規定を設けたいと案が出ているため、委員会として適合性・整合性を揃えるように進めている。ライオンズ必携掲載の前文に問題があるとの指摘。国際理事会方針書と違う書き方をしている部分があると質問あり。
現在慎重に見直し中であり、一部の記載については掲載場所の変更なども検討中であると回答。

地区より寄せられた質問について回答の共有。
色々な文書が社団、財団へ送られてきており、問題があった時はそれぞれの地域の議長とガバナーにお伝えし、解決する流れとなっている。

来期GAT役員選出の件

濱野国際理事より説明。

APシン第1副国際会長より、次期のGATの選出の協力依頼があった。1月31日までに予定者を任命し報告してほしい。

第一副地区ガバナーはすでにこの件についてご存知かと思うが、各地区の現ガバナーに迷惑をかけない形で時期のGATの選出への支援、ご協力をお願いする。MDのコーディネーターの選出については議長が決まってきたのでからの選出になると思うが、まずは地区のGATの選出を速やかにお願いしたい。予定者、としての報告でも良い。

APシン第一副会長は準地区だけ役員を決めて欲しいとおっしゃっているが、日本の事情を考えるとMDも一緒に決めたい方が良くかと思われる。

MD335からの報告事項

「オリベイラ国際会長」公式訪問 収支報告

収支報告の通り剰余金は約100万となったが、車両代、打ち合わせ、記録費など50万近くの費用を個人負担とした結果である。
については剰余金の扱いをどうするか、は今後検討する。

「レオ・フォーラム」開催の件 (2025年11月頃開催予定)

前回までのレオ・フォーラム開催について説明。前回開催された香港レオ・フォーラムの際に次は日本で開催するという話になっている。確定ではないが、可能性として協議をお願いしたい。

LCIの正式なプログラムなので開催を前向きに検討してほしい。

現在田安でレオが日本に集まりやすいことや、MD335にはレオ会員が多いなどの理由と聞いている。

日本での開催に返事をする前に日本のレオクラブ会員に声掛けを行うことや、札幌フォーラムでの開催など考えていただくべきであったが協力できるところはあるので成功へ向け模索したい。

レオ・フォーラムの実施について了承。

3. その他

第7回長崎理事会について開催場所の資料を配布。

理事会出席欠返信方法について、「調整さん」の利用を検討。

職員の福利厚生としての研修旅行についての提案。全会一致で承認。

◇次回理事会開催予定：

- ・2/4 (火) 第6回執行理事会 (13:30-Web開催)
- ・2/12 (水) 第7回理事会 (14:00-長崎開催)
- ・3/5 (水) 第7回執行理事会 (13:30-Web開催)
- ・3/12 (水) 第3回定時社員総会(13:30-AP日本橋開催 ※AMに理事会開催予定)

◇閉会宣言 専務理事 中谷 豊重

以上

2025年1月23日

議事録作成人：

常務理事 渡邊 俊弥

常務理事 佐藤 裕幸

議事録署名人：

理事長 松浦 淳一 【押印省略】
監事/MD332 元議長 下間 俊悦 【押印省略】
監事/MD333 元議長 石橋 貞 【押印省略】
監事/MD335 元議長 小林 聡 【押印省略】
監事/MD337 元議長 乗田 泰 【押印省略】

一般社団法人日本ライオンズ「第7回理事会」議事録

開催日時：2025年2月12日（水）14：00-17：00

場 所：長崎県長崎市「長崎県建設総合会館 5階第1会議室」+Zoom

出席者リスト

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす)
副理事長	喜多 友一	(上田城南)
副理事長	澤 辰水	(下関)
専務理事	中谷 豊重	(岸和田)
常務理事	伊賀 保夫	(東京ビース)
常務理事	諏訪 昇三	(札幌時計台)
常務理事	渡邊 俊弥	(仙台五城) 【欠席】
常務理事	佐藤 裕幸	(柏崎日本海)
常務理事	廣田 晃一	(姫路中央)
常務理事	藤井 信英	(岡山みらい)
常務理事	濱田 沿平	(長崎南)
理事	田中 雄一	(狭山) 【Web】
理事	栗村 安弘	(大輪渡) 【欠席】
理事	星野 勝美	(大田)
理事	戸祭 宏樹	(鯖江江山)
理事	新里 正雄	(沖繩)
理事 (23-25国際理事)	城阪 勝喜	(大阪港) 【Web】
理事 (23-25国際理事)	濱野 雅司	(岩槻)
理事 (24-25 LCIF理事)	鶴嶋 浩二	(札幌中島) 【欠席】
理事 (前理事長)	田名部 智之	(八戸)
理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)	小野寺 真悟	(札幌北の杜)
監事 (MD332元議長)	下間 俊悦	(男鹿) 【Web】
監事 (MD333元議長)	石橋 貞	(足利西) 【欠席】
監事 (MD335元議長)	小林 聰	(姫路広陵)
監事 (MD337元議長)	乗田 泰	(伊万里) 【Web】
オブザーバー	仁科 良三	(長野みずす)
25-27 国際理事候補者	増澤 義治	(諏訪湖)
日本ライオンズ事務局長	池田 和司	(東京桜門) 【欠席】
法律顧問	吉田 宗一郎	(東京武蔵野) 【欠席】
会計顧問	南部谷 靖	(岩見沢はまなす)
理事長事務局補佐	成田 祐樹	(岩見沢はまなす)
理事長事務局補佐		

◇開会宣言

◇出席者確認

過半数が出席のため成立。交通機関の乱れにより渡邊常務理事が急遽欠席。

◇議事録作成人の指名

星野理事・戸祭理事が指名される。

1. 審議事項

①第3回定時社員総会（全国ガバナー会）開催の承認

・開催概要の確認

中谷専務理事より資料にて概要説明。報告事項については日本ライオンズ活動報告として各種委員会報告、監事報告等、GAT・公益財団法人日本ライオンズ・LCIF 活動・OSEAL フォーラム委員会報告等、例年通りの流れとする。

・当日の審議事項について

松浦理事長より、会費の値上げについての提案とした旨の説明。

・参加対象者について

24-25年度一般社団法人日本ライオンズ正社員 60名(ガバナー35名、理事会構成員25名)、日本ライオンズ法律顧問、会計顧問、事務局補佐、事務局長とする。オブザーバー参加者については名誉理事長である山田元国際会長、GAT関係者としてエリアリーダー、サブエリアリーダーとし、また第1・第2副地区ガバナーへ向けた YouTubeでのストーリーミング配信も行う事とする。

・開催概要について全会一致で承認された。

2. その他協議および確認 報告事項

註：2月12日の会議開催時点でのデータとなり、最新情報とは異なる箇所がございます。

②会費値上げについて

・想定問答集内容の検討
増澤事務局長より収支予想変更点について2種類の2025年度支出席案を元に説明。どちらも貴助会費を現状の80円とした試算となり、収入の部でライオン誌発送料（現在の個人発送からクラブ発送へ切り替え前提で計算）と各種会議旅費分担金収入約200万（プール計算）を会費の値上げによって各複合からいただくかず、社団で支払う事とした場合（A案）、現状の支出とした場合（B案）の比較となる。

支出の部ではライオン誌の送料が1,710万かかっていたものが個人配送を辞めてクラブ配

送のみとすることで806万ほどに下がる。

ライオン誌デジタル版関連費では現在の執行額が予算の1割未満となっているが、外注で行っていたライオン誌取材を各複合青委員やクラブ、社団の職員が取材を行うなど内製化の努力の結果である。ただし来期予算は現状のままでの計上としている。

国際大会・アジアフォーラム関係の600万についてはOSEAL、札幌大会があり、事務員派遣やジャンクセッションでの社団負担分、備品購入などを考慮し予算増とした。

職員の退職金の支給を行う給与規定の変更に伴い、退職金引当のため72万を計上した。旅費交通費については各種委員会ともに対面会議が増え、社団の事務所内で行うことが多くなった。現在各委員長の会議参加のための旅費・交通費は各MDがプール制という形で負担をしている。後述するが会費値上げの際には廃止し社団で旅費を支払うことも考えなくてはいけないと思われるため、予算案では金額を上げて計上している。

印刷費は会議資料などの印刷費。紙の値段も上がっている。通信費については請求書の送付のシステムを作成中であり、切手代が上がっているがメールで送付出来るようにして下げる努力をして40万の削減とした。

水道光熱費は価格高騰により100万から130万とした。減価償却費についてもプリンタなど償却する資産があるため80万とした。その結果収支予想Aでは1,311万、Bでは2,297万のマイナスとなる。以上のシミュレーションを元に賛助会費の値上げをお願いしたい。

会費値上げの件について追加説明。2024年度予算案と2025年度収支予想Bとの比較。

収入3,000万の減少についてはライオン誌の送料収入が社団から各準地区キャピネットへ送付するため各クラブからの収入が0となり、プール金制度を廃止し社団の負担に、頒布品収入が今年度は役員必携のみ発行予定でありライオンズ必携を発行しない事が主となる。支出の減少1,000万についてはライオン誌直接出版費、頒布品原価等。つまり社団としては支出を減らす努力はしているが、それ以上に会員の減少であったり、ライオン誌の収入がなくなったりで大きく収入が減ってしまっている。是非みなさんご理解ご協力をいただきたい。というのが火まかな所。続けて地区・複合からの質問を元に作成された資料を元に説明。

2023-2024年度においてプラスなのになぜ会費値上げが必要なのかという事に対して、2024年度予算は赤字であり、積立金727万円を取り崩している。取り崩さないで単年黒字にはなっていない。また会員減少が進んでおり賛助会費収入やライオン誌補助金収入も減っており、特にライオン誌補助金はドルベースなので円高になればさらに収入減となる。経費削減の努力について説明。理事会構成員の旅費支給削減を主とし、ライオン誌編集内製化など総額で年間3,000万を削減。

ライオン誌を個人発送からクラブ発送へ切り替えのケースの詳細。各クラブからいただいた1,533万の送料負担がなくなり、送料自体も778万の削減となる。委員会旅費について、賛助会費値上げにより現在のプール制を廃止した場合、各MDの負担は年間110万ほど減少する見込み。

事務費(人件費)の今後の推移については、ライオン誌や社団の既存の職員が退職等により、新しい方の入社とその教育で、今後様々な業務を担っていただく事で現行の体制で今後も

3

進められるように体制づくりを行っている。

今後の経費削減について、先に挙げたライオン誌クラブ発送への切り替えや、オンライン会議の頻度を上げる、現在持ち回りで開催している理事会を東京で行うことにより会議会場の削減などが考えられる。

値上げ額80円の根拠について、年平均200万人ずつの会員減少による賛助会費の収入減、円高が進むことによるライオン誌補助金の減少。

来期予算案が2,300万の赤字であるが80円の値上げとすれば7,000万の収入増となり、今後の会員減少や円高の影響を考えても7年前後は耐えられる財務体質となる。

会費値上げによるYCEの対応については、委員会では協議をいただく。会費値上げによる会員へのメリットについて説明。先述のライオン誌発送・プール金の負担減少等。

複合年次大会で合決された場合、該当するMDの取り扱いはどうなるかについては皆さんで協議いただきたい。各複合の年次大会で賛否を問うものなのか、社員総会で可決されたのであれば、報告事項としてしっかりと報告して解決するものかを議論いただきたい。

喜多副理事長より、複合の年次大会で否決された場合について、334の場合は社員総会で決定されたものを報告する。それを複合地区はそのまま準地区へという流れの予定。

社員総会で議案として挙げることにについては、それまでにガバナー協議会でガバナー皆さんと協議をして社員総会に来てもらっているはず。

・ライオン誌の発送について

松浦理事長より、ライオン誌の発送については方針を前もって説明を行う予定である。アナウンスをすれば許可を得る必要はないと思う。

喜多副理事長より意見。事務局員が不在のクラブや、その時の会長の判断で個人にというのがあったかと思う。事務局員がいないクラブは送れないのでは。

→増澤事務長より回答：事務局がいない場合はクラブ幹事など三役の自宅住所が事務局住所となるのでそこにお送りする事は可能。

中谷専務理事より意見。ライオン誌を皆さんに見ていただくという観点から、クラブに送り、例会で配っていただくことで読んでいただくのが一つの手段である。

個人に送るとライオン誌を読まれない方もいる。その観点からもクラブに送らせて貰うように切り替えたとのアナウンスを理事長名で行えば良いかと思う。

その他理事会構成員からの意見として、

・一度から一律で個人には送付しないでクラブ宛に送ると通知すればよいかと思う。

・そもそもWEB版のみで誌面がいらないう話が出てくるのではないか？経費削減ということであればそういう意見も出てくるのかと思う。

ライオン誌日本語版委員会委員長である星野理事からは、現時点で完全にWEBにするのはかなり難しいと思う。自クラブでアンケートを取ったがWEBで見ている人はごく稀か。2,3年かけて普及させないとダメかと思う。

国際理事會方針書では年2回は紙で出すとなっている。日本では段階的に12回を6回、4

4

回と減らして、それを2回にすることで努力をしている所だが簡単にはいかないと回答。理事会構成員より、WEB版を見ているのはメンバー以外も含めて6,000名程度であり、10年というサイクルの中では電子版に変わっていくことも考えていく必要がある。

資料印刷費についても削減のためペーパーレス化などの検討が必要である意見。まずはクラブに誌面を発送するという事で皆さんと統一を図り、通達をしていきたいと思う。その上で予算の削減を進めていくこととする。

・その他

田中理事より意見と質問。

収支予想A・Bとあるが、80円の値上げをした場合にどうなるかの収支予想を作っておいた方がよい。社団としての痛み・努力について伝わりにくい。収入が減るといわれるはわかるが、ライオン誌については送料など、右から左なので痛みはない。さらに経費削減について努力を見せていく必要がある。

YCEについては複合地区の労力低減が可能かということだが、YCE委員長としては社団でどこまで一括管理をしたいのか担当窓口を社団で全て出来るのか、社団の事務局が専念してもらえるのか？

松浦理事長からはYCEについては委員会検討の上、提案を上げていただきたいと回答があり、増澤事務局長からは今の社団の事務局で行うことは現状不可能無理である。行う場合には人件費がかかる。国際大会の予算が上っているのは幅品などさまざまな物価が上がっているためであるとの回答。

その他会費値上げと社員総会での審議へ向け、予算を上げた場合の予算案を見せる必要があるため作成する。社員総会前に執行理事会がもう一度あるのが皆さんが話をしやすいように準備をすることや、社団としての方針として社員総会が最大の決議機関であり議決をいただければ社団としてはOKだが、それが複合ではどのような観点の位置づけになるかは、複合によっても違うことや、社団ではガバナーが正社員だが、賛助会員となっているのはMDで、会費をいただきたいこととの確認。社団幹部経験者の協力も得ながら複合で理解を得ていただきたい。MDにより値上げの良し悪しではなく、賛助会費を払う・払わないの観点で意見が出ていると報告あり。濱野国際理事からの意見。

田名部前理事長より意見。

事前の説明を丁寧に行った上で、賛助会費値上げは報告事項として決議を取れば良いと思う。動議を拒否する事ではできないのか？という質問があり、増澤事務局長より年次大会の規則から議長に書面を出していない限り、またはガバナー協議会で検討していない限り議題として上げてはいけないう事となっているので動議は取れない。セコンドが付いた場合も時と場所を変えて臨時のガバナー協議会をしないといけないので、年次大会の中の動議は不可能であるとの回答。

結論として、定款に基づき2週間前には社員総会の議案として、会費の値上げの議案をガバナーの皆さんにはお知らせするので、ガバナーの皆さんにはお伝えした中で社員総会を迎えるようにする。社員総会の際に初めてガバナーが話を聞いたとならないように。説明

のための値上げを含んだ収支予測の数字の資料を準備し、議長よりガバナーに説明をしていただき社員総会に臨む。

続いて各議長より、MD内での状況などが報告され、社員総会議案について了承。

③能登サントラ事業報告と今後の奉仕事業指針について

・2月26日開催 第6回アラート委員会 議案の検討
アラート委員会委員長 藤井常務理事より

アラートフォーラムの登録数は資料では目標490名に対し、453名となっているが、本日の時点で500名に到達して予定数を確保できた。委員・班長研修会については現在MD330から5名、MD331から1名、MD334から2名、MD335から2名、MD336が5名、MD337から1名の出席にて研修の予定となっており、アンケートを出しておりそれに基づいた内容で研修を行う。

2月14日には全国社会福祉協議会連絡会議にて協力団体として参加をして登録をし、5.6分ほど能登災害についての話を行う予定。後日当日の議事録のようなものを作って皆さんにお送りする予定である。

増澤事務局長より追加説明として、全社協から登録をいただく藤井常務理事に謝金と交通費を出す社団に話があったが、社団が受け取るわけにはいかないのので、藤井常務理事に直接受け取っていただくようにご理解いただきたい。

・理事長からの文書案について (能登サントラ事業関係)

喜多副理事長より現状の報告。

334D杉木ガバナー、小出前ガバナーが当事者へ厳しい言葉で注意を行った。経過次第で改めて報告する。

松浦理事長より発信予定文書について説明。

クラブの理事会を通さず他MDを巻き込んだことや口座の問題など、事業の進め方に関する問題があった。そこで334D当該地区への注意文章、334D地区全体への文章、全国版では事業運営の手順を国際会則・附則に則った形で運営するようとの注意喚起の3つの文章を用意したのでご意見があればいただきたい。

全国版がかなり簡略化しており同様のトラブルの発生等の懸念について意見があり、文章も追記の上クラブ宛に発送してはとの意見があり、そのようにすることとした。

・能登ベース物品譲渡契約書の件

藤井常務理事より説明。

能登ベースの今後について334-D地区より輪島市や珠洲市など、必要とされるところに寄附されてはどうか伝えたと、そうしようとなった。移設する費用は334-D地区の負担になる事を伝えたと了解となった。そのため結果的にはこの物品譲渡契約書の内容を進めることとなった。今期中には完了いただくよう伝えており、3月までリリースでプレハブ

をおいているのでそれからとなる。

MD334に譲渡契約をすることについて全会一致で承認された。

④2/3開催 第8回国際大会委員会報告

・オーストラランド国際大会の件

国際大会委員長 戸察理事より報告。

公認TC規約を変更せず今年度のみ特例としてMD331公認TCをMD330・333公認TCが兼任する事を報告し認められた。パレードについては行進するだけでは目立たないという事で、音のなるものを手配予定。バンド手配についてもOSEAL調整事務局と進めている。頒布品であるアロハシャツ、キャップ、交換ピン、缶バッジの価格設定についても報告。ホテルについてはMDごとの希望数があり大会委員会では委員長了承を得ているが、本当に調査して部員数がこれであるのか確認いただきたい。アンケートとしてではなく実数調査が必要。部屋が余るとデポジットは旅行会社が持つので迷惑がかかる他、OSEAL調整事務局を通じて国際協会からのクレームがある。各MDで早急に実数を決めるように議長には協力いただきたい。

頒布品価格について全会一致で承認された。

松浦理事長より追加説明。

ホテルについては公認TC手配のホテルをご利用いただき、キャンセルをしないで欲しい事と、公認のTC間では宿泊料に上乗せはされない。

各MD大会委員長とコンタクトをとっていただいていたので全員が同じホテルに泊まり、仁科・田名部両国際理事候補者を応援するような体制でオーストラランド大会に臨んでいきたいので徹底をお願いしたい。

・第62回OSEALフォーラム 最新情報

諏訪常務理事より説明と報告。

2/3にOSEALフォーラム札幌のホームページがアップデートされた。

委員会として色々準備をしている所であるが、OSEAL調整事務局から本来の正しい形のOSEALフォーラムを進めるようにと要望があり、色々な変更点が出てきて調整を行っている。

早期登録について、カード決済ではなく振込での対応も可能となった。登録についてはホームページからの登録のみとなっている。1回につき50名までしか登録が出来ないのでそ

れ以上いる場合は2回にわたっての登録をお願いしたい。HP上のべ切は2月末となっているが日本は3月末まで。MDの選択をする事で日本という事が判別され、早期登録料が適用されるので必ず選択をしていただきたい。振込いただく際、名義に「ライオンズクラブ国際協会」と入れると文字数に入りきららず、クラブ名がわからなくなるので省略していただきたい。

⑤2024+25年度役員必携 発行部数およびスケジュールの件

会則委員長 中谷専務理事より報告。

役員必携頒布価格について決めたい。原価については資料の見直し。

前回は600円での頒布であったが印刷費用も高騰しており650円で予備200部込みで9,200部で発注してはどうかと提案。

650円での頒布と発注は9,200部として承認。

⑥ロサンゼルス山火事被災者のためのLCIF支援依頼の共有

中谷専務理事より説明。

LCIFより1人1,000円を目安に寄付をお願いしたいとのメールが配信されており、鶴嶋

LCIF理事からも呼びかけあり。

理事長名で案内を出すこととなった。

⑦2025年11月開催 第6回レンオフォーラムについて

廣田常務理事より報告。

335MDで委員会を開催し、城阪国際理事にも参加していただき、どう進めるか議論をした。社団の皆さんにも講演などをお願いしたい。

レオの学生たちにも呼びかけをし、一緒に盛り上げようと言ったところ、50名の参加のうち20名強が是非参加したいとの声があった。ご案内については次回開催概要など文書案をださせていただきたいのでご検討、ご協力をお願いしたい。

城阪国際理事

レオの責任者には各所と相談の上早く決めるように言っているので追々資料を提出出来るかと思う。本来OSEALフォーラムとレオと一緒にやるのが正解だと思うが、今回は時間もなく札幌に迷惑をかけるわけにもいかないのでもD335主催でやらせていただくことに協力してもらいたい。

松浦理事長からは、アラートの件と同じく、組織で行う事業であることの再確認。組織の在り方を遵守しながら強く進めていただきたい。

⑨その他

増澤事務長より報告。
ダイナースカードから支払明細書が来て41,753円、社団に振り込まれている。だいたい一年で80,000円くらいなので例年と同じくらいであるとの報告。
その他社団にクレームが寄せられていた、複合地区内でのメンバーと一般の方とのトラブルについて該当地区議長より状況説明が行われた。
中谷専務理事より報告。6/1-3のミッション1.5のサミットを開催する情報がOSEAL調整事務局よりあり。追って研修対象者には案内が行く予定。

監事講評

小林監事

長時間お疲れ様でした。自分が議長であった時にくらべ和気満々で空気が変わったかと思う。

3. 今後の予定について

- ・2/20 (木) 14:00- 上半期会計監査 日本ライオンズ事務所
- ・3/5 (水) 13:30- 第7回執行理事会 WEB
- ・3/12 (木) 13:30- 第3回全国ガバナールーム (社員総会) AP 日本橋G ルーム

※午前中に日本ライオンズ事務所第8回理事会を開催予定

◇閉会宣言

専務理事 中谷 豊重

以上

2025年2月12日

議事録作成人:

理事 星野 勝美
理事 戸祭 宏樹

議事録署名人:

理事長 松浦 淳一【押印省略】
監事/MD332 元議長 下間 俊祝【押印省略】
監事/MD335 元議長 小林 聡【押印省略】
監事/MD337 元議長 乘田 泰【押印省略】

一般社団法人日本ライオンズ「第8回理事会」議事録 訂正版

開催日時：2025年3月12日（水）11：00-12：00

場 所：日本ライオンズ事務局（東京都八重洲）

出席者リスト

理事長	松浦 淳一（岩見沢はまなす）
副理事長	喜多 友一（土田城南）
副理事長	澤 辰水（下関）
専務理事	中谷 豊重（岸和田）
常務理事	伊賀 保夫（東京ベース）
常務理事	諏訪 昇三（札幌時計台）
常務理事	渡邊 俊弥（仙台五城）
常務理事	佐藤 裕幸（柏崎日本海）
常務理事	廣田 晃一（姫路中央）
常務理事	藤井 信英（岡山みらい）
常務理事	濱田 浩平（長崎南）
理事	田中 雄一（狭山）
理事	栗村 安弘（大船渡）
理事	星野 勝美（太田）
理事	戸祭 宏樹（鯖江王山）
理事	新里 正雄（沖縄）
理事（23-25国際理事）	城坂 勝喜（大阪港）【欠席】
理事（23-25国際理事）	濱野 雅司（岩槻）
理事（24-25 LCIF理事）	鶴嶋 浩二（札幌中島）【欠席】
理事（前理事長）	田名部 智之（八戸）
理事（公益財団法人日本ライオンズ理事長）	小野寺 眞悟（札幌北の杜）
監事（MD332元議長）	下関 俊悦（男鹿）
監事（MD333元議長）	石橋 貞（足利西）
監事（MD335元議長）	小林 聰（姫路広陵）【欠席】
監事（MD337元議長）	乗田 泰（伊万里）【欠席】
オブザーバー	仁科 良三（長野みすず）
25-27 国際理事候補者	増澤 義治（諏訪湖）
日本ライオンズ事務局長	池田 和司（東京桜門）
法律顧問	吉田 宗一郎（東京武蔵野）
会計顧問	南部谷 靖（岩見沢はまなす）
理事長事務局補佐	成田 祐樹（岩見沢はまなす）
理事長事務局補佐	

◇開会宣言

1. 議事録作成人の指名

事務局補佐の南部谷・成田が指名される。

2. 協議及び確認事項

①3/12 13：30～ 第3回定時社員総会（全国ガバナー会）

進行の確認

- ・議事録作成人は渡邊常務理事、佐藤常務理事とする。署名人は総会時に決定。
- ・議長は松浦理事長となるため理事長が進行する。議案の進行は中谷専務理事が行う。

議案についての確認

- ・第1号議案 一般社団法人日本ライオンズ 賛助会費値上げの件
松浦理事長より改めて各MDの状況を確認したいと呼びかけがあり、各議長より報告がなされた。

MD330 伊賀常務理事

前期MD会費を値上げした分で今期の賛助会費値上げを支払う。来期以降は改めて検討するが今期については賛成を頂いている。

MD331 諏訪常務理事

全ガバナーから承認をいただいている。

MD332 渡邊常務理事

原則的には値上げそのものについては反対ではないが、値上げをする理由について質問があると思われる。

MD333 佐藤常務理事

基本的には値上げやむなしとの意見であるが、会員減少を考えての反対意見もある。

MD334 喜多副理事長

MD内の状況について、前回と同じくすべて賛成頂いている。

MD335 廣田常務理事

説明不足を理由とした反対意見があるが、総会で決定したことについては準地区としては遵守するといっただいている。

MD336 藤井常務理事

基本的には理解していただいているものと考えている。

MD337 濱田常務理事

全ガバナーから了承をいただいている。複合の年次大会の前の準地区の年次大会で報告して良いのかどうか。

一社員総会での決定後の年次大会での報告となるため、各ガバナーの判断で報告していただいて問題ないと回答。

栗村理事

ガバナーが忌憚のない意見を言える組織であることが重要である。

松浦理事長

理事会の中で何度も丁寧な協議を重ねてきた議案である。社員総会に臨むにあたり各議長もガバナー達に対して丁寧な話をしていたにしている。

田名部前理事長

理事会で議決がなされれば、理事会構成員としてその決定に従い、ガバナーに理解をいただけよう進めていくことが大切である。

社団としての考えを理解していただければ、丁寧な説明することが重要。

②第6回OSEALレオフォーラム配信文書名義貸しの件

廣田常務理事

松浦理事長名で全国にレオフォーラムの案内を出すことを承認いただきたい。
一賛成多数のため承認。文章についてはMD335へ一任となる。

3. その他

①第62回礼帳フォーラム 職員派遣について

増澤事務局長より事務職員の派遣について説明。
一賛成多数のため承認。

②アラート委員会 大船渡山火事災害支援対策本部MTG報告

藤井常務理事より今後の支援について。地区外への発信は控えて332B地区内で支援することとした報告。

渡邊常務理事・栗村理事より支援のお礼と、MDでサポートしていく旨の報告があった。

③その他

増澤事務局長より職員の中退共加入に関して報告事項。

昨年7月からの新雇用体制で退職金規程に従って中退共加入手続きしたが、最初の7月分については、理事長交代などで手続き期限に間に合わなかったため、引き落としがなされていない。退職給与引当金(10,000円*4名分 計40,000円)がずっと残るのは良くないが3月分給与の中で支払うと所得税、住民税で10%ずつ税金がかかるので、12,000円を上乗せして予備費から支出することとした。

・次回理事会開催予定

・第8回執行理事会 2025年4月3日(木) 13:30- WEB開催

・第9回理事会 2025年4月15日(火) 14:00-17:00 姫路

◇閉会宣言

専務理事 中谷 豊重

議事録作成人:

事務局補佐

南部谷 靖

事務局補佐

成田 祐樹

議事録署名人:

理事長

松浦 淳一 【押印省略】

監事/MD332 元議長

下間 俊悦 【押印省略】

監事/MD333 元議長

右橋 貞 【押印省略】

一般社団法人日本ライオンズ「第9回理事会」議事録

開催日時：2025年4月15日（火）14：00-16：30

場 所：ホテルモントレ姫路 14階 シェル

出席者リスト

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす)
副理事長	喜多 友一	(上田威南)
副理事長	澤 辰水	(下関)
専務理事	中谷 豊重	(岸和田)
常務理事	伊賀 保夫	(東京ビーズ)
常務理事	諏訪 昇三	(札幌時計台)
常務理事	渡邊 俊弥	(仙台五城)
常務理事	佐藤 裕幸	(柏崎日本海)
常務理事	廣田 晃一	(姫路中央)
常務理事	藤井 信英	(岡山みらい)
常務理事	濱田 浩平	(長崎南)
理事	田中 雄一	(狭山) 【WEB】
理事	栗村 安弘	(大船渡) 【欠席】
理事	星野 勝美	(太田) 【欠席】
理事	戸祭 宏樹	(鯖江玉山) 【欠席】
理事	新里 正雄	(沖繩)
理事	城阪 勝喜	(大阪港)
理事 (23-25国際理事)	濱野 雅司	(岩崎)
理事 (23-25国際理事)	鶴嶋 浩二	(札幌中島)
理事 (24-25 LCIF理事)	田名部 智之	(八戸)
理事 (前理事長)	小野寺 眞悟	(札幌北の杜)
理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)	下関 俊悦	(男鹿) 【欠席】
監事 (MD332元議長)	石橋 貞	(足利西)
監事 (MD333元議長)	小林 聰	(姫路広陵)
監事 (MD335元議長)	栗田 泰	(伊万里) 【欠席】
監事 (MD337元議長)		
オブザーバー	仁科 良三	(長野みずす)
25-27 国際理事候補者	増澤 義治	(諏訪湖)
日本ライオンズ事務長	池田 和司	(東京桜門) 【欠席】
法律顧問	吉田 宗一郎	(東京武蔵野) 【WEB】
会計顧問	南部谷 靖	(岩見沢はまなす)
理事長事務局補佐	成田 祐樹	(岩見沢はまなす)
理事長事務局補佐		

◇開会宣言

松浦理事長より挨拶
 続いて城坂国際理事、濱野国際理事、鶴嶋 LCIF 理事、田名部副理事長、小野寺財団理事長、
 仁科国際理事候補より挨拶。

◇出席者確認

資料の通り。

◇議事録作成人の指名

伊賀常務理事・諏訪常務理事が指名される。

1. 協議および確認事項

①会費値上げの件

松浦理事長より説明。

考え方を統一して聞いていただきたい。

(1) 各MDからの報告と説明用資料について

現在の残高についての考え方。上半期の決算では3億6,000万の計上があるが、財団の財源が5,000万、ライオン誌との協議による積立金残高が2億1,273万、事務所移転の補償費が2,939万、で合計2億9,212万。

事務所移転や組織解体など万が一のときの対応のための積立として一定額の基金、2年分の年収を確保すべきなどということ、1年の年収が1億3,000万であることから2億6,000万。これは多いか少ないかはそれぞれの感覚であろうかと思うが、現状日本ライオンズでは多すぎる金額ではないという判断をさせていただいている。

ただ解散した場合に8割台に返るお金であるため、どこにお金があるかの違いであるだけであり、この金額が多い、少ない、というのは今後議論していただいて、今年度に関しては2億9,212万を以って運営をしていくべきだという結論の中で次年度以降40円、再来年度40円、計80円の値上げを皆さんと共に推進をしていくべく総会で承認を受けたことをご理解していただきたいと考えている。

(2) 予算案の概略

収入の部

・受取賛助会費

2025-26年度は40円の値上げで103,680,000円、2026-2027年度はもう40円の値上げで138,240,000円の収入の見込み。

・国際協会の補助金

1ドル150円で計算しているが6月末の時点のレートがポイントとなる。

たとえば円高で1ドル140円になっていれば10マイナースとなる。

・ライオン誌送料収入

次年度から至ら社団で送料負担とするため、送料収入も0となる。

・雑収入

職員の中退共掛金助成金の分が120,000円出ているため、2025-26年度は320,000円と
 なっているがその次の年度の年度は助成金がないため通常の200,000円となっている

- ・各種会議旅費分担金収入
プール金計算を廃止し、委員会参加にかかる各複合地区委員の旅費については全て団体の負担とするため0とした。

支出の部

- ・ライオン誌送料
変革はしていくが現状通り個人またはクラブへ発送するか選択をしていた中で、将来的にはクラブへ送付する方向で進めていきたい。
- ・当座の間は現状の中で変革を求めていくことになるため15,840,000円からそれぞれ送料増上げ分を社団負担とした。併せて送料事務費も従来通り社団負担としている。
- ・デジタル関連費
ライオン誌委員会・編集員の皆さんのご努力により、内製化により原稿料・編集費を5,230,000円→2,500,000円とした。
- ・現在は成り立っているが毎年の組織の在り方なので、将来的、今後の状況は不確定ではあるが今の努力を続けていたいただきたい。
- ・事務費：総会・理事会会議費
3年間理事の皆さんには交通費を出してはなかったが、再来期から900万を予算計上しているが、交通費を支給する・しないについては是非ご議論をいただきたい。
- ・事務費：会費費
委員会の開催は東京開催が基本であるが、地方開催の可能性もあるためその際はこの予算の中から捻出をいただきたい。
- ・事務費：国際大会・アジアフォーラム関連費
国際理事候補者の皆さんにもご負担をいただきたいが、出来るだけ社団で負担をし、3,000,000円を7,000,000、8,000,000円と増額させていただいた。
- ・事務費：海外大会ロジスティクス及び備品費
国際大会において現地にはツアーデスクを設置するとだいたい2,000,000円ほどかかる。参加者の負担ではなく日本から参加するメンバーのためにも社団で設置をするのが筋であるため計上とした。
- ・事務費：国際協会関連対応費
国際会長公式訪問の際には各複合から50万ずつ集めさせていただいて運営していたが日本ライオンズが全て負担した上で社団として国際会長をお迎えすることをしていたかなければ社団の存在意義もないと言える。そのため6,000,000円の計上とした。

色々な変革点があるが、各複合、クラブからご負担いただいていたものを社団で負担し、値上げのリスクも社団で持つてライオンズ会員の皆様に安心をしていただくながら社団と各複合、各クラブの繋ぎを深くしていきたい。

以上の観点から2年をかけて計80円の値上げを行うことをご理解いただきたきながら、統一見解として皆様にご説明をいただけたらとありがたいので、よろしく申し上げます。

- (3) 各MDのその後の状況
- ・MD300 伊賀常務理事
5月25日に複合年次大会開催。6年ぶりに分科会を開催し経理分科会で報告予定。来期

日本ライオンズ発行<2024-25-軌-M⑩>
は複合の値上げ分100円を含む。その後は改めて議論。

- ・MD331 諏訪常務理事
先日のガバナー協議会で各ガバナーに説明し基本的に理解を得た。
- 331-Aはキャピネット会議で理解済み。
- ・MD332 渡邊常務理事
値上げについて社員総会決定事項には従うが、文章化しても理解が十分でないため説明を継続。剰余金は運営費ではなく女性会員拡大・レオ拡大等に活用検討が必要。

- ・MD333 佐藤常務理事
第3回ガバナー協議会で承認。時間不足のため準地区で報告・協議。まず40円を複合負担、次に80円を一区に値上げと結論。

- ・MD334 喜多副理事長
ガバナー協議会では問題なく報告という事で進んでいたが1名の名誉顧問から「賛助会費をなぜ社員総会で決めるのか」との指摘があった。

なんのために社員総会があるのか、ガバナーが準地区の代表として来ている、それが1票だと反論した。ガバナー協議会ではそのまま行きますとなったが、複合の年次大会で採るかと思うが強行して通す予定。

- ・MD335 廣田常務理事
A地区(神戸)、C地区(京都・滋賀・奈良)が反対。C地区は前回の総会前日に賛成に回ったが、ガバナー自身も賛同は不十分かと思うので今までいただいた資料を提出の上話をしている。4人のガバナーの再度話をすると今までの所まだ出ていない。ただ4人も社団の決定にももちろん従うと言っていた。

B地区D地区は賛成している。335-D地区の今中ガバナーがガバナー協議会の際に、私に何のメリットもないんです。1副、2副そしてみなさんが活動しやすくなるための資金なんです。だからみなさんご同意ください。と話し335-Dは一発で全員賛成になった。私自身も含め覚悟が必要なのかと思った。近々ガバナーと話をしつかりまとめて行きたい。今後第4回ガバナー協議会、代議員総会があるもので、5月31日までしつかりまとめていきたい。報告事項とするのか決議事項にするのか全複合で統一できないのか、統一できないならどうされるのか意見を伺いたい。

- ・MD336 藤井常務理事
ABC準地区の年次大会が終了。A地区とC地区の年次大会では基本的に複合の会費についてはなく、社団からの申し送り事項が出てきたものがある場合は社団からの報告という事で取り上げることはあった。B地区では値上げがありまという事を報告であげて通った。5月18日に複合の年次大会があるが分科会の中でも値上げについて、採択なしの報告だけで行って行きたいと思っている。先ほど情報が入ってきて336-Cでライオンの事で大騒ぎをしていた方がまた同じように物申すと情報が入って来ている。これについては下打ち合わせを皆さんとしてその場に臨まなければならぬという懸念がある。
- D地区は社員総会の際に反対で手を挙げていたが澤副理事長が社団で決まった事だと取めていただいたので報告で終える予定。複合地区としては報告で終わらせる予定。

- ・MD337 濱田常務理事
ガバナー協議会で全員納得いただいた。複合の年次大会の時に分科会で報告事項として説明することになってきている。報告事項ではあるが色々な意見も出るのでわかりやすい説明が必要であるので、社団資料と新たに作成した資料を用いて説明予定。

作成した資料の内容を理事会構成員へ説明し、委員長へ提出し説明。議長・ガバナーに分

日本ライオンズ発行<2024-25-軌-M⑩>
科参加依頼あり。昨年も MD337 ではライオン誌の事で動議が出て取めたが、今回も動議が出る懸念があるので万全を以って進んでいきたい。

・鶴嶋 LCIF 理事

ライオン誌発行回数を最低何回にするかを決定することが必要。我々が議長として理事であったときは春夏秋冬で4回の発行を死守するとしていた。

2億1,000万円の中から、一回の発行でどのくらい費用がかかるかは増澤事務長が把握しているかと思うのでその費用を当て込みあと何年で使い切ってしまうのかというのにも出ておくべき。それと同時に国際協会の補助が前年、4ドルから2ドルになった時も突然決まった。もしもこれだけだと議長の皆さんで申し合わせておいて書類にしておいた方がいい。年4回なら4回出す。それにかかる費用はこれくらいだということを言っておけばおのずとこれが必要な金額であるとなる。

それと毎年の会員の減少の説明も付記する。ライオンズクラブは単地区で現在全額150万交付だが、今後は半額75万の自己負担が必要とこのを付け加えておいていただきたい。

・増澤事務長

賛助会費は社員総会での決定事項ゆえ議題に載せる必要はないかと思うが、MDの複合会費についての議案が上がってくるので、その中に入れておき支出増として説明すれば良いのではないかと。社団の会費が上がりました。という決議は必要ないかと思うが、複合ではないか。社団の会費がこのような明細で上がっていきますと載せておけば良いのではないかと。社団の事を複合で協議する事は出来ないかと、そういう形で理解していただきたい。

・濱田常務理事

どこかの地区で社団を脱退するという声があったそうだが、そのような話が出てこないか、一部の話ではあるようだがそこが気になるところ。懇切丁寧に納得していただくようにするしかないかとは思っている。

・増澤事務長

MD337だけは複合への請求で社団の会費と載っていないが、それ以外の複合では一般社団法人日本ライオンズ賛助会費という名目で載っている。

・渡邊常務理事

MD332で社団を脱退というような極端な話も出ている。賛助会費値上げと脱退は根本的に別の話であり、値上げは決まった事なので、皆さんに説明をし、社団の方からアピールして納得できない点を聞き取り回答しつつ進める。

②次期理事会構成案について

中谷専務理事：次期議長予定者は資料のとおり。
松浦理事：次期理事議長予定者は現議長から推薦していただきたい。

廣田常務理事：8人の常務理事協議の結果、MD334現副理事長喜多副理事長を推薦。

松浦理事：5月8日に現新議長で委員長等を決定し5月21日の現新理事会で正式決定。
喜多副理事長：内定者として前任者同様に改革を進める。専務理事・副理事長を指名予定。

5

日本ライオンズ発行<2024-25-軌-M⑩>
③札幌フォーラムステアリング委員会 (5/23-25) 参加者の選任
MD330・332・333 は年次大会と重複のため除外。

増澤事務長：規約では4名。

鶴嶋 LCIF 理事：最少2名・最大4名。全員出席の場合はMD331次期議長予定者である設楽Iを含め5名になる可能性。

④国際大会委員会よりオリラウンド大会関係についての提案

国際大会委員長・戸祭理事より

・**ツアーデスク設置についての提案**
これまで公認旅行会社経由ホテル利用者から1人1万円徴収しツアーデスクを設置していたがツアー未利用者もデスクを活用できるよう日本ライオンズで費用を負担する件を委員会より提案する。来年の理事会議題にしたい。

・**オリラウンド大会 ホテル利用状況**

4月24日の国際大会委員会でホテル宿泊人数回答が不十分のため議長からもホテル利用数の手助けをしていただきたい。

・**パレード頒布品**

パレード公式ユニフォームの帽子注文数が少ない。帽子もパレード時のユニフォームに含まれるためパレード参加予定者で未発注の方は早急をお願いする。

・**25-26年度国際会長公式訪問について**

10月26日、オセアラルーム閉会式後(15時頃)APシン国際会長公式訪問が決まった。400名程度の参加の依頼となり、各MD50名程度参加要請するので26日に帰らず、27日以降以降に帰る日程での飛行機の手配をお願いしたい。

松浦理事長

戸祭委員長がオリラウンド大会日本ホテル予約数の件で大変困っている。
また現地空港へ日本として迎えのバスを手配するなど、日本全体で対応することになるので、公認TCへはつきりとした参加予定者数を伝えることでより良いサービスが出来、安心して参加することが出来るかと思う。

⑤10/26開催 APシン国際会長公式訪問開催の件

鶴嶋 LCIF 理事より

前年に合わせての参加予定数となっている。公式訪問のあとに歓迎晩餐会があるため、参加される方は26日も北海道へ宿泊いただくことになるかと思われる。

濱野国際理事

APシン会長は公式訪問の後、31日くらいまで滞在される予定。

オセアラルーム調整事務局で日本として動きやすいように色々考えていると思うが当該地区になったところはご協力をお願いします。

⑥コンプラアイアンス関係

増澤事務長

事務局の秘密保持と事務局員に対してのハラスメント防止のための規程について法律顧問と相談したところ文章が長すぎるということで、もう少し文章を考える。

6

⑦総務人事関係

5月8日11時、総務人事委員会を開催したい。賞与の支給があるのでその評価、7月から昇給による給与の改定があるため。一日程については要調整となった。

2. 報告事項

①3/16-3/19 オークブルック国際理事會報告 …国際理事各位
城阪国際理事
国際協会としては1、2、3にも経費削減。よろしくお願ひします。

・日本ライオンズ予算案への提案

ライオンズクラブは奉仕団体であるため、南海トラフ地震などを想定し、社団として基金を貯めていくという考え方があって良いと思う。移転補償の3,000万円などを別途基金とし、緊急資金をすぐに拠出できる体制を整えるべきではないか。次年度になるかとは思いますが、喜多次期理事長予定者にご尽力、ご検討いただきたい。これは奉仕というライオンズの本旨にあたるのではないかと。値上げについてもこういうことにも目を向けている、という姿勢が非常に大事な所になる。皆さんに経費削減をしていただいて、その余剰分の1/3はこのように基金にいきます、という考え方も良いのではないかと。

濱野常務理事

・オランダの国際大会での投票議案について

国際理事を輩出する会則地域の編成配分が変更される。アメリカの会則地域1が3人減り、その分会則地域4の南アメリカがプラス1、会則地域6のインドを中心とした地域がプラス2となる。

・各委員会の決議事項について

奉仕事業委員会では奉仕週間という奉仕事業に対する取組を各クラブ、地区でやっていたいただきたいというのがある。10月は心と健康のケア、1月は食糧支援、4月は環境保全に就いての奉仕事業をやっていたいただきたい。1週間ごとの世界全体で取り組む事業が決まっているので次期ガバナー予定者の方には通知が行くかと思う。

・地区ガバナーの空席補充について

ガバナーが空席の場合は元地区ガバナーが立候補できるが、1回のみとなっている。

・第一副地区ガバナーの研修について

毎年2月に行われていたシカゴ・Qセンターでの研修は廃止となりWEB開催となる予定。なお日本の場合は一言語のため、どこかで集まって対面で行う可能性もある。それに伴い香港大会からの国際大会でのエレクトロセミナーは2日になりエレクトが現在より一日早く大会開催地へ入ることになるという案も検討されており、オランダで正式に決定する。

・リーダーシップ研修について

リーダーシップアップの方はFDIの研修が来期で終了。各複合地区から人数に合わせて希望者が出るかと思うが、来期で最後なので興味がある人は参加してほしい。今後はLSHIPのみとなる。

・マーケティング関係アワードについて

ライオンズインターナショナル・マーケティングアワードが創設され、全世界のクラブのマーケティング活動に対してのアワード。各会則地域から1クラブずつ受賞されるが、日本

からは1クラブしか申請していなかったため残念ながら日本のクラブは受賞できなかった。来期以降はこのアワードがある事を皆さんに知っておいていただいで、各ガバナー、クラブに宣伝していただいで、こういう媒体で宣伝した、こういう取り組みをしてライオンズの名を知らしめたなどあれば是非国際協会へ申請していただきたい。

・AI活用について

ライオン AIが国際協会のホームページに出ているかと思うので、そこをクリックすると英文のページではあるが日本語で質問でき、資料の掲載されている箇所など回答をして貰える。ペータ版で試行錯誤している段階だが初心者でもわかりやすく使えるようになってるので活用いただきたい。

最後に一つだけ理事会でお伝えしたいことがある。皆さんは一般社団法人の理事として大変重い立場であるので、言葉の言い回しに変化を付けなければならぬ。「社団で決めた」と言うのではなく、「社団で決めた」という表現。なぜなら皆さんが主体となって決めている事なので、自分もその決定に対して説明をする責任があるという心構えで複合の年次大会に向かっていたいただきたい。同じように正社員である地区ガバナーも総会に出て決めたことなので、としないとメンバーを説得できない。その責任のもとに各複合地区、準地区に説明いただきたい。

伊賀常務理事

マーケティングアワードの申請はクラブ単位かキャビネットか？

→クラブ単位である。

②アラート委員会関係報告

・3/14開催 アラートフォーラム（茨城）開催報告 …藤井常務理事

アラートフォーラムの午前中に各MDのアラート委員長・班長を対象とした勉強会を実施し、交流会も行った。フォーラムには486名の参加、272名の交流会参加3,318,109円の収入となり、支出は2,274,169で余剰金1,043,940円となった。多くの方に参加いただき、実りあるフォーラムとなった。

・4/8開催 第7回アラート委員会開催報告

まだ議事録が上がってきていないが、2026年度アラートフォーラム開催地は委員会の中ではMD335に決定した。色々災害の対応について今期問題があったため、迅速な支援を目的とし、委員会構成をもう少しスマートにした方がいいのではないかと意見があった。

各MDのアラート委員長が社団の中ではアラート委員として構成員となり、全日本の統括リーダー、東西のエリアリーダー、委員の下に班長として各MDに1名、副班長として各準地区から1名で構成されている。副班長は各準地区にアラート委員会があるの中で、社団の中にはいないのではないかと話し合いがなされた。来期については喜多理事長予定者としてどう進めるか協議しながら進めていきたい。

喜多副理事長

330複合地区内の地区関係者が4月29日に能登に誰の許可もなく入ろうとしているとの話を耳にしたため、伊賀常務理事に調べていただきたい。334-D地区ガバナーもキャビネットも知らないとの事。行くのであればだれの許可を得て行くのが調べていただきたいとアラ

一トへの理解が得られにくい。

廣田常務理事よりエリアリーダーをはじめとするアラート委員会構成について質問。

藤井常務理事

エリアリーダーについてはアラート委員会が推薦し、社団の理事長が任命する。社団としては委員長・副委員長、各 MD の委員長でアラート委員会を構成し、別途アラートチームがある。アラートチームは、複合や準地区に 7 年前までアラート委員会がなかったため設置されたもので、アラート委員会の下部組織である。

松浦理事長

もう少し時間をかけて成熟した姿を目指したい。災害規模に応じたアラート委員会の対応も整いつつあるため、もう少し時間をいただいで、次年度以降もさらなる整備をしていただけるとありがたい。

③3/21 開催 第 5 回例会委員会 報告 ……中谷常務理事
役員必修は現在作業中で動いている所。各複合年次大会の共通提案事項を確認したが、今回は共通の提案事項はなしということを確認しているところ。コンブライアイアランス委員会についてはパイロット事業として各 MD へ依頼しこの 1 年やって来た。次回かその次の委員会まで今後どうするか決定予定。

④4/2 開催 第 9 回国際大会委員会報告 ……戸祭理事
・ 報告済のため省略。
・ 第 62 回 OSEAL フォーラムについて ……諏訪常務理事
開催 190 日前を切り、鶴崎実行委員長、松浦副実行委員長、設楽副実行委員長と精力的に取り組んでいる所。かなりの頻度で委員会を開催している。支援金・登録について各 MD の協力に感謝。支援金は 330-B を除き完了しており 330-B も現ガバナーから年次大会終了後に支出するとお答えいただいでいる。MD331 については開催地のため支援金の金額が大きいため 3 回に分けている。そのほかは予定通りに進んでおり本当にありがたいとございます。

早期登録結果 (4/7 現在) は以下の通り。

	MD330	MD331	MD332	MD333	MD334	MD335	MD336	MD337	計
目標	800	3,000	900	1,200	1,300	1,000	1,050	1,050	10,200
登録	170	1,616	225	253	546	394	121	147	3,478

早期登録と大きく金額が変わらないのでこれからそれぞれの複合地区、準地区で登録が進んでくると思う。
フォーラムを成功のうちに終わらせるために、登録数の確保が必要であるため、議長の皆さんにも登録数の目標もあるのでは是非ご協力をいただきたい。

戸祭理事

委員会としてオランダ国際大会参加推進についての業務を終わらせた上で、今期中に 5,000 名登録を目標とした。
地区ごとに目標などあるかと思うが御協力をお願いします。

⑤4/14 開催 第 5 回 YCE 委員会開催報告 ……田中理事
昨日、第 5 回 YCE 委員会を開催。春の派遣では MD330 主導の交換があり、問題なく子どもたちが楽しんだ。夏の派遣、受入は各複合委員長の尽力で今の所順調にしている。前回の第 4 回の YCE 委員会で、OSEAL フォーラム札幌開催時に YCE の活動ができないうかがと案が出たため議論したが、時間不足と次期に跨いでしまつたため今回は中止とした。ただし今後 YCE として長い目で見て何らかの他地区、他の国と交流を深める場を設けていければ良いという話で終わった。YCE 実務の社団一本化が出来ないかについて、これも次の委員会ないし来期に引き継ぐ方向で持っていくように今の所進んでいる。

⑥その他報告

・ダイナースカードについて ……増澤事務長
社団が責任を負う覚書を交わさず、社団は関わらずキャンドネット、各クラブ会長が直接契約する方式に変更。詳細はダイナース担当者へ問い合わせの上、有効活用してほしい。

監事講評

石橋監事

本日の理事会は会費の議論が半分を占めた。値上げは 10 円単位といえども会費問題は難しい。会員減少の中で会員の獲得と会費の問題が出てくる。また支部と会員ではどこが違うのか会費が違うだけかという話も出てきており、一般の会員から支部に移ってしまうという話も出ています。

小林監事

会費値上げは十分理解できていなかったが、濱田常務理事の資料は理解しやすかった。アラートチームには熱心な人や資質のある方もいる。初代アラート委員長として、アラート委員会に期待します。

3. 今後の予定について

- ・ 5/8 (木) 現・次期予定者打ち合わせ会議 日本ライオンズ事務所
- ・ 5/15 (木) 第 9 回執行理事会 WFB
- ・ 5/21 (水) 現・次期理事会 (東京)
- ・ 5/23 (金) -25 (日) 第 62 回 OSEAL フォーラムスティアリング委員会 (札幌)

◇閉会宣言 専務理事 中谷 豊重 以上

2025 年 4 月 15 日

議事録作成人：

常務理事
常務理事

伊賀 保夫
諏訪 昇三

議事録署名人：

理事長

監事/MD333元議長
監事/MD335元議長

松浦 淳一【押印省略】
石橋 貞【押印省略】
小林 暉【押印省略】

一般社団法人日本ライオンズ「第10回理事会」議事録

開催日時：2025年6月4日（水）14：00-16:00 場 所：TKPガーデンシティ仙台 30階 A

理事長 松浦 淳一 (岩見沢はまなす)

副理事長 喜多 友一 (上田城南)

副理事長 澤 辰水 (下関)

専務理事 中谷 豊重 (岸和田)

常務理事 伊賀 保夫 (東京ヒース)

常務理事 諏訪 昇三 (札幌時計台)

常務理事 渡邊 俊弥 (仙台五城)

常務理事 佐藤 裕幸 (柏崎日本海)

常務理事 廣田 晃一 (姫路中央)

常務理事 藤井 信英 (岡山みらい)

常務理事 瀧口 浩平 (長崎南)

理事 田中 雄一 (狭山) 【WEB】

理事 栗村 安弘 (大船渡)

理事 星野 勝美 (大田) 【WEB】

理事 戸祭 宏樹 (鯖江王山)

理事 新里 正雄 (沖繩) 【WEB】

理事 城阪 勝喜 (大阪港) 【WEB】

理事 濱野 雅司 (岩槻)

理事 鶴嶋 浩二 (札幌中島)

理事 田名部 智之 (八戸)

理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長) 小野寺 眞悟 (札幌北の杜)

監事 (MD332元議長) 下間 俊悦 (男鹿) 【欠席】

監事 (MD333元議長) 石橋 貞 (足利西) 【欠席】

監事 (MD335元議長) 小林 聰 (姫路広陵) 【欠席】

監事 (MD337元議長) 乗田 泰 (伊万里) 【WEB】

オブザーバー

'25-27 国際理事候補者

法律顧問

会計顧問

日本ライオンズ事務長

理事長事務局補佐

理事長事務局補佐

仁科 良三 (長野みすず)

池田 和司 (東京桜門) 【欠席】

古田 宗一郎 (東京武蔵野) 【WEB】

増澤 義治 (諏訪湖)

南部谷 靖 (岩見沢はまなす)

成田 祐樹 (岩見沢はまなす)

◇開会宣言 理事長 松浦 淳一

冒頭松浦理事長よりご挨拶があった。332B 佐藤地区ガバナーより開催地として歓迎の挨拶。続いて濱野国際理事、城阪国際理事、鶴嶋LCIF理事、田名部前理事長、小野寺財団理事長、仁科国際理事候補より挨拶をいただいた。

◇出席者確認

出席者リストより確認を行った。

◇議事録作成人の指名

諏訪常務理事・廣田常務理事が指名される。

1. 協議および確認事項

(1)審議第4回定時社員総会開催案

中谷専務理事より説明。資料に基づき、第4回定時社員総会は6月25日（水）13時30分～16時にA P 東京エアルームで開催し、同日11時から総会前理事会を置くことが確認された。

審議事項は①社員退会予定者承認、②新社員入社予定者承認、③本年度事業報告および計算処理経過承認（最終決算は8月4日の大会社員総会で承認予定）、④理事任期満了に伴う改選案の4議案で、出席対象は現社員60名と法律・会計顧問、次期議長やガバナー等とし、次期第1・第2副地区ガバナー向けにYouTube でストリーミング配信を行う。同日夕刻には懇親会開催を検討することも共有された。なお役員必携に記載されている参助会費「80円」を「120円」へ改めた旨を総会で報告または議案化する必要があり、これを第5号議案とするか報告事項とするかは理事長に一任することで合意した。出席者から異議はなく、資料どおりの進行方針が承認された。

(2)審議ライオン誌送料についての案内

会費値上げに伴い、これまで各クラブに負担いただいていたライオン誌発送の送料は、今回から社団が全額負担することになった。そのため各クラブには、①請求書の送付方法を郵送からメール配信へ切り替えること、②送料請求を2025年度上半期分から廃止すること、を知らせる文書を送付する。併せてライオン誌の送付先について、従来どおり個人宅がクラブ宛かを選択できるが、社団としては例会での活用促進のためクラブ一括発送を推奨する。初回切り替え準備の都合上、夏号（8月5日発送）の

日本ライオンズ発行<2024+25-軌-M10>
作業に入る1か月前を目安とし、クラブには6月25日までに送付先変更届を提出してほしいと依頼した。ただし時間的余裕がない場合は次号以降でも随時変更可能であり、数回に分けて案内文を発信し4号分の発送サイクルの中で全クラブの切り替え完了を目指す。質疑では「期日がタイトではないか」「2回目以降からの変更でもよいか」という意見が出たが、事務局からは8月号準備開始日程を踏まえてなるべく早期に回答してほしい旨が示され、最終的に資料2とおりの案内文を明日以降MD・キャピネットを通じて各クラブへ送付することで承認された。また請求書のメモリアル化と送料負担変更は会費増上げによるサービス改善の一環であり、各地区議長にはクラブへの周知徹底を依頼した。

確認次年度理事会構成・委員会担当案最新版

喜多副理事長より説明。次年度執行体制は副理事長予定者を3名配置し、筆頭副理事長としてMD333副議長、副理事長にMD335廣田議長、山崎議長予定者、専務理事にはMD330の伊賀議長。常務理事予定者は資料の通り、委員会構成については資料記載内容を全て読み上げGAT・L.CIFは全て執行理事と一年目理事全員での構成とした。会則委員会のみ前回案から若干の入れ替えがあったものの、資料の最新版で合意が得られた。

確認次年度会議予定案最新版

次年度会議予定では、年間理事会を原則東京開催としつつ三か所程度は地方で開催が提示された。10月理事会はOSEALフォーラム札幌の前日の22日に設定していたが、参加者の移動負担を考慮して21日への繰り上げや別地開催を含め再調整することになり、喜多理事予定者が新年度研修会の場でアンケートを取り最終案を示す。定例理事会日程のほか、前年度末から新年度への引継ぎを含むスケジュールも了承されたが、場所の最終確定と一部日取りは持ち越された。

協議6/24開催 新議長セミナー・新年度議長予定者打ち合わせ会詳細

社団総会前日の終日開催とし、午前には組織説明と運営方針、午後には委員会別分科会と役割確認を行う次第で合意した。公益財団法人日本ライオンズ関係議題では講師名を小野寺理事長に訂正することが確認され、出席対象は記載の議長・副議長・委員長候補者に加え必要に応じ理事会メンバーを招く。セミナーと打ち合わせ会で得た意見を翌25日の第4回定時社員総会に反映させる方針も共有され、準備は専務理事予定者と事務局が連携して進めることになった。

日本ライオンズ発行<2024+25-軌-M10>
(4)第11回国際大会委員会報告 (5月30日開催)

①第107回オランダ国際大会 (フロリダ州オランダ 7/13-17)
戸祭理事より説明。

確認最新情報の確認 (公式通達・登録数等)

資料のオランダ国際大会の公式通達が配布され、参加要領が確定した。各MDごとの参加予定者数と日本側ホテル予約リストが示され、若干の空枠は残るものの計画どおり手配が進んでいることを確認した。現時点では追加募集を継続し、空室は各地区で順次消化する。

確認パレードについて

日本からの参加者見込みは約750名。700名程度のパレードとなる予定。
パレードのコースはまだ決定していない。現地に行くまでにはわからない。日本は151番目で最後の方となる。8時45分集合にはなっているがかなり時間がおすと予想される。
プラスバンド編成については当初7名より倍増14名に拡充提案。先頭&中段の2ユニットで行進し、音切れを防止。経費負担は追加分を含め、負担の割合については今後検討。6/25理事会で最終案提示することとした。

確認代議員会 (朝食会) 登録料の決定と次第案の確認

委員会は1人10,000円へ引き上げる案を決定し、理事会も物価高・円安を踏まえこれを支持した。事務局は社団補助額を含む詳細予算を作成し、24・25日の理事会で最終承認を得る。次第案は資料の通りで、代議員朝食会の運営負担を軽減しつつ、国際理事候補者の費用負担を最小化することを確認した。

②第62回 OSEAL フォーラム (札幌 2025年10月23日 (木) -10月26日 (日))

確認ステアリング委員会 (5/23-24) 報告

鶴嶋LCIF理事より報告。ゴルフについては参加費2万円(食事・送迎・記念品込)で各組合が一括登録すること、同ホテル利用者向けの送迎バスを手配し、前泊は同ゴルフ場併設ホテルを4,200円で案内できることを説明し、多数の参加を呼びかけ。

フォーラム全体の日程はFOCのルールに沿っているが、5月23日の委員会後に各国から追加要望があり調整中であるとし、従来より学習系セミナーを増やす方針を示した。登録キットは参加しない登録者向けに着払い郵送を検討し、地区単位でまとめて発送する

日本ライオンズ発行<2024-25-執-M10>

方向で委員会に諮ることを述べた。IDカードはQRコード運動のため再発行が難しく、郵送は現時点で対応できない。

市民も対象とした公開セミナーについては山田 PIP、仁科・田中部国際理事候補と協議

し、著名人を招いて「ライオンズとは何か」をテーマに開催する準備を進めている。

チャリティではベレットポトルキャップ回収は達成済みのため今後はリングブル取集を重視

し、持参または元払い送付を依頼、収集量最多の地区を表彰する方針を示した。

330 複合からキッチンカー出店希望があり受入れ予定で、他地区も諏訪議長へ申請すれば出

店可能と案内。閉会式当口の 26 日午後 3 時頃から A P シン国際会長公式訪問を連続で行うた

め同日中の帰路は難しくなる恐れがあると注意喚起。

公式サイトの不具合は月内に修正予定。

登録者は目標 16,120 名に対し 4,106 名（日本 3,872 名）と低調なため各地区に登録推進を

強く要請した。

諏訪議長から報告。5 月 23～25 日の樹察結果として、登録会場の赤れんが庁舎、

本部ホテル、札幌ドーム、コンベンションセンターを確認し現行計画が妥当との O E

C 承認を得たと補足した。

質疑では仁科国際理事候補が団体登録について問い、実名登録が原則で大量の直前

差替えは不可と回答した。道庁赤れんが庁舎での喫煙違反事例が共有され、市内会場

周辺を全面禁煙とし、違反者には罰金が科される可能性がある旨を参加案内に明記す

ることが決まった。

(5) 総務人事関係 協議および報告事項

増澤事務局長より報告。賞与について、昨年 12 月に在籍 5 か月分として 1.5 か月を支

給済みであり、本年 6 月支給分は対象期間が 6 か月となるため同率 1.5 か月を支給す

る案を提示し、理事会承認を求めた。7 月 1 日以降の給与は賃金規定どおり全職員を

一段階昇給させ、詳細な人事考課面談は次期喜多理事長の下で実施することとした。

会計担当として 3 月入職した職員の雇用条件について変更。7 月 1 日から週 21 時間

(7 時間×3 日) に変更し雇用保険に加入、残業代をタイムカードに基づき支給す

る。事務長自身の契約も週 4 日制から週 5 日制へ見直し、残業を含めた包括契約を社

労士と次期理事長で協議して再提示する。

今春退職者が出て空席のままの一般職を補充するため、ハローワーク経由で英語や

YCE 業務に対応できる人材を募集することも承認された。

旅費規程では距離 100 キロを境に特急・新幹線利用の可否を明確化する。

さらにライオン誌と社団の合併後は永年勤続表彰制度が途絶えていたため、6 月末

時点の在籍年数を区切りし永年勤続表彰を復活させ、第 1 回定時社員総会で理事長か

日本ライオンズ発行<2024-25-執-M10>

ら感謝状と記念品（金券など）を授与し、以後 5 年周期で継続する方針が決まった。

一部職員が昇給テーブルの上限に到達している課題は次年度以降の検討事項とし、

以上の報告事項と人件費関連の承認事項（賞与、昇給、新入職員の契約変更、新規採

用方針、旅費内規の方向性）はいずれも異議なく承認された。

(6) その他

①役員必携最新版における賛助会費等記載について

中谷専務理事より報告。役員必携が印刷会社にわたっているが発行が遅れているこ

とをお詫び。ライオンズ必携第 6 版に「参助会費 1 人当たり月額 80 円」と記載が残っ

たままになっている件について、会費値上げは昨年の社員総会決議で既に効力を発し

ており、実際の請求額は 120 円で確定しているため、新版の発行時に金額記載を削除

または 120 円へ修正することで合意した。一部複合地区は年次大会での緊急動議で自

地区規則を 120 円に改定済みだが、他の複合でも同様の手当てが必要であることを確

認し、次年度改訂版では複合規則と準地区規則を分離して整合を取る方針とした。

会費計算に用いる会員種別については「特定会員を除き全会員を対象」とする現行

社団会費規定を周知し、免除措置を採る場合は当該複合が補填するという整理で一致

した。また情報不足を避けるため、ガバナーにお問い合わせいただきキャビネット会議やウェブ場

載で適切に説明することが求められた。

その他、増澤事務局長より「複合・準地区事務局員の守秘義務規定（案）」が提示さ

れ、会員個人情報、団体情報、財務・人事情報、各種会議内容などを退職後も含む漏

えい禁止とし、議長・ガバナーの了承なく他事務局へも共有しないことを明文化する

内容が説明された。条文はわかりやすく補筆した上で 25 日午前の理事会で最終承認を

取り、7 月 1 日付で施行する段取りとなった。規定施行後は事務局員から機密保持誓約

書の徴収も検討する。以上の 2 件を「その他」として理事会に報告し、いずれも方向

性に異議なく事務局に速やかな文書整備と周知が要請された。

各種報告

・月次監査報告（6/3実施分）

・4/25開催 第 1 回 PR マーケティング委員会

・5/16開催 第 6 回 YCE 委員会

・LCI・LCIF 活動報告

・公益財団法人日本ライオンズ 活動報告

中谷専務理事よりいずれも配付資料をもって説明資料とされ、資料を参照のうえ質疑

があれば発言を促したが拳手はなく、質疑応答なしにて報告とした。

・第 6 回 OSEAL レオフォーラム大阪 2025 進捗報告（2025 年 11 月 7 日（金）～9 日（日）

廣田常務理事より報告。開催承認は既に日本ライオンズ理事会で得ており議事録もあるが簡単に説明をさせていただきたい。第6回OSEALレオフォーラム大阪2025は2025年11月7日から9日まで開催する計画で、主催各義は一般社団法人日本ライオンズ、ホストはMD335、メインスポンサーは335B地区とする。予算は暫定版で提示されたが、登録料以外の収入についてはLCIFなどの助成金を申請予定であり、もし交付されなくてもMD335および335B地区が自前で賄う方針が示された。

プログラムは7日と8日の二日間をすべてセッションとワークショップに充て、日本とアジアのレオ・ライオンズが相互に学び語り合う内容とし、9日は奈良や岸和田などで文化・歴史・ものづくりを体験するフィールド学習日に充てる予定。今後は詳細の固めと資金確保を進め、助成金が得られなくても335B地区が責任を持って実施すると表明し、全国の協力と参加を求めた。

3. 本日のまとめ

監事講評

下間幹事はまず会議運営の労をねぎらい、議長や理事長をはじめとする執行部の円滑な進捗を高く評価したうえで、今後も1年目・2年目理事が協力し合い、同様にスムーズな運営を継続してほしいと述べた。乗田幹事は、今回の審議では表現が難解な箇所が散見されたと指摘し、全ての会議参加者が理解できるよう文言を整理・明確化して記録するよう要望し、両名ともに謝意を述べて講評を終えた。

4. 今後の予定について

- ・6/17 (火) 14:00 第8回アラート委員会 (WEB)
- ・6/22 (日) 14:30 第7回YCE委員会 (仙台)
- ・6/24 (火) 13:30 新議長セミナー (日本ライオンズ事務所)
- 15:30 新議長予定者打ち合わせ会 (日本ライオンズ事務所)
- ・6/25 (水) 11:00 第11回理事会 (日本ライオンズ事務所)
- ・6/25 (水) 13:30 第4回社員総会 (AP 東京/八重洲)

◇閉会宣言

専務理事 中谷 豊重
以上

議事録作成人:

常務理事 伊賀 保夫
常務理事 諏訪 昇三

議事録署名人:

理事長 松浦 淳一 【押印省略】
監事 (MD332元議長) 下間 俊悦 【押印省略】
監事 (MD337元議長) 乗田 泰 【押印省略】

(2024-2025年度)

一般社団法人日本ライオンズ 第11回理事会 議事録案

2025年6月25日(水) 11:00-12:00 一般社団法人日本ライオンズ事務所

理事長 松浦 淳一 (岩見沢はまなす)

副理事長 喜多 友一 (上田城南)

副理事長 澤 辰水 (下関)

専務理事 中谷 豊重 (岸和田)

常務理事 伊賀 保夫 (東京ビーズ)

常務理事 諏訪 昇三 (札幌時計台)

常務理事 渡邊 俊弥 (仙台五城)

常務理事 佐藤 裕幸 (柏崎日本海)

常務理事 廣田 晃一 (姫路中央)

常務理事 藤井 信英 (岡山みらい)

常務理事 瀧田 浩平 (長崎南)

理事 田中 雄一 (狭山)

理事 栗村 安弘 (大船渡) **【欠席】**

理事 星野 勝美 (太田)

理事 戸祭 宏樹 (鯖江王山)

理事 新里 正雄 (沖縄)

理事 (23-25 国際理事) 城阪 勝喜 (大阪港)

理事 (23-25 国際理事) 濱野 雅司 (岩槻)

理事 (24-25 LCIF 理事) 鶴嶋 浩二 (札幌中島)

理事 (前理事長) 山名部 智之 (八戸)

理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長) 小野寺 眞悟 (札幌北の杜)

監事 (MD332 元議長) 下関 俊悦 (男鹿)

監事 (MD333 元議長) 石橋 貞 (足利西)

監事 (MD335 元議長) 小林 颯 (姫路広陵) **【欠席】**

監事 (MD337 元議長) 乗田 泰 (伊万里) **【欠席】**

オブザーバー

'25-27 国際理事候補者 仁科 良三 (長野みすず)

日本ライオンズ事務局長 増澤 義治 (諏訪湖)

法律顧問 池田 和司 (東京桜門)

会計顧問 吉田宗一郎 (東京武蔵野)

理事長事務局補佐 南浦谷 清 (岩見沢はまなす)

理事長事務局補佐 成田 祐樹 (岩見沢はまなす)

次期理事長予定者事務局補佐 田中 俊彦 (上田城南)

次期理事長予定者事務局補佐 小口 恒樹 (岡谷)

議題:

1. 議事録作成人の指名
2. 協議及び確認事項:

【審議】

①オーラランド国際大会関係

質問の多いオーラランド大会でのドレスコード(ビジネス、タイ)についての検討と、7月15日代議員朝食会でDGEにぐ乗車いただくバスの代金について協議。一名あたり7,000円を頂くことを承認された。

②総務人事関係(各規程(定)の修正、次年度職員給与)

A. 各規程について資料を元に確認し、一回了承。

①会費規定: '25-'26年度120円、'26年度以降160円と修正、

②経理規定: 夜勤明表記の修正、資産管理担当理事から現財務担当責任理事、事務長の決済権限上限額を100万円とする。③会議出席者旅費補助規程: 新幹線利用は100K以上、最高駅一自宅間が10K以上は旅費補助の対象とする。

B. 次年度職員給与改定: 昨年作成の新賃金規程表により、正社員5名の賃金を改定。

規定の年齢給の他、職能給を1ランクアップする。次年度中に個人面談の場を設ける。

C. 経理後任者(3月採用)の契約内容の変更。週3日1日7時間の週21時間とする。残業代も付与、雇用保険加入の方向とする。B、C共、一回了承。

D. 事務局長委任契約の更新については: 第1回社員総会以後に継続して検討予定。現出旅費規程では、事務局長は国内外とも日当がつかないが、週4日勤務から実際に週5日勤務となっており、業務繁多を考慮して契約内容を改める。

③第62回OSEALフォーラム委員会より事務局員手伝い依頼の件

フォーラム組織委員会から全国のキャピネット地区事務局員に登録・キット手配の手伝いを依頼する文書を社団経由で配信することについての承認。但し、旅費宿泊費等は自己負担においての協力を呼びかけている。配信了承。

【報告および確認】

①複合地区・準地区事務局員向け守秘義務案について

最新案を確認。次期理事長名で出すことや8名の次期議長・該当する地区ガバナーのサインを入れるなど一部変更。10日に開催される新旧理事会で次期議長にも共有を行う。

②6/25 13:30- 第4回定時社員総会(全国ガバナー会) 進行の確認

資料に基づき、午後からの第4回定時社員総会の進行を確認した。

以上

議事録作成人: 事務局長 増澤 義治

議事録署名人:

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 松浦 淳一 **【押印省略】**

監事 下関 俊悦 **【押印省略】**

監事 石橋 貞 **【押印省略】**

一般社団法人日本ライオンズ「第12回理事会」議事録

開催日時：2025年7月2日（水）14：00-16：30 場 所：岩見沢商工会議所 2階
出席者リスト

理事長	松浦 淳一 (岩見沢はまなす)
副理事長	喜多 友一 (上田城南)
副理事長	澤 辰水 (下関)
専務理事	中谷 豊重 (岸和田)
常務理事	伊賀 保夫 (東京ビース)
常務理事	諏訪 昇三 (札幌時計台)
常務理事	渡邊 俊弥 (仙台五城)
常務理事	佐藤 裕幸 (柏崎日本海)
常務理事	廣田 晃一 (姫路中央)
常務理事	藤井 信英 (岡山みらい)
常務理事	濱田 浩平 (長崎南)
理事	田中 雄一 (狭山) 【欠席】
理事	栗村 安弘 (大船渡) 【欠席】
理事	星野 勝美 (太田)
理事	戸祭 宏樹 (鯖江江山)
理事	新里 正雄 (沖縄)
理事 (23-25国際理事)	城阪 勝喜 (大阪港) 【欠席】
理事 (23-25国際理事)	濱野 雅司 (岩槻)
理事 (24-25 LCIF理事)	鶴嶋 浩二 (札幌中島)
理事 (前理事長)	田名部 智之 (八戸) 【WEB】
理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)	小野寺 眞悟 (札幌北の杜)
監事 (MD332元議長)	下関 俊悦 (男鹿) 【欠席】
監事 (MD333元議長)	石橋 貞 (足利西) 【欠席】
監事 (MD335元議長)	小林 聰 (姫路広陵) 【欠席】
監事 (MD337元議長)	乗田 泰 (伊万里) 【WEB】
オブザーバー	
25-27 国際理事候補者	仁科 良三 (長野みすず)
	大山 恭範 (一宮)
	菅原 孝明 (八戸)
	増澤 義治 (諏訪湖)
日本ライオンズ事務局長	池田 和司 (東京桜門) 【欠席】
法律顧問	吉田 宗一郎 (東京武蔵野) 【欠席】
会計顧問	南部谷 靖 (岩見沢はまなす)
理事長事務局補佐	成田 祐樹 (岩見沢はまなす)
理事長事務局補佐	

◇開会宣言 理事長 松浦 淳一

開催地の岩見沢はまなすライオンズクラブ石月会長から歓迎の挨拶があった。松浦理事長のご挨拶に続いて濱野国際理事、鶴嶋 LCIF 理事、田名部前理事長、小野寺公益財団日本ライオンズ理事長、仁科国際理事候補より挨拶をいただいた。

◇出席者確認

出席者リストより確認を行った。オブザーバーとして一宮ライオンズクラブの大山 L と八戸ライオンズクラブの菅原 L の紹介。

◇議事録作成人の指名

佐藤常務理事・戸祭理事が指名される。

1. 協議および報告事項

①報告 (6/24) 次期議長打ち合わせ会・

・次年度・組織図と委員会構成(案)・次年度理事会開催予定

喜多副理事長より報告。6月24日に開かれた次期議長打ち合わせ会(資料1)では、2024+25年度の執行体制案として、理事・監事・各委員長を配置した組織図と委員会構成(案)が概ね了承されるとともに、年間の理事会日程が確定した。

理事会は基本として東京で対面開催。それ以外の地域での開催としては理事長、副理事長の地区で行い、11月18日(出雲)、1月27日(姫路)、5月19日(札幌)、6月17日(長野・18日より変更)とした。今年度の最終社員総会では欠席者が非常に多いため、次年度は理事会・社員総会への出席率向上が最重要課題と位置づけられ、「日にちがあらかじめ決まっているので必ず出席いただきたい」との強い要請が確認された。

②協議総務人事管理委員会関連

増澤事務局長より説明。会費規定は第2条を改め、月額80円を120円へ引き上げ、2026年度には160円に段階的に改定するとした。第5条の二人目以降の家族会員の記述を特典会員とし、この規定は令和7年8月4日から施行する。

経理処理規定では資産管理担当理事を財務担当責任理事、事務局長に置き換える。取引銀行は三菱UFJ銀行の変更があり、プール旅費は会議費とし、支出科目を各種委員会会議として計上し、旅費補助は各種集合同議出席者旅費補助規定により、四半期ごとに会議出席の口懸へ送金するとした。第22条は会費の値上げに伴い費助会費80円

日本ライオンズ発行<2024-25-軌-M12>
を120円、2026年度は160円とする。資産管理運用規定についても資産管理担当理事を財務担当責任理事と変更した。各種集合会議出席者旅費補助規定では新幹線利用は100キロ以上、最寄駅から自宅間バス10キロ以上の場合には運賃支給を追加。

提示された会費規定、経理処理規定、資産管理運用規定、各種集合会議出席者旅費補助規定の修正文案は、いずれも全員賛成で原案どおり承認。

③協議および確認 次年度への引継ぎ事項

- ・事務局員向け守秘義務規定の件
増澤事務局長より説明。次期理事長予定者名で各地区の次期議長8名を連名で記すの下部に地区ガバナーが署名できる欄を設けた守秘義務遵守に関する誓約書を作成した。

文面は情報漏えいの禁止、取得資料は退職後も持ち出ささないなど、雇用時の就業規則にも通常盛り込まれるごく一般的・常識的な条項のみで構成されており、事務局員を不当に縛る内容ではないことが確認された。

署名欄の役職表記は準地区ガバナーではなく地区ガバナーとし、次期理事長と8名の次期議長の連名文書を社団から各MDへ送付し、各ガバナーは自地区内で必要箇所
に署名・配布できるようにする点、旧議長が新議長に内容を確美に引き継ぐ責任を負う点を確認し、今年度の理事会で進めて来年度スタートすることとした。

- ・OSEAL調整事務局への名簿の共有について

OSEAL調整事務局より次期社団理事会構成員の名簿共有の依頼があった件について協議。使用目的を確認の上、限定的に共有を行う。

毎年社団が作成し保有、全国への共有を行っている35地区5役リストの件が再度確認された。

2. その他報告事項・・・資料3

①第6回アラート委員会報告

アラート委員長新里理事・同副委員長藤井常務理事

6月17日に行った委員会では活動経過を確認したうえで、社団アラート委員会の班長職の廃止を主要議題とした。社団で班長を任命しても実務的な役割が希薄で、むしろ指揮系統を複雑にするとの判断から、来期は班長職を設けない案を申し合わせた
が、今期内に次期の班長が決まっている地区もあるため、次期は現行体制を維持することとしたが、第1回社員総会が開催予定である8月4日以降、その次の年度ではなく

日本ライオンズ発行<2024-25-軌-M12>
す方向で進める方向で働いている。

②第6回会則委員会報告

会則委員長 中谷専務理事

6月27日に行われた第6回会則委員会では、まず昨年度MD335が制作した日本語版ロバート議事規則を社団ホームページに常時掲載できるよう、編集権一式を5万5000円で購入取を申し合わせた件の報告。金額についてはMD335内でももう一度話し合いを頂く予定。

2024-25年度版の役員必携を9,000部発行し、凸版印刷から計364万1000円を請求を受け次第、今期予算で支払うこととした。

頒布価格は650円とする。コンパクト必携（ライオンズ必携）は今期発行できなかつたので来年度速やかに発行する。必携は電子化していかねばならないので紙で持ち運ぶの良いがスマホで見られるような方向性としていきたい。

コンプライアンス規定については指針を社団として示し1.2年プログラムを作っている
ので各地区の判断で次年度以降のように実行していくかを判断していただきたいと報告。

③YCE報告

増澤事務局長

6月22日に行われた第7回YCE委員会では前回までの申し送り事項を精査したうえで、派遣・受入れ事務を社団で一元管理できないかという可能性を模索するべく、中長期の課題として検討した。現行フローは地区・複合ごとに温度差が大きく、経験者の属人的対応に頼っているため、事務局員を計画的に育成して恒常機能に組み込む案、歴代経験者による特別チームで標準化モデルを作成し、完成後に事務局へ段階移行する案の二方向で具体策を練る予定である。今夏（7～8月）の派遣・受入れについては準備が順調に進んでおり、支障なく実施できる見通し。

④オーストラランド国際大会最新情報

国際大会委員長 戸察理事

オーストラランド国際大会の日程と動線を確認し、ダブルツリー・ヒルトン周辺からコンベンションセンターまで徒歩40分を要するため国際協会手配のシャトルバスを積極的に利用するよう周知することを申し合わせた。

12日は13時よりパレードの下見、13日は18時から本格的なパレード打ち合わせ、14日はパレード関係者は7時30分、一般参加者が8時30分現地集合。

同日は16時からビジネス・セッションが開催され、国際理事候補者が紹介される。開会式が行われる15日は代議員朝食会。受付をご担当いただく方は6時40分、一般

日本ライオンズ発行<2024-25-軌-M12>
の方は7時にお越しください。

朝食会後9時30分開会式、16日は20時から元国際会長、元PIDの晩餐会（国際協会へ申し込みをされた方のみ）、17日は9時から閉会式、という流れを再確認したうえで、質問が多く寄せられるドレスコードについて、社団より全国へお送りしている通り、代議員会や閉会式についてはビジネススタイルを推奨する方向が支持された。A P シンからエレクトロへ配布される予定のTシャツ着用案やアロハ案も挙がったが、Tシャツはガンバナーエレクトロしか所持していないことや、国際協会公式行事では襟なし・ジーンズ・サンダルは認められないことが国際理事より再三指摘があり、最終的に日本としてはビジネスを推奨し、ネクタイは氣候を見て判断、複合地区がどうしてもTシャツを選択する場合は各MDで責任をもって決めていただく。

7月3日14時にO S E A L 調整事務局主催で配信されるウェビナーがあるが録画配信もあるため各自確認をよう促した。

⑤第62回OSEALフォーラム最新情報
諏訪常務理事

第62回OSEALフォーラム札幌については、登録状況が依然として極めて低迷しており、オーランド国際大会終了後は各地区・複合地区が総力を挙げて参加促進に取り組む必要があるとの強い呼びかけが行われた。

フォーラム終了後の10月26日の15時からA P シン次期国際会長予定者の公式訪問があり、出席予定の方は札幌でもう一泊いただくことになるかと思われるため、各自で早急に宿泊手配を見直すよう要請された。

鶴崎LCIF理事より国際会長公式訪問・晩餐会について600席規模なのか740席規模にするのかを次年度の社団側で決定して買えば、ホテル側との調整は行っていたいただけるとの事。

開催地であるフォーラム委員会が会場確保や見積交渉など外枠を整え、具体的な次第・表彰・演出といった中身は社団が主体となって企画し、来年度からは全予算も社団に一元化されるため早急な規模・費用・運営方針の決定が求められる。

⑥その他

・レオフォーラムについて
中谷専務理事

レオフォーラム2025大阪について、開催地であるMD335所属のレオ委員長より、問い合わせはホームページよりという趣旨の文書がメールで届いているのでお目通しいただきたい。

3. 本日のまとめ

監事講評
乗田監事

最後まで検討すべき問題が多数の理事会になったが、各複合、準地区に指示がきちんと徹底されるようお願い申し上げます。

4. 今後の予定について

- ・7/9 (水) 14:00-16:00 2024年度監査 (日本ライオンズ事務所)
- ・7/10 (木) 11:00-12:00 旧年度理事会 (日本ライオンズ事務所)
- ・7/10 (木) 13:30-15:00 新・旧(準備)理事会 (日本ライオンズ事務所)
- ・7/10 (木) 15:30-17:00 新年度準備理事会 (日本ライオンズ事務所)

◇閉会宣言

専務理事 中谷 豊重

以上

議事録作成人：
常務理事 佐藤 裕幸
理事 戸祭 宏樹

議事録署名人：
理事長 松浦 淳一【押印省略】
監事 (MD337 元議長) 乗田 泰【押印省略】

2024-25年度ライオン誌日本語版委員会 第8回会議 議事録

日時	2025年3月4日(火) 14:00～16:00
場所	一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室(Zoom)
	国際理事 濱野 雅司 (埼玉県・岩槻LC) *欠席 国際理事 城阪 勝喜 (大阪港LC) *欠席 【一般社団法人日本ライオンズ】 理事長 松浦 淳一 (北海道・岩見沢はまなすLC) *欠席 専務理事 中谷 豊重 (大阪府・岸和田LC) PRマーガティング委員会委員長 星野 勝美 (群馬県・太田LC) PRマーガティング委員会副委員長 佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海LC) ライオン誌日本語版委員 編集長/337複合地区委員 洲野 二三世 (大分LC) 330複合地区委員 田中 明 (埼玉県・和光LC) *欠席 331複合地区委員 馬場 哲也 (北海道・函館東LC) 332複合地区委員 藤谷 文雄 (秋田県・大曲LC) 333複合地区委員 三枝 久夫 (栃木県・佐野西LC) *欠席 334複合地区委員 前田 磨 (静岡県・三島LC) 335複合地区委員 北岸 秀規 (滋賀県・大津びわこ比叡LC) 336複合地区委員 佐々木孝之 (岡山LC) 日本ライオンズ事務局長 増澤 義治 (長野県・諏訪湖LC)
出席者	

星野委員長の閉会あいさつに続き、中谷専務理事からあいさつがあり、出席者の確認を行った後に議事に入った。

議案 1	ライオン誌日本語版の運営
内容	① 2024年7月～25年1月ライオン誌関係会計報告 ほぼ予算通りに経過していることを確認。デジタル版関連費(ウェブマガジン)の原稿料・編集費の支出は外注を止めため大幅に減額。 ② 2025-26年度発行計画と予算案 来期も今期同様、印刷版年4回・デジタル版年12回発行とし、デジタル版関連費の旅費交通費、原稿料・編集費、その他(改修費用・普及費用など)に見直しを加えた

	予算案を作成し、次年度委員会で検討する。ライオン誌直接出版費(印刷版)について星野委員長から、社団では賛助会費改定に伴い印刷版発送費を会費に含め、クラブ発送のみにする方針であるとの報告があり、個人発送を廃止してクラブ発送のみとする点に関して各委員の意見を確認した。
決定事項	①2025-26年度発行計画を、印刷版年4回・デジタル版年12回とする。 ②印刷版をクラブ発送のみとすること目立った反対はなかった。

議案 2	ウェブマガジン編集関係
内容	① 2025年3月号(3月1日公開)出来 公開済みの3月号の出来を確認した。 ② 2025年4～6月号更新予定(案) 4月号は前回委員会までに決定した内容で進行中。5月号「取材レポート」(大阪府・高槻LC)の取材経費概算を確認。6月号「取材レポート」の取材対象を決定。また、7、8月号の取材対象候補としてそれぞれ2クラブを挙げ、次回委員会で詳しい情報を確認して絞り込む。
決定事項	②5月号「取材レポート」の取材経費概算を承認した。

議案 3	印刷版編集関係
内容	① 2025年春号(4月25日発行予定)台割(案) 前回委員会での検討内容を反映した台割を確認した。「大阪・関西万博」の記事は335-B地区の担当者に情報提供を依頼する。「特集:リーダーダッシュ」は佐々木委員によるオンライン研修の受講レポートなど企画案に沿って進んでいる。「札幌フォーラム」はフォーラム組織委員会に原稿・写真を依頼済みで近く提出される予定。 ② 国際協会によるライオン誌読者アンケート 国際協会から、印刷版に掲載するためライオン誌読者アンケートのオンライン回答用QRコードが配信された。春号への掲載について検討した。 ③ ウェブマガジン連動企画 前回委員会で提案された印刷版とウェブ版の連動企画について検討。過去に掲載した「クイズ de 例会」「読者プレゼント」を参考事例として協議した。読者の興味を引く企画でウェブマガジンに誘導することは有効であるとの意見でまとまった。

決定事項	<p>②表紙裏の1/2スペースを使い、短時間で回答出来る旨の説明を添えて掲載する。</p> <p>③次回委員会に各委員がアイデアを持ち寄り更に検討する。</p>
-------------	--

議案 4	その他
内容	<p>① ウェブマガジン普及策(ライオン誌ウェブマガジンのアンケート結果) 星野委員長が所属クラブで実施したライオン誌アンケートの結果が報告された。主な結果は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ライオン誌活用度は印刷版「あまり見ない、20%」に対し、ウェブマガジンは「ほとんどなし90%」 ・ デジタルデバイスの活用度は年齢を問わず高い <p>この結果を踏まえ、「印刷版はすぐに年2回発行に縮小するのは時期尚早」「ウェブマガジンの今後のポテンシャルは高い」との総括と、今後の方針として次の2点が示された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本ライオンズのPRマーケティング委員会から、複合地区、地区、クラブのPR・IT担当委員長に呼びかけ、ウェブマガジン普及・指導を担ってもらう ・ ライオン誌例会の開催を呼びかける <p>② ライオン誌日本語版メールアドレス LionPortal登録Eメールアドレスに3月3日送信したメールニュースは、到達した25,032通中、現時点の開封済みは6,677通で開封率26.7%であるとの報告を受けた。</p> <p>③ ライオン誌公式SNS 登録はほぼ横ばい(LINE登録前回6,128人 今回6,144人)の現状を確認した。</p>
決定事項	<p>① 次回委員会で更に検討する。</p> <p>② 引き続き送信を継続して効果を検証する。</p>

次回開催予定	<p>第9回：4月7日(月) 14:00～16:00 Zoom</p> <p>第10回：5月12日(月) 14:00～16:00 Zoom</p> <p>第11回：6月13日(金) 14:00～16:30 日本ライオンズ事務所</p>
---------------	---

議事録作成：馬場哲也(331複合地区委員)

2024-25年度ライオン誌日本語版委員会 第9回会議 議事録

日時	2025年4月7日(月)14:00~16:00
場所	一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室(Zoom)
出席者	<p>国際理事 濱野 雅司(埼玉県・岩槻LC) 国際理事 城阪 勝彦(大阪港LC) 【一般社団法人日本ライオンズ】 理事長 松浦 淳一(北海道・岩見沢はまなすLC) 専務理事 中谷 豊重(大阪府・岸和田LC) PRマーガティング委員長 星野 勝美(群馬県・太田LC) PRマーガティング委員会副委員長 佐藤 裕幸(新潟県・柏崎日本海LC) ライオン誌日本語版委員 編集長/337複合地区委員 瀧野 二三世(大分LC) 330複合地区委員 田中 明(埼玉県・和光LC) *欠席 331複合地区委員 馬場 哲也(北海道・函館東LC) 332複合地区委員 藤谷 文雄(秋田県・大曲LC) 333複合地区委員 三枝 久夫(栃木県・佐野西LC) *欠席 334複合地区委員 前田 磨(静岡県・三島LC) 335複合地区委員 北岸 秀規(滋賀県・大津びわこ比叡LC) 336複合地区委員 佐々木孝之(岡山LC) 日本ライオンズ事務局長 増澤 義治(長野県・諏訪浦LC) *欠席</p>

星野委員長の開会あいさつに続き、濱野、城阪両国際理事、松浦理事長からあいさつがあり、出席者の確認を行った後に議事に入った。

議案 1	ライオン誌日本語版の運営
内容	<p>① 2024年7月~25年2月ライオン誌関係会計報告 ライオン誌直接接出版費は変わりなし、デジタル版関連直費が少し増加していることを確認した。 ② 2025-26年度予算案 前回委員会での検討結果を反映した次年度予算案を確認した。印刷版発送の経費に關しては、来期より社団の賛助会費が値上げされるのに伴い送料は全て社団負担となり、発送は当面、現状通りに個人宛とクラブ宛のいずれかクラブが選択した方法で行うと</p>

	の社団の方針について説明があった。
決定事項	②2025-26年度予算案は次回委員会で改めて確認する。
議案 2	ウェブマガジン編集関係
内容	<p>① 2025年4月号(4月1日公開)出来 公開済みの4月号を確認。特に問題なし。 ② 2025年5~7月号更新予定(案) 7、8月号「取材レポート」で取り上げる奉仕活動の内容と、取材経費概算を確認した。また、「獅子吼」投稿1件の内容を確認して意見を交換し、採否を検討した。 ③7、8月号「取材レポート」の取材対象を決定し、経費概算を確認した。「獅子吼」投稿は内容に即したタイトルに変更し、不明確な点を加筆した上で掲載することを決定した。</p>
決定事項	
議案 3	印刷版編集関係
内容	<p>① 2025年春号(4月25日発行予定)台割 事前に送付された春号の記事PDFで内容を確認した。 ② 2025年夏号台割案 夏号台割を確認した。オランダ国際大会の記事を掲載するため、通常7月25日としている発行日の変更を検討した。 ③ ウェブマガジン連動企画 以前に行われていたクイズ、プレゼントなどが取り組みやすく実行が早い。読者プレゼントは地区の名産やオランダで開催される国際大会の公式グッズ等の提案があった。</p>
決定事項	<p>②夏号の発行日を8月5日に決定した。 ③次回委員会で具体案を検討する。</p>

議案 4	その他
内容	<p>① ウェブマガジン普及策 星野委員長から所属クラブで実施したライオン誌ウェブマガジン普及例会の概要とその結果のアンケートの報告があった。 普及策について意見を交換し、地区を通じてライオン誌例会の開催を進める案や、委員のSNSの名前にライオン誌のURLを入れる、アンケートの実施、各委員が地区の会議などでライオン誌やウェブマガジンについて常に話題にして浸透を図る、といった案が出た。</p>

<p>② ライオン誌日本語版メールニュース 4月号メールニュースの発送数は25,066件、4月3日時点の開封率は25.1%、6,249件との報告があった。</p> <p>③ ライオン誌公式版ウェビナー報告 星野委員長から3月5日に行われた国際本部によるライオン誌公式版ウェビナーの参加報告があり、プレゼンテーション資料が共有された。</p> <p>④ ライオン誌公式 SNS 登録はほぼ横ばい(LINE登録2月末6,144人、3月末6,198人、Instagram登録2月末590人、3月末589人などの現状を確認した。</p>	<p>①普及策の検討を次回委員会でも継続する。 ②メールニュースの開封数とLINE登録者数が近い値であり、しばらくは継続して様子を見ていく。</p>
<p>決定事項</p>	
<p>次回以降 開催予定</p>	<p>第10回：5月12日(月) 14:00～16:00/Zoom 第11回：6月13日(金) 14:00～16:30/日本ライオンズ事務所・Zoom 併用</p>

議事録作成：佐々木孝之(336複合地区委員)

第5回 YCE 委員会 (WEB) 議事録

2025年4月14日(月) 10:00-12:00

WEB開催 (ZOOM システム 各デバイスより接続)

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ:

理事長	松浦 淳一	(皆見はまなす LC)【欠席】
専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)
YCE 委員会委員長	田中 雄一	(狭山 LC)
YCE 委員会副委員長	廣田 晃一	(姫路中央 LC)

24-25 年度 各複合地区 YCE 委員:

MD330 委員	三宅 泰雄	(東京高輪 LC)
MD331 委員	繁富 敬史	(札幌中央 LC)
MD332 委員	洞口 勝則	(名取 LC)
MD333 委員	藤川 清幸	(前橋中央 LC)
MD334 委員	中田 勇一	(下諏訪 LC)
MD335 委員	団 英男	(神戸みなと LC)
MD336 委員	小銭 和明	(倉敷東 LC)
MD337 委員	松枝 伸行	(宇土 LC)

オブザーバー:

日本ライオンズ事務局長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
-------------	-------	----------

以上

1. 開会宣言 招集権者 一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員会委員長 田中 雄一

2. 出席者の確認 松浦理事長は欠席 他委員全員出席を確認した

3. 議事録作成人の指名 MD335 同委員長が指名される。

4. 議題 確認事項および協議事項 ※議題について進行の都合上順番を変更した

① ホストファミリー手引き作成について

(1) 各 MD・地区より提出された手引きの確認

332-D 地区から提出があったホストファミリーの手引きのデータを基準とし、田中委員長が精査して各複合地区 YCE 委員長の意見も聞きながらまとめる。

各複合委員長は次回委員会までに意見をまとめて事務局に提出のこと。

② OSEAL フォーラム(札幌)での YCE 活動について

各委員の意見を聞いた結果、どのような目的で開催するか、また次年度対応となるため今期で決定するのではなく、次年度の YCE 委員長予定者の廣田副委員長に検討してもらおうこととして、今期委員会としては第 62 回 OSEAL フォーラム(札幌)には組み込まないことを申し合わせた。あわせて今後の目標としてレオフォーラムとの共同開催も検討してどうかという意見も出た。

③ YCE に関する社同一体化について

YCE を日本ライオンズへ一本化することのメリット・デメリットをそれぞれの地区で話し合いをした上、次回委員会で発表してもらいたい。

急いで一本化する必要があるかも含め、長い目で考えることも必要ではないかという意見もあった。

④ その他

(1) YCE 生制服について

派遣先よりフォーマルな場での YCE 生の服装について申し送りがあった件の報告を受け、現在のユニフォームであるベストの他にジャケットをフォーマルな場でのユニフォームとするべきかどうか協議された。派遣先の国の文化や事情があり、場によって使い分けを行っていくことではないかという意見に賛同。昨年度変更された YCE の手引きの中にもフォーマルな場ではベストの下に襟付きのシャツを着用する件などを記載しておりこちらの共有も行う。引き続き白のベストも正式なユニフォームとして採用し、必要に応じて以前のユニフォームであるブルージヤケットもそれぞれの派遣国との調整で取り入れることにする件を申し合わせた。ブルージヤケット以外にも着回しのしやすいジャケットの導入なども今後検討したいと田中委員長より申し送りあり。

⑤ 今年度春季来日・派遣予定について

(1)各複合地区より来日・派遣予定の報告

資料に基づき、各複合地区から春季の派遣・来日の人数の確認のほか各種報告。

(2)その他

春季に来日予定だった YCE 生が LGBTQ であると連絡があった件の報告。今後このような事案があると思われるので指針を定めてはどうかという提案があった。

⑥ 今年度夏季来日・派遣予定について

(1)各複合地区より来日・派遣予定人数の報告

資料に基づき、各複合地区から夏季の派遣・来日の人数の確認をした。ディレクトリから直接連絡があった国についてはフリー国以外の場合、人数の関係などもあり必ず MD 担当窓口を通してほしい件についてルール制定なども視野に入れ要望あり。

【次回委員会日程調整】

第 6 回委員会 2025 年 5 月 16 日 (金) 10 : 00-12:00 WEB 開催

第 7 回委員会 2025 年 6 月 22 日 (日) 時間未定 於：仙台市 対面開催

5. 閉会の挨拶 日本ライオンズ 専務理事

中谷 豊重

以上

議事録作成人：

MD335 委員長 団 英男

(2024-2025 年度)

第 6 回 YCE 委員会(WEB) 議事録

◎ 日 時：2025 年 5 月 16 日(金) 10：00-12：00

◎ 場 所：ZOOM システム

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ：

理事長

専務理事

YCE 委員会委員長

YCE 委員会副委員長

松浦 淳一 (岩見はまなす LC) 【欠席】
 中谷 豊重 (岸和田 LC)
 田中 雄一 (狭山 LC)
 廣田 晃一 (姫路中央 LC) 【欠席】

24-25 年度 各複合地区 YCE 委員：

MD330 委員 三宅 泰雄 (東京高輪 LC)
 MD331 委員 繁富 敬史 (札幌中央 LC) 【欠席】
 MD332 委員 洞口 勝則 (名取 LC)
 MD333 委員 藤川 清幸 (前橋中央 LC)
 MD334 委員 中田 勇一 (下諏訪 LC)
 MD335 委員 団 英 男 (神戸みなと LC)
 MD336 委員 小銭 和明 (倉敷東 LC)
 MD337 委員 松枝 伸行 (宇土 LC)

オブザーバー：

日本ライオンズ事務局長

増澤 義治 (諏訪湖 LC)

1. 開会宣言 招集権者 一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員会委員長 田中 雄一
2. 一般社団法人日本ライオンズ専務理事ご挨拶 中谷 豊重
3. 出席者の確認
4. 議事録作成人の指名 MD334 中田委員長を指名。

5. 議題 確認事項および協議事項**1. 今年度夏季来日・派遣予定報告**

- (1)各複合地区より来日・派遣予定人数の報告
 MD332：台湾からの来日生 2 名追加の合計 5 名に変更
 MD334：マレーシア派遣が 10 名から 9 名に変更
 MD335：MD4 へ 2 名、マレーシアへ 4 名追加
 MD336：台湾派遣を 8 名に修正
 MD337：シンガポール派遣を 1 名追加の合計 13 名に変更

(2)共有事項について**2.ホストファミリー手引き作成**

(1)田中委員長作成案の確認。以下の件を追加する提案が参加者より寄せられる。

- ①キャッシュレス対応:現金以外のクレジットカード、デビットカード（未成年向け）の準備を推奨する旨を週記。特にマレーシアはキャッシュレス主流。
- ②受託手荷物制限:LCC 利用時の厳しい重量制限について注意喚起。特に帰国時のお土産で超過料金を発生しやすい。
- ③事前チェックイン：航空会社の事前チェックイン（スマホ等）活用を推奨。空港での手続き時間短縮のため。

今後の資料修正の進め方

- ①各委員長は資料に日を通し、時代の変化（カード問題等）に合わせた追記・変更点があれば、次回委員会前までにメールで連絡。
- ②事務局で集約し、次回委員会で最終確認。

3.YCE に関する社団一本化の可能性について意見の集約

- ①期待されるメリットとして運営効率化、情報共有円滑化、対外的な交渉力向上などが挙げられた。
- ②懸念点としては複合地区の役割・責任範囲の曖昧化、実務負担の偏り、自由な運営の制限、費用負担増などの意見。
- ③要望・提案として、日本ライオンズがどこまで実務を担当可能か、複合支援制度の期間、責任分担（人的・費用的）の明確化の要望。

335：複合地区 YCE 委員会内では、一本化については慎重な意見が多かった。日本ライオンズの具体的な関与が見えない現状では賛否を表明し難いが、複合の役割がどうなるかが最大の懸念事項であるという意見。

332・333：実務はキャンプなど責任があり、各 MD が担わざるを得ないと思われる。全国一括での取

りまじめについては慎重である。来日生については人気キャンプ地(デイズニールランド、USJ)等保有地区への希望集中と、それ以外の地区の人気薄傾向が挙げられたほか、日本ライオンズの担当範囲と費用負担(事業一本化により、各複合が費用を分担する、割り当てが発生する可能性があるかどうか、等)の明確化が必要。賛助会費値上げに見合う内容であることも重要であると意見。

334：一本化し派遣国振り分けを日本ライオンズにお願いたい。現状の担当国をなくすることで派遣先の偏りを解消し、多くの国への派遣が可能になり、行きたい国への派遣可能性が向上することが考えられるため。

337：複合内では意見が二極化(活性化推進派と予算削減による消極派)。クラブからの推薦で派遣する流れのため、クラブレベルでのYC事業への関心向上が重要。一本化推進派の背景に「負担軽減」の思惑が見られ、結果的に地区・クラブのYCE関連人材が減少し、事業が弱体化する懸念。メリット・デメリット両側面ある

336：事務局からは事務煩雑化のため一本化要望あり。運営実態としては、特にキャンプを伴う受け入れはMDの積極的関与が不可欠。

固定化した派遣・受け入れ先のジレンマ解消、世界中との青少年交流というYCEの理想実現のため、ある程度窓口一本化は必要との認識。

330：一本化には賛成である。

MDの事務作業内容を整理し、社団が何を担えるのか明確化が必要。

多く寄せられた意見として、現状8人の委員が行っている「誰をどこに派遣するか」の調整業務を社団で行うことができるのでは。どの事務を社団に移管し、経費削減に繋がるか具体的に検討すべき

【今後について】

各複合地区から、メリット・デメリット・要望・提案を3点にまとめ、書面で提出。

次回委員会で内容を精査し、次期へ繋げる。

社団一本化による人材・費用、複合地区の業務・金額負担の分担などを慎重に検討する必要がある。

【次回委員会日程調整】

2025年6月22日(日) 仙台・対面開催

6. 閉会の挨拶 日本ライオンズ 専務理事

中谷 豊重

以上

2025年5月16日

議事録作成人

MD334委員 中田 勇一

第7回 YCE 委員会(対面)議事録

2025年6月22日(日) 15:30~17:00

◇ 香川県仙台市秋保温泉 緑水亭

【出席者リスト】

一般社団法人日本ライオンズ

YCE 委員会委員長

田中 雄一 (狭山 LC)

24~25 年度 各複合地区 YCE 委員長

MD330 委員長

三宅 康雄 (東京高輪 LC)

MD331 委員長

繁富 敬史 (札幌中央 LC)

MD332 委員長

洞口 勝則 (名取 LC)

MD333 委員長

藤川 清幸 (前橋中央 LC)

MD334 委員長

中田 勇一 (下諏訪 LC)

MD335 委員長

団 英男 (神戸みなと LC)

MD336 委員長

小銭 和明 (倉敷東 LC)

MD337 委員長

松枝 伸行 (宇土 LC)

オブザーバー

MD332 ガバナー協議会議長

渡邊 俊弥 (仙台五城 LC)

332-C 地区 ガバナー

佐藤 久一郎(南三陸志津川 LC)

MD332 YCE 副委員長

渡部 政介 (郡山西 LC)

MD332 事務局次長

武者 眞博 (仙台青雲 LC)

日本ライオンズ 事務長

増澤 義治 (諏訪湖 LC)

以上

1. 開会宣言 招集権者 一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員長 L. 田中 雄一

2. 出席者の確認 松浦理事長、中谷専務理事、廣田副委員長、濱田次朗 YCE 委員長予定者は欠席

MD332 協議長 L. 渡邊俊弥は、後ほど参加予定。

他の委員全員の出席を確認した。

3. 一般社団法人日本ライオンズ事務長挨拶 L. 増澤 義治

4. 議事録作成人の指名 MD336 小銭委員長が指名される。

5. 議題 確認事項及び協議事項

① 今年度夏期来日・派遣の最新の数およびキャンプ実施の最終実施要項などを各 MD 委員長より発表され、情報を共有した。

② YCE プログラムに関する手引きの最新改定版(2025年6月22日付)が配布され田中委員長より追加、および変更点について説明があり、全員一致で承認される。

③ YCE 事業一本化の可能性について
委員会開催時までに寄せられた意見が資料として提出される。
各 MD 委員長より意見が述べられた。

MD333 藤川委員長

派遣については、どの MD も平等に各国に派遣事業が可能となるよう、社団がまとめて欲しい。MD333 はミニキャンプを実施予定であり、それは MD が実施。

MD334 中田委員長

社団が主導することにより、派遣生が希望する国へのオファーが可能となり、その点でのメリットがあり現在の担当国制度は如何なものかと考える。

反面デメリットとしては、社団の YCE 委員会が主導するしかなくなり、今後については、いわゆるヨーロッパ方式を取り入れたらどうか。

MD335 団委員長

社団での担当が現実問題として可能かどうか疑問である。
マレーシアの実例を紹介して説明があり、来朝への継続審議を希望。

MD336 小銭委員長

提案のあった社団への追加有償3名の雇用が、現実的に可能かどうか疑問である。希望派遣国へのオファーが可能となれば、派遣希望者は確実に増加すると思
う。

増澤事務長

提案のあった、事務局員増員(案)は実質不可能である。
過去に実績のある YCE 経験者をお願いして、YCE プロフェッショナルチームを
結成して(無償)現社団事務局員の教育をしていけば、5年程度である程度の形
あるものになるのではないか。中長期的には、社団一本化は賛成である

MD333 藤川委員長

派遣国に付いては、窓口制度を廃止し、社団は各 MD からの要望を交通整理し
てもらうだけで良いのでは。

田中委員長

この一本化問題は、なかなかすぐに結論の出る事案ではないので、5年あるいは
10年のスパンで考える事とし、次年度への引継ぎ事項とする。

MD331 繁富委員長

当 MD では、国際ディレクトリーを使って募集をかけており、エントリーが終わっ
た後、アプリケーションフォームを出している。

MD332 洞口委員長

当 MD では、国際ディレクトリーを出して募集をかけるも、台湾生しか来ない。
かなり地域格差が生じている。
社団での一本化により、全日本レベルで募集してもらった後、各 MD に振り分け
して頂きたい。

増澤事務長

受入事業に関しては、ある程度の割振りを行わないと、人気のある MD に偏りが
ちであり、検討が必要である。

田中委員長

本日皆さんから頂いた意見に付いては、次期濱田 YCE 委員長予定者に引継ぐ

必要性がある。

MD334 中田委員長

相手国をすべてフリーにすることについては、賛成である。
プロジェクトチーム等、社団一本化に特化した検討チームを作っていくのがベスト
である。

増澤事務長

プロジェクトチームを新たに作る事を理事会で認められれば、実務は最終的に
YCE 委員会が責任を持つこととなる。

MD337 松枝委員長

MD337 では、YCE に対する予算がほとんどなく、潤沢な予算のある各準地区
へ持ち帰れば様々な申出ではあると思う。

④ 次年度への引き継ぎ事項

田中委員長より

様々な意見を頂きありがとうございます。最終的に、①ホストファミリー用マニユ
アルの件、②YCE 事業一本化への可能性の模索と、その場合は特別プロジェクト
チームを作って行く事、の2点を基準に引継ぎ事項としたいと思います。

332-C 地区ガバナー L. 佐藤 久一郎

この YCE 事業は、YCE 生の人生を左右するくらいインパクトのあるアクトである
と考えるので、今後益々盛会となるよう希望して締めたいと思います。

6. 閉会の挨拶

一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員長 L. 田中 雄一

今回の仙台南催委員会の準備や特別な御配慮を頂いた、MD332 洞口委員長を
はじめ MD332 の関係者に、参加者より深く感謝を申し上げ閉会となった。

以上

議事録作成 MD336委員長

L. 小銭 和明

(2024-25 年度)

第6回 アラート委員会 (Web) 議事録

◎日 時：2025 年2月26日 (水) 13:30-15:30

◎場 所：Zoom

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

2024-25 年度 理事長

2024-25 年度 専務理事

2024-25 年度 アラート委員会委員長

2024-25 年度 アラート委員会副委員長

(岩見沢はまなす LC)

(岸和田 LC)

(沖縄 LC)

(岡山みらい LC)

松浦 淳一

中谷 豊重

新里 正雄

藤井 信英

2024-25 年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー

日本全域リーダー

東日本統括リーダー

西日本統括リーダー

(福山久松 LC)

(大阪若獅子 LC)

(青森 ZERO LC)

(岡山みらい LC)

池原 堅

佐々木 健太

木村 知紀

畑中 隆之

2024-25 年度 アラート委員

330 複合地区

331 複合地区

332 複合地区

333 複合地区

334 複合地区

335 複合地区

336 複合地区

337 複合地区

大屋 保

浅野 敬一

門馬 弘

藤沼 一弘

吉田 正義

西尾 良典

西尾 慎一

菊野 裕子

オブザーバー

MD332 アラート副委員長 兼 アラート班長 三瓶 浩一

MD333 アラート班長 若林 純也

333-E 地区アラート委員長 寺田 英俊

日本ライオンズ専務長 増澤 義治

以上

開会宣言

24-25年度アラート委員会委員長 新里 正雄

日本海側は大雪となったが皆様の地域で被害が出なかつたか。沖編も久々に寒い日が続いた。寒暖差の激しい季節、健康管理には気をつけて頂きたい。只今より第6回アラート委員会を開催する。

ご挨拶

一般社団法人日本ライオンズ 24-25年度理事長 松浦 淳一

北海道は雪も降らず春の様相だが日本は縦に長いので色々な気候が現れる。来月にはアラートフォーラム茨城が控えており、皆様から忌憚らない意見を頂きながら成功裡に終わるよう努力する。併せて色々な事があるので、意見を交換しながら進めて行きたい。

出席者の確認

佐々木日本全域リーダーが氏名を読上げ1名ずつ出席を確認した。

議事録作成人 (2名) の指名

MD331浅野敬一委員、MD336西尾慎一委員の2名を指名/提出:3/7(金) (引継ぎ:MD330、MD332/第1回:MD331、MD335/第2回:MD333、MD336/第3回:MD334、MD337/第4回:MD330、MD332/第5回:MD332、MD335)

議案審議

新里委員長の指名により、藤井副委員長の司会進行で議案審議に入った。

議案:

1. 「全国アラートフォーラム2025 in 茨城」開催について

@水戸市民会館 [2025年3月14日 (金) 13:00-16:30]

(1)最新情報 (最終登録者数 等)

MD333藤沼委員より資料に記載の通り登録者数は499名となっており、当初の目標は確保できた。以降も申込があったが会場の関係でお断りしているとの報告があった。

続いてMD333若林アラート班長より補足として登録者は499名となっているが、バックヤードも含めると520名は可能(消防法の関係で会場は500人以下)。予算どおりの運営が出来る見込みで、今後シナリオ等も詰を行う。交流会の参加は273名、会場の席次について関係者や役員は中央に集め、その他はMDで纏めるよう考えているが、役職者、出席者について各MD宛リストを配布するので参加者の確認をして頂きたい。又、交流会は、欠席等の参加者数増減に対応する為ビュースタイルに変更したとの説明があった。

以上の説明に対し、MD331浅野委員より要望があり、アラート委員の席を最前列に設けることになった。

又、MD333三瓶アラート副委員長より会場が満席状態であれば、席を地区毎に分け案内版を掲示するなどの措置が必要との要望に対し、若林班長より今回のフォーラムは少人数で運営する方式で計画しており、数名の案内係は配置するが受け付けも置かない予定。地区毎の案内板等の設置は後日開催の委員会で検討するが細かい事はご容赦頂きたいとの回答があった。

藤井副委員長から前回の岡山開催の表績を踏まえ、交流会ではトラブ防を強く意味で受付を設けた

方が良いとの提案があり、その方向で検討する事となった。

2. 「日本ライオンズアラート委員会 委員・班長 研修会」

@水戸市民会館 (2025年3月14日 (金) 10:00-12:00)

(1)最新情報

木村東日本統括リーダーは資料「日本アラート委員会 第1回MD委員・班長研修会 (案)」を提示し3月14日 (金) 10時から予定されている研修会について次の通り説明した。

研修会の実施内容についてレジュメを基に主に研修会の目的を最人の目的、促して未提出の地区はアンケートにより、アラートの現状について情報を共有するのが最人の目的、促して未提出の地区は当日までに提出をお願いしたい。研修会のファシリテーターは東日本統括リーダーの木村、西日本統括リーダーの畑中が務め、1時間の説明、50分程度のディスカッションを予定している。研修会は今後2回、3回、4回と続け、資料を残しながら次の委員へと繋がるようにしたいと述べた。

3. 全国社会福祉協議会「連絡会議」

(1)2/14(金)参加について藤井アラート副委員長より報告

藤井副委員長は資料を提示し、2月14日の10時～15時30分、全社協の事務所がある東京霞ヶ間ビルにおいて開催された都道府県・指定都市社協災害ボランティアセンター担当者連絡会議について次の通り参加報告した。

会議は、全国から60名程の関係者、WEBで約50名の参加で開催、その中で締結企業・団体であるJC、JVQAD、トヨタ自動車、生協、カーシェアリング協会、ライオンズクラブが登壇し事例発表を行った。資料を付けているがJCは、すばやく動いてそれなりの活動を行っており、ライオンズクラブにとって参考になるので今後のMDの活動に繋げて頂きたい。

社協との締結は、日本レベルでは45の都道府県、指定都市との締結が行われているが未締結が2県ほどあるので速やかに締結をすすめてほしい。又、市町村レベルでは240程度の締結が行われているがJCは500もの地区と締結しており、これも来明以降締結を進めて頂きたい。

当日の多くの参加者から、ライオンズクラブが行った能登震災・豪雨災害における長い期間の協力に対し感謝の意が表された。加えて社協担当者からは、締結をして終わりではなく、今後ライオンズクラブが行う研修会や勉強会に社協も呼んでいただき、交流を通じて関係を深めて行きたいとの話があつたと述べた。

以上の説明に対し、木村東日本統括リーダーよりボランティアセンター支援を中心とした締結内容、文言について社協からの意見があつたか如何かと質問、藤井副委員長は締結内容について各地区で内容が異なっている事実もあり、社協からも意見を頂戴している、新たな締結書を出させて頂く事もあると話ししている。内容によっては、それがネックとなり締結に至らなかつた地区もある、夫々が締結できる内容で締結に結びつけるのがベターであると答えた。

4. 日本ライオンズ「第7回理事会 (2/12)」からの申し送り事項

松浦理事長は2月12日に行われた日本ライオンズ第7回理事会からの申し送り事項について次の通り説明した。

申し送り事項について中谷専務理事より別の情報を頂いているので、今日は状況の説明に止め次回新たに報告し議論をさせて頂きたい。まず、能登に譲渡したプレハブについて、334ガバナークラス

の意見交換会で334-D地区杉木ガバナークラスよりプレハブは不要との話があり、藤井副委員長に調整いただき他の市町村へ寄贈する事となった。併せてナンタ保守の件については、もう一度整理させていただきながら皆様と情報の共有を図り基準を出していきたい。皆様には、混乱した状況であることを理解していただき、規律ある行動を取って頂きたい。アラートも含め全ての委員会が原点に戻り秩序ある行動をして頂く様を考えていきたいと述べた。

以上の説明に対し以下の質疑応答があつた。

MD331浅野委員は、説明のあつたプレハブの件と、行き過ぎた行動について具体的な内容はどの様なものかと質問した。

松浦理事長は、プレハブについて、日本ライオンズ、MD334議長、334D地区ガバナークラスに討議いただき協議要約書を交わす事となり事前に印もいただいた。実際にはMD334ガバナークラスに行つた時に杉木ガバナークラスより不要との事で、もう一度話をさせて頂きながら被災地の他の自治体に寄贈する形で引き取る事となった。それらの説明に行き違いがあると認め、何が正確な情報が整理し判断して行きたい。現状は藤井副委員長に中に入っていたいただき、纏めていただいた。サンタ事業の件、各方面から引合いがある中、色々な問題が出てきている。この事について、もう一度整理し正しい情報の下で判断して行きたい。アラート委員会だけでなく、色々と日本ライオンズにも情報が入つてきており、次回のアラート委員会の中で意見を頂戴しながら整理して行きたいと答えた。

池原アドバイザーはプレハブの件について、皆が了承した上でお金を使つて行つた事が、何故この様な結果になつたのか、皆の意見を聞きながら慎重に事を運ばなくてはいけないと意見を述べた。

松浦理事長は、当時の経緯は分からないが実際に起きた事であり、情報を整理した上で対処する。併せて、今、日本全国どこで災害が起きてもおおしくなくいい状況下、被災者の援助が一番大切な事であり、アラート委員会は先陣をきっている、時間を頂き状況を判断しながら対処したいと答えた。木村東日本統括リーダーは、アラートに係つて15年位になるが必ずこういった問題は起きる。今回の能登の支援は、今までとは違う事を理解いただきたい。震災から始まつて水害、この様に大災害が重なることはありえない。その中でクラブの方、準地区の方、携つていてる夫々が辛い思いをしながら活動していった。ライオンズクラブは同じ仲間であり、ひとり一人から話を聞くのは大事であるが、組織でやる事、C to C 等考え方が統一されていない現状があり、今回の研修に結びつけ議論できればと考えている。従つて此処からスタートということを念頭に、アラートは今頼りにされている組織であり、大事なときに纏まらないと意味が無い。これをきっかけに次のステップに繋げて行きたいと意見を述べた。

佐々木日本全域リーダーは、日本ライオンズ発足以来アラート委員会が出来、8場合の委員会の繋がりが一社(社)日本ライオンズアラート委員会になり、年度ごとに社員総会の中で委員会から上程した事を決議していただいた。池原アドバイザーが委員長時代にアラート委員会規程を社員総会で承認頂き皆に提示している。ガバナークラスにアラートを組み込んで欲しいという話があるが、災害が起きる時に支援活動は難しく無いが、受援体制を如何とるかは難しい。その際、ご当地のガバナークラスに社員総会で決議された事、発災後何日後には災害対策本部を作り、準地区と複合地区が連絡を取り合つて被災地の支援活動をする、これは準地区と委員会とか組織の事で、それとは別に、C to C、クラブからクラブへ、クラブから被災地へといった支援活動を行うときのルールと混同している議長やガバナークラスの為にどう風通しの良い情報を提供できるか、クラブの皆さんが支援活動をするとか、

被災地のクラブの方が活動される時に後方支援を行うとか、それらを支援するのが我々の役目だと思うしその様な事についてここ数年協議をしてきた。従って、片方側から見ると、違う形に見えるが、活動している本人そうは思っていないというのが、理事長ご指摘の事であり、社団の理事会でも協議をされた事だと思う。この内容を本日出さないで、意見の調整してから皆に開示すべきだとお願いをしていたが話されたので話す、実は現地の人にも言われていることが事実なのかそうで無いかヒアリングをし、結果を提出するので、その上で判断頂き、係っている多くの人が是非か非かにならない様にして行きたいというのが委員会に長年係ってきた私の思いであると述べた。

MD331浅野委員は、ブレハブの問題等について先にアラート委員会に話しがあり、その後理事会に回付されたのか如何かと質問した。

藤井副委員長は、当初ブレハブの設置についてアラート委員会で協議したことを理事会にかけて承認を頂いて能登ベースを立ち上げた。その後時期を見て社団から334D地区に寄贈したらどうかという事でこの委員会でも話しをさせて頂き社団の理事会でも承認された。それを受け譲渡書を作成しMD334の議長と杉木ガバナーに捺印を頂き理事長にも捺印を頂き完了と思っていたが、年末前後になつて不要との話があり、このことは、334として一旦支援活動を終了させたままだったので不要との判断をガバナーが行ったものと推察した。それを受け、もう一度練り直して下さいとの話があり、私が間に入って、今334D能登に置いているブレハブを例えば輪島であったり珠洲であったりが必要とされる場所を探しそこに寄贈ということで手が離れば良いのではという段取りをさせて頂き、寄贈先を探すという事で決着したと答えた。

松浦理事長は、様々な問題の入手について、複合の議長を通じて、或いは匿名投書の場合もあり、夫々の案件によって情報の伝わり方は様々であると答えた。

5. その他

藤井副委員長は、全国アラートフォーラム2025in茨城は3月14日に開催されるが、懇親会場で次の開催地を発表してきた経緯があり、来年度の開催地をそろそろ決めなければならぬと質問。増澤事務局長は以前に次回開催をオセアル礼拝大会で行うとの話があったが如何かと質問。

藤井副委員長は鶴崎理事との話の中でキャラが200名程度の会場との事で、それを社団の仕切りではなくオセアルフォーラムの仕切りで行うと聞いた。その形で出来るのであれば良いと思うが、これまでの話しが出来ていない。社団としても話しが出来ていない様なので理事長に確認して頂きたいが、200名というキャラが如何なのか、今から500名程度の会場確保が可能であれば良いが。

松浦理事長は、主な会場コンベンションホールなので確保できるかどうかは確認が必要だが、3月14日までとなると、確認のみなのか、討議が必要なのかどうか。

増澤事務局長は、オセアルフォーラムの中で行ったとしても日本独自ではなく海外の方も入ってこられるので、今のスタイルを継続するのであれば、改めてオセアルフォーラムで行っても良いし、それは別に3月頃にアラートフォーラムをやる考え方もあるので、そこは皆にお伺いして決めたら如何かと提案した。

MD331浅野委員は、オセアルフォーラムの中では従来のスタイルでの開催は難しい。情報は無いが、災害支援という名目で短めに行うといった形式での開催を考えているのではと思われる。従って別途アラートフォーラムを開催した方が良いと意見を述べた。

藤井副委員長は2月・3月に従来スタイルでのアラートフォーラム開催は如何か、或いはオセアルフォーラムに併せて開催が良いか質問、拳手の結果、2月・3月に従来スタイルでの開催が多数を占めた

5

ので委員会としてその方向で進めて行きたい旨述べ、開催地を何処にするかと質問、今回が東エリアなので来年度は西エリアでの開催を考えたいとして佐々木日本全域リーダーに意見を求めた。

佐々木日本全域リーダーは、先日335複合の委員会が開催されオプザバーで参加、今回の茨城でのフォーラムの出席者の確認と今までのフォーラムの流れを説明、岡山での開催の前は本村リーダー、332の方に頑張ってもらって仙台で開催、その時、次は岡山で開催と言う話しを1年前に委員会でも決めた。当時の藤井西日本統括リーダーに尽力頂き岡山フォーラムが開催できた。その時、次は茨城でと言う事を決めて今回に至っている。開催地が準備するのも時間が必要なもので、なるべく1年位前には開催地を決めて案内するといった流れで来ている。現在、オセアルフォーラムから今のところ社団のアラート委員会に対し案内はなし。従って現状スタイルで次にやるとすれば四、順番からすると334若しくは335ではないかと話しをしたところ335で受けても良いとの意見が出たが、この件は今後MD335西尾委員と議長でどう決めていくかと言う事になると述べた。

MD335西尾委員は、複合地区アラート委員会の中でフォーラム開催を受けても良いという話しが出ており、現在議長と調整中でよければ開催地として名乗りを上げたい。どの様な手順を踏めば良いのか解らないので佐々木日本全域リーダーと相談しながら進めて行き複合地区での調整が出来次第、提案させて頂くと述べた。

藤井副委員長は、開催地について335複合地区の提案を受け委員会でその可否を議論する事になるので3月14日には発表が難しいかもしれないが、仕方のない事であり、今回は未決定とさせて頂くと付け加えた。

6. 各MD活動報告

本日参加の各MD委員より3月14日に開催されるアラートフォーラムへの参加状況に加え、夫々の地区における活動経過について報告がなされた。

7. 次回、第7回アラート委員会開催日程

2025年4月8日(火) 14:00~15:30 (Web) の開催が決定した

閉会の辞

24-25年度 アラートアドバイザー 池原 聖

以上

2025年2月26日

議事録作成人：
MD331 アラート委員 浅野 敬一
MD336 アラート委員 西尾 慎一

6

(2024-25 年度)

第7回 アラート委員会 (Web) 議事録

◎日 時：2025 年 4 月 8 日 (火) 14:00-15:30

◎場 所：Zoom

◎出 席 者：

一般社団法人日本ライオンズ

- 2024-25 年度 理事長 松浦 淳一 (岩見沢はまなす LC)
- 2024-25 年度 専務理事 中谷 豊重 (岸和田 LC)
- 2024-25 年度 アラート委員会委員長 新里 正雄 (沖繩 LC)
- 2024-25 年度 アラート委員会副委員長 藤井 信英 (岡山みらい LC)

2024-25 年度 日本ライオンズ アラートチーム

- アラートアドバイザー 池原 堅 (福山久松 LC)
- 日本全域リーダー 佐々木 健太 (大阪若獅子 LC)
- 東日本統括リーダー 木村 知紀 (青森 ZERO LC)
- 西日本統括リーダー 細中 隆之 (岡山みらい LC)

2024-25 年度 アラート委員

- 330 複合地区 大屋 保 (川越 LC)
- 331 複合地区 浅野 敬一 (北見中央 LC)
- 332 複合地区 門馬 弘 (原町 LC)
- 333 複合地区 藤沼 一弘 (葛生 LC)
- 334 複合地区 吉田 正義 (藤南 LC)
- 335 複合地区 西尾 良典 (大阪北 LC)
- 336 複合地区 西尾 慎一 (鳥取 LC)
- 337 複合地区 高野 裕子 (熊本平成 LC)

オブザーバー

- MD333 アラート班長 若林 純也 (水戸美 LC)
- 日本ライオンズ事務局長 増澤 義治 (諏訪湖 LC) 【欠席】

以上

開会宣言

■24-25年度アラート委員会 委員長 新里 正雄
 全国アラートフォーラムin茨城開催の感謝と本日の開会宣言

ご挨拶

■一般社団法人日本ライオンズ 24-25年度 理事長 松浦 淳一
 全国アラートフォーラムin茨城開催の感謝、
 栗村前議長から大船渡鎮火宣言の報告をいただいた (昨日5:30) 件、
 近年の気候変動が及ぼす自然災害の脅威、ミャンマー地震 (3/28) にはライオンズクラブが無いため
 奉仕の手が届かず。本日の貴重な時間を有意義な会議になるよう祈念する

出席者の確認

議事録作成人 (2名) の指名

MD333 夢沼委員、 MD337 高野委員
 (引継ぎ会議：MD330、MD332/第1回：MD331、MD335/第2回：MD333、MD336/第3回：
 MD334、MD337/第4回：MD330、MD332/第5回：MD332、MD335/第6回：MD331、MD336)

■新里委員長の指名により、藤井副委員長が議案の司会進行役となった

議案：

1. 全国アラートフォーラム2025 in 茨城 (3/14)

・開催報告、事業報告

■MD333班長 L若林実行委員より「事業報告」書の説明

- ・フォーラム参加人数：493名 (予定500名)、交流会：271名 (予定300名)
- ・交流会で用意したアップフェ食事(参加人数の9割量)は早くに完食となり、予定終了時刻より20分程巻いた
- ・「決算報告」の参加人数は現時点のもの、ノンライオンの参加数は省かれている
- ・余剰金については、約100万円の見通し (参加人数の充足やメンバー手弁当などによる)
- ・入金は今現在進行中。決算報告は、入金および支払い精算がすべて完了し、スタートの通帳0円 (または余剰金が見える段階) に戻したところで終了とする
- ・全国から多くの方に参加いただいたことに感謝申し上げる

【今後の課題提案】

- ・会費額を10,000円とした場合、その内訳 (フォーラム登録料と交流会の割合) については、支出のやりくりにも影響する場合がありますので、収入参考値を参考に今後活かしていただきたい
- ※岡山登録料：フォーラム2,000円 交流会8,000円、茨城登録料：フォーラム2,500円 交流会7,500円
- ・入金、参加申込管理などの集計には「サバンナ」活用が有効との意見があり、次回以降、使用を検討したい (日本ライオンズでの集計を希望)

- 藤井アラート副委員長より、
【次年度開催予定について】
・MD335西尾委員の立候補をうけ採決をとり、満場一致で決定となった
- 佐々木日本全域リーダーより、
【今後の対応】
・まずは今期、アラート委員会で準備委員会を立ち上げ、乗継委員会に引き継ぐ。
また開催地MD335も、今期内に準備委員会を立ち上げ、333-E地区（茨城）からの引継ぎを進める
【次回委員会開催までに提出依頼】
・前回より各MDから開催に向けての要望・意見を収集している。今期も同様に、次回委員会開催までに各MDアラート委員は書面にして提出する
- 2. 第1回MD委員・班長研修会（3/14）
・開催報告
- 畑中西日本統括リーダーより報告、
・研修会は木村東日本統括リーダーが進めた
・この研修内容を各地区・クラブで共有し、アラートに精通した人材の発掘・育成に繋げていただきたい

- 佐々木日本全域リーダーより、
・今回参加対象のMD委員長、MD班長は、各複合地区で研修会開催を検討いただき、またその際には木村・畑中両リーダーに講師依頼のお声をいただければ対応してくれるであろう
- 藤井副委員長より、
・フォーラム発表に使った資料は活用したいとの要望が多く配信させていただいたが、各地区で使い勝手良いように書き換え利用いただければと思う

- 木村東日本統括リーダーより、
・情報を皆さんで共有できたことは良かった、それぞれの役割、やるべきことが見え、次の段階へ進めることができると感じた。ただライオンズはOne Year、次へうまく引継ぎ、足跡を残せるようなアラート委員会であればと思う

- 3. 次年度アラート委員会
・組織案検討
- 藤井副委員長より、
能登の災害をうけ委員会のスマート化など意見をいただく機会があった、現在の組織構成について、各MD委員の率直な意見を伺いたい
MD330大屋委員 大災害が各地で起きている昨今、大きな動きができるような組織作りが必要かと感じる
MD331浅野委員 今のままで良い
MD332門馬委員 組織図は問題ないが、ネットワークがうまく機能していないことを大船渡の山林火

- ・ 災時に実感し反省があった。整備の必要を感じ
- MD333蓼沼委員 今のままで良い。会議はWebばかりではなく1回は対面にした方が良い
- MD335西尾委員 組織図は問題ない。各地区の温度差がある。各地区の統制の見直しが必要か
- MD336西尾委員 緊急性を要するためスムーズに事が運ぶように組織はシンプルであるべきと考える
- MD337高野委員 組織はシンプルが良い。各MDの事情もあるので副班長の件はMDごとに検討した方が良い
- 藤井副委員長より、
・ ネットワーク（連絡網）について、アラート委員会はグループLINEにより主だった方とは連絡が取れる状況、活用していただきたい
・ リアル開催について、年度初め、年に1回は実施するのは良いと感じる
・ 現在、各複合にはアラート委員会が発足し、各単地区にも単独でないにしろ存在することとなった。その中で、社団への参加は今日のメンバーまでとし、班長は各MDアラート委員会でMD委員の補佐的役割（MD副委員長など）の方を選任していただき、副班長は各単地区のアラート委員長とすれば、複合、単地区が繋がる関係性が構築できるのではないかと、シンプルな組織作りに向けて、そのようなこともこれから考えていく必要があるのではないかと

- 池原アドバイザーより、
・ 前年度、複雑だった組織構成を整理、現在の組織体系がシンプルでベターなものと感じる。皆さんからの意見も踏まえ、しばらくこの体系を進めていってはいかがかが
- 藤井副委員長より、
・ 災害が起きてから緊急対策チームを立ち上げるのではなく、期首にはすでに組織作りをしておいていただきたい。現・来期各複合委員とそれらの情報を共有し、アラート委員会で管理することも役割の一つかと思える。アラート委員会の方向性は今期中にも取りまとめ、社団、理事会においても発言していきたい
- 松浦理事より、
・ 災害対応という緊急性のある中、委員皆さんがそれぞれの地区で活動しやすいよう議論いただき、より良い組織作りにつとめていただければと考え

- 藤井副委員長より、
・ これらの話をうけ、社団内での副班長任命の必要性について意見を求めたところ、
「災害時に実際に動くのはMDであり単地区。アドバイスする立場の日本ライオンズには副班長は不要と考える」
「スリム化するならば、災害が起こった時に被災地・被災者を孤立させないために（一番重要）、隣り合った地区などとパートナーシップを結びサポート体制を明確化していただきたい」
の声があがった
改めて副班長任命の要・不要について採決をとり、満場一致で不要となった。

副班長は準地区委員長が担当するなどとし、複合会議に臨んでいただくこととした

- ・運営規程の改定については、一度、委員長、副委員長、日本全域・東西リーダーとで見直ししたい

4. 各MD活動報告

- MD330 連絡網、組織の強化を行い、準地区委員名を複合にも共有、体制を整えた。6月にセミナーを開催予定。また社協との提携をさらに進める
- MD331 アラートの啓蒙活動、委員会の重要性や、日本ライオンズアラート委員会の認知度を上げるようつとめてきた
- MD332 11月アラート委員会を招集して会議を行った。複合地区での予算工面や受援立場を意識し、規定を作成している
- MD333 各準地区においてアラート意識に温度差を感じるため、各委員長の選任方法、知識の向上などを見直していきたい
- MD335 規程など整備すべきところは多くあり、今期中になるべく取りまとめたい。また来期へとしっかりと繋げていくためにも認識の統一等に向け、セミナー開催を予定している。
- 4/16には複合アラート委員会を行う
- MD336 準地区およびMDの組織強化、活動規定の整備、資金規程の確認、準地区の意思疎通、社協との締結推進、研修会への積極的参加をメインに行ってきた。特に活動規程の整備については木村リーダーサポーターのもと、3月17日に最終提案書完成、28日ガバ協にて承認された。またMD委員は準地区の委員長が担っているため、意思疎通も図られ、皆アラートの必要性を強く感じている
- MD337 グループLINEについては複合、準地区ともに利用している。12月に複合アラート会議を行った。次期は南海トラフの可能性を踏まえ準地区間の協力体制の確認を行う

■池原アドバイザーより提案事項、

- ・「報告書 (=記録)」作成の重要性、
2014年8月20日「広島大規模土砂災害」が発生した際、それぞれの役割を決め対策をスタートさせた。そして人や物、お金の動きが見える「報告書」を作成した(支援金の動き、誰がどこに物を送ったか…など)。「報告書」が「記録」になる。この内容は能登震災が起こった際の有益な情報源となり、当時いただいた支援金額を確認するなどして、能登支援のスピード化に繋がった
- ・アラート委員会の今後について、
地震や豪雨に加え、山林火災など自然災害の幅は広がり、無関心ではいけない状況となっている。日本ライオンズ発足から9年の間に、アラート委員会は年々充実した体制となってきた。さらに仕組みを広げ、研修会も活用し若手育成などを充実させていきたい

■中谷専務理事より、

- ・組織について、社団の役割は8複合の連絡調整が主体となり、事業主体は複合が担い、MD独自の体制をつくるということが大切と考える。
そして、南海トラフの対策も具体化する必要を感じている

■木村東日本統括リーダーより、

- ・各地に研修に行く、「日本ライオンズ アラート委員会の役割とは？」と尋ねられる。活動が啓蒙か・・・複合、準地区、日本アラートと、それぞれの立場ごとに明確にする必要があると感じる。規程の見直しには、これらのことを盛り込んでいただき、報告フォーマットもそれをもとに活用しやすくするのがよいと感じる。

また、能登支援の現状について、ローテーション対応の話がくるのだが、皆さんのところはどうか？
一藤井副委員長よりMD334内でローテーション支援しているのので、他地区に要請はないとの回答

5. 次回、アラート委員会開催日程 (最終・引継)

2025年6月17日(火) 14:00~15:30 (Web)

※できれば次期アラート委員予定者にも参加いただく

閉会の辞

24-25年度 アラート委員会副委員長 藤井 信英

貴重な審議ができた。

岡山火災については今週金曜日に鎮火発表ができるのではないかと伺われている。けががなく、空き倉庫が6棟燃えた状況。今治の鎮火は未定。300人程の一般ボランティアが入っている。
次回委員会で来期の引き継ぎができればと思う

以上

2025年4月8日

議事録作成人:

MD333 アラート委員 藤沼 一弘

MD337 アラート委員 高野 裕子

(2024-25年度)

第8回 アラート委員会 (Web) 「議事録」

◎日 時：2025年6月17日 (火) 14：00-15：30

◎場 所：Zoom

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

2024-25年度 理事長

2024-25年度 専務理事

2024-25年度 アラート委員長

2024-25年度 アラート委員会副委員長

松浦 淳一 (岩見沢はまなすLC) 【欠席】

中谷 豊重 (岸和田LC) 【欠席】

新里 正雄 (沖繩LC)

藤井 信英 (岡山みらいLC)

2024-25年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー

池原 堅 (福山久松LC)

佐々木 健太 (大阪若獅子LC)

木村 知紀 (青森ZFERO LC)

畑中 隆之 (岡山みらいLC)

2024-25年度 アラート委員

大屋 保 (川越LC)

浅野 敬一 (北見中央LC)

門馬 弘 (原町LC)

藤沼 一弘 (舊生LC) 【欠席】

吉田 正義 (榛南LC) 【欠席】

西尾 良典 (大阪北LC)

西尾 慎一 (鳥取LC) 【欠席】

高野 裕子 (熊本平成LC)

オブザーバー

333 複合地区次期アラート委員予定者

三枝 久夫 (佐野西LC) 【欠席】

津田 勝之 (大阪桜之宮LC)

336 複合地区次期アラート委員予定者

廿日出一晴 (東広島あきつLC) 【欠席】

若林 純也 (水戸葵LC)

MD333 アラート班長

日本ライオンズ専務理事

増澤 義治 (諏訪湖LC)

1. 開会宣言

24-25年度アラート委員会委員長 新里 正雄

毎晩熱帯夜で寝苦しい日が続いています。新年度を迎えるこの7月は特に集中豪雨の災害が多く発生しないことを祈ります。どうぞよろしく願います。

2. ご挨拶

一般社団法人日本ライオンズ 専務理事 増澤 義治

今回、松浦理事長と中谷専務理事が欠席のため代わりにご挨拶申し上げます。1年間皆さんのお力を賜りましたとありがとうございました。今日も1日よろしく願います。

3. 出席者の確認

4. 議事録作成人 (2名) の指名

MD330大屋委員、 MD331浅野委員

5. 議案

(1) アラート委員会 組織見直しについて

● 班長、副班長の廃止

〈協議内容〉

◆ アラート委員会設置時には各委員会や複合地区の委員会がなかったため、班長・副班長という制度が設けられていたが、来期のアラート委員会においては限られたメンバーでやっていただきたいと次期理事長からの要望があったため提案させていただいたと藤井副委員長より説明がなされた。

これに対し、以下のような意見があった。

【佐々木日本全域リーダー】

- ・ スリム化自体には賛成だが、既に複合地区にて来期の委嘱状が出ており、日本ライオンズの役職にもなるため、この時期に廃止をするべきではないのではないか。

- ・ 規約に沿って考えるのであれば、任期の問題も係わってくるため然るべき期間を得てまずは規約の変更を行い、再来期から廃止をするべき。

- ・ 既に人選が済んでいる地区もあるため、その方たちのことも考慮したい。

【MD332門馬委員】

- ・ 332複合地区においては、来期の体制が既に決定しているためこのタイミングで廃止すると複合地区の体制自体が変わってしまうため、再来期以降の実施でお願いしたい。来期に改めて審議してはどうか。

【MD335西尾委員】

- ・ MD335においても既に人選が済んでいる。協議する時間が必要ではないか。

【池原アドバイザー】

- ・ 人選が終わっている部分もあるため、皆さんのご意見をいただく必要は進めながら進めてはどうか。

【木村東日本統括リーダー】

- ・日本アラートの中に班長を置くのではなく、MDにおいての方が動きやすいのではないかと、MD内における実働部隊はMDで構築されるべきだと思ふ。
- ・規約内に班長・副班長については統括と相談して指名推薦とあるが相談を受けたことが無いのが現状。

【藤井副委員長】

- ・班長についてはMDの議長が任命をすることになっていることもあり、委員会そのものはスリム化して各準地区に実働部隊を設置するのがベストではないかと。
- ・規約の変更も必要になってくるので、来期（8/4以降）に改めて示せればと思っている。

【畑中西日本統括リーダー】

- ・スリム化には賛成だが、多数の地区で人選が済んでいる今のタイミングは望ましくないと感じた。

【MD330大屋委員】

- ・各MDでそれぞれ抱えている事情が異なるため、一方的に廃止というのはいさし乱暴ではないかと。
- ・組織の在り方について議論し、コンセンサスをまとめていくべきではないかと。

- ◆これらの話をうけ、新里アラート委員長より日本アラートの組織の中から班長・副班長を外せないかと再度意見を求めたところ、

【佐々木日本全域リーダー】

- ・今の時期に実施するべきではないと感じる。

【澤澤事務長】

- ・現在、委員会に班長は出席しておらず各MDにて活躍していただければよいのではないかと。

【MD330大屋委員】

- ・MD内での指名ではなく、社団より班長を任命されたという認識であるため非常に高い意識もっている。そのため、もう少し指名の在り方を考えていただきたい。

【MD337髙野委員】

- ・スリム化自体は賛成であるが、任命された時点で複数年（3年）やる認識でいるため、急な解任は避けるべき。
- ・などの声があった。

- ◆皆さんの意見を踏まえううえで、来期はこのまま進めることとし改めて議論していく。ただし、来期は組織図から班長の記載を削除させていただきたいと藤井副委員長より提案がなされたが、

【MD330大屋委員】

- ・記載を削除するべきではないと考える。記載を削除しただけではスリム化したとは言えず、入っただけでも何ら問題なく、班長の意識の向上にもつながるのではないかと。

【佐々木日本全域リーダー】

- ・スリム化は今後議論の上決定することであって、先行して組織図より削除するべきではないかと。

い。

〈決定事項〉

- ◆班長・副班長の廃止については、7/2に予定している北海道の理事会において、次期委員長に説明しご理解いただけるよう調整することとなった。
- ◆引継ぎについては、7/22～25の4日間で調整することとし、別途事務局よりご連絡差し上げることとなった。

●引継ぎについて

- ◆7月に引継ぎを実施したいと藤井副委員長より要望があった。

●その他

- ◆7月上旬ぐらいに水害が起こる可能性が高いため、各MDにて引継ぎをはじめ対応を強化していただきたい。

(2) 2026年「全国アラートフォーラム」

・次年度開催（MD335）進捗

- ◆2026年の全国アラートフォーラムについてMD335西尾委員より説明があった。

- ・2026年3月13日（金）にPM～大阪市内（梅田近辺）にて開催予定。

- ・2025年12月中には案内を出せるよう調整していく。

- ・現メンバーにて準備委員会は既に発足済みで概要等検討中であり、来期からは次期アラート委員会のメンバーも含め検討を重ねていく。

- ・今年開催したアラートフォーラムにおいて、フォーラムの前に委員長を中心とした勉強会を開催した。木村リーダー他数名の方々に講師としてご登壇いただいたが、非常に好評であったため、次年度開催のアラートフォーラムにおいても対象者をアラート関係者としてより広範囲とした勉強会をぜひ開催していただき、多くの方々に参加していただければアラートフォーラムがより有効なものに繋がっていくのではないかと大屋委員より要望があった。

- ・予算の資料やその他については、個別にMD335西尾委員より若林アラート班長にご相談いただく。

・次年度への意見・要望

【MD330大屋委員】

- ・班長に今後どういう役割をしていただくのか、役割とポジションの明確化をしたい。→7月下旬に実施予定の第1回アラート委員会にて再度協議していただく。

【MD332門馬委員】

- ・アラート委員会の組織規程が不透明な部分が多いため、明確にしていきたい。また、アラート活動予算の基幹づくりをしていきたい。今後皆さんと協議を重ねていきたいと考える。

【MD337髙野委員】

- ・アラート発動時はガバナーが1番の要となるため、アラートフォーラムには現職ガバナーに

るべく参加いただく必要があるのではないかと、参加が難しい場合は、代理を立てる等のフローを作ってはどうか。
→来期協議していく。

(3) 今後の予定

◆各MDまたは各準地区での引継ぎを早めに行なっていただきたいと藤井副委員長より再度説明があった。

(4) 各MD活動報告

◆なし

(5) その他

◆今回の会議で来期のヒントがたくさんいただけた。アラートフォーラムを最終着地点として、いいフォーラムができるよう尽力していきたいと木村東日本統括リーダーよりご意見いただいた。

(6) 次回、アラート委員会開催日程

2025年7月22日～25日の内でいずれか1日、引継ぎ会議の開催を予定したい。追ってご案内する。

6. 閉会の辞

24-25年度 アラート委員会副委員長 藤井 信英
お疲れ様でした。皆さんのさまざまな意見を聞くことができました。また来期以降、皆さまと共有しながら進め方を模索していきたいと思えます。ご協力をお願いいたします。

以上

2025年6月17日

議事録作成人:

MD330 アラート委員 大屋 隼

MD331 アラート委員 浅野 敬一

(2024-25 年度)
 一般社団法人 日本ライオンズ
 第 8 回 国際大会委員会(WEB)議事録

◎日時：2025 年 2 月 20 日(木)10:30-12:00

◎場所：Zoom システム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 松浦淳一 (岩見沢はまなす LC)
 専務理事 中谷 豊重 (岸和田 LC)

国際大会委員会

委員長 戸祭 宏樹 (鯖江山王 LC)
 副委員長 伊賀 保夫 (東京ビース LC)
 副委員長/副理事長 喜多 友一 (上田城南 LC)

各複合地区国際大会委員

330 複合地区 中嶋 文夫 (東京文化 LC)
 331 複合地区 須藤 敏幸 (伊達 LC)
 332 複合地区 高橋 寛 (和賀 LC)
 333 複合地区 岡野 良男 (土浦環 LC)
 334 複合地区 大山 恭範 (一宮 LC)
 335 複合地区 江草 長史 (和田山 LC)
 336 複合地区 市村 通夫 (鴨島 LC)
 337 複合地区 高橋 邦見 (謙早中央 LC)
 オブザーバー

MD334 公認 TC(代表)JTB 名古屋事業部 丹羽 祐太
 一般社団法人日本ライオンズ専務長 柳澤 義治 (諏訪湖 LC)

以上

◎開会宣言 国際大会委員長 戸祭 宏樹

1

- ◎出席者確認 全員の出席を確認。
- ◎議事録作成人の指名 MD330 中嶋文夫

主要議題：

1. オラード国際大会確認【2025 年 7 月 13 日(日) -7 月 17 日(木)】
 ①登録状況の報告とホテル部屋数の確定の件
 戸祭委員長より説明があった。各 MD 大会委員長より報告があり、当初の割り当て案で問題がないことを確認。
 ホテルの部屋については 335 部屋確保。昨年 500 室確保したが 100 室返したため、今回この数とした。
 335 室以上になっても対応可 (385 室まで)、335×\$ 200 のデポジット支払いは OSEAL 調整事務局を通じて行う。

②パレード・日本代議員会の件

・ 2 月 14 日開催 パレード小委員会からの報告
 大山パレード委員長より説明。
 ・ プラスバンドは 1 つのみ (候補者支援グループの後)
 ・ 候補者のアロハシャツの色を変えることを作途中。(候補者 2 名に決めていただく) そ
 の他の参加者は男女とも基本のアロハシャツに白・ベージュ系ポトムスと靴。
 違う服装で参加の場合は隊列の内側など目立たないところへ入っていただく。
 ※三三七拍子 3 回入れる (審査員席の前にて合図レバントにも音をだしてもらうので、聞
 こえる範囲の方で行う。立ち止まると減点のため、歩きながら行う)
 MD パレード係 (案) は再度作成。ブラカードは業者が作成し前日のパレード打ち合わせ
 で組み立てを行う。パレードについて最終的にはマップ等が出そろったあと、委員会にて
 決定する。

・ 頒布品注文方法について

今年度は日本ライオンズが各地区キャピネットからの注文一括販売及び問合せ窓口とな
 り、日本ライオンズに地区より注文をお送りいただく。
 締め切りは 3 月末。厳守いただきたい。
 各業者には 6 月頭発送で対応をお願いする。

③その他

パレード前日打ち合わせを 7 月 13 日 PM6:00 より約 1 時間ほど現地で開催予定。詳細

2

は未定。
12日にバレード小委員会にて実際のコースを確認予定。
オランダでの代議員会は約300人、登録料5000円程度を予定中。

2. 第62回 OSEAL フォーラム情報の確認【2025年10月23日（木）-10月26日（日）】

- ①各MD 登録状況報告
各MDより参加目標数の確認。
- ②組織委員会より共有事項

第62回 OSEAL フォーラム札幌登録方法と決済方法についての説明があった。

次回、開催日程

次回大会委員会4月2日（水）10時30分よりWEB開催。

次回までに必要なホタル部屋数と、代議員会およびその参加数を提出いただく。

◎閉会宣言 国際大会副委員長 伊賀 保夫

以上

2025年3月3日
議事録作成人
330 複合地区 中嶋 文夫

(2024-2025 年度)

第5回会則委員会 (WEB) 議事要録

日時：2025年3月21日(金) 15:00~17:00 ZOOM開催

出席者：《一般社団法人 日本ライオンズ》

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)	【欠席】
委員長・専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)	
副委員長	瀧田 浩平	(長崎南 LC)	【欠席】

《各複合地区会則委員会》

330 複合地区	森川 明治郎	(西入間 LC)	
331 複合地区	佐々木 忠康	(小樽 LC)	
332 複合地区	荒川 友成	(郡山西 LC)	【欠席】
333 複合地区	岩沼 忠同	(千葉ネオ LC)	【欠席】
334 複合地区	山本 基博	(恵那 LC)	
335 複合地区	小鍛冶 正明	(奈良西 LC)	【欠席】
336 複合地区	松岡 諒	(福山久松 LC)	
337 複合地区	高野 正勝	(佐賀葉がくれ LC)	

《オブザーバー》

日本ライオンズ事務局長 増澤 義治 (諏訪湖 LC)

① 開会宣言 会則委員会委員長 中谷 豊重

② 出席者紹介・確認

③ 議事録作成人の指名 MD331佐々木委員・MD337高野委員 を指名。

④ 前回議事録の確認

議案

1. ライオンズ必修及び2024-25年度役員必修について

中谷委員長より資料を基に説明。

ライオンズ必修の発行は、印刷の都合で年度内に間に合わず、次年度になる可能性はある。役員必修については三役研修に間に合うよう発行を目指しており、理事会で9,200部発行、頒布価格を一部650円とする決議を行ったことを報告。

MD330(森川委員)より、MD330で作成した資料について説明。MD330ではこの資料を次の年次大会に提出し承認をもらう予定。

2. 各複合地区年次大会共通提案事項の確認

各 MD への共通提案事項を確認した。本年度は無し。

MD330(森川委員)より330複合地区の現状報告あり。

賛助会費の値上げに関しては、社団からは議案上程の依頼をせず、年次大会での扱いについてはそれぞれの複合会における判断としていただく。

MD331(佐々木委員)より値上げに関して、331複合地区の対応の報告。

3. その他

●MD331(佐々木委員)より

①国際会則に準拠し、ガバナー名誉委員会を日本では、どのように運用しているのか、皆さんの意見を伺いたい。

MD330(森川委員) ……会則改正の議案の中で、ガバナー名誉委員会をガバナー名誉顧問会と名称を変更して上程する形にしている。代議員については、元地区ガバナーに投票権を与えているので、そこに吸収される。

②コンブライアンス委員会について

MD331(佐々木委員) ……331複合地区は、弁護士のライオンに加入してもらい、規定案に沿って331複合地区に合うよう改定しているが、まだ間に合わず来年度もパイロット版になる。

MD330(森川委員) ……取り組む予定はない。

MD334(山本委員) ……委員会からの提案事項として、ガバナー協議会へあける前の段階の為、断定的に答えられないが、MD336の規定を元に制定する予定。常設はせず、問題が発生した時は対応しい方々に委員会として組織を組んで対応したい。

MD335(小鍛冶委員) ……一番早かったA地区の規定に沿ってB・C地区でも検討し、今期中に統一した規定を作る予定。コンブライアンス委員会については、334複合地区と同じ方向性。

MD337(高野委員) ……前向きに取り組んでおり、地区の方は既に立ち上げているところもある。

中谷委員長 ……来年度もう一度パイロットするかどうか判断する必要がある。他の委員の意見も伺い、次回議論する。

・閉会挨拶 会則委員会委員長 中谷 豊重

※次回開催日程について※

2025年4月28日(月) 14:00~17:00 対面(日本ライオンズ事務局)

以上

議事録作成人：331複合地区 佐々木 忠康
337複合地区 高野 正勝

331 複合レベル資料

2025-2026年度 331複合地区・各準地区 予定表

2025年8月1日現在

ガバナー協議会

第1回	2025年 9月 8日(月) 札幌パークホテル
第2回	2025年11月25日(火) 京王プラザホテル札幌
第3回	2026年 3月16日(月) 京王プラザホテル札幌

各地区キャビネット会議

	第1回	第2回	第3回	第4回
A地区	2025年7月28日(月)	2025年10月30日(木)	2026年2月9日(月)	2026年4月14日(火)
B地区	2025年8月2日(土)	2025年11月8日(土)	2026年2月7日(土)Web	2026年4月11日(土)
C地区	2025年8月9日(土)	2025年11月8日(土)	2026年1月24日(土)	2026年3月14日(土)

第71回年次大会

A地区	2026年5月10日(日)	札幌パークホテル
B地区	2026年5月23日(土)	釧路市生涯学習センターまなぼっと 釧路市観光国際交流センター(晩餐会)
C地区	2026年4月25日(土)	室蘭市民会館・中嶋神社蓬峽殿(晩餐会)
複合	2026年5月31日(日)	京王プラザホテル札幌

一般社団法人日本ライオンズ 社員総会

第1回	2025年8月4日(月)	13:30-16:00	東京・AP日本橋
第2回	2025年12月8日(月)	13:30-16:00	東京・AP日本橋
第3回	2026年3月23日(月)	13:30-16:00	東京・AP日本橋
第4回	2026年6月8日(月)	13:30-16:00	東京・AP日本橋

国際大会・OSEALフォーラム

第107回国際大会	2025年7月13日(日)～17日(木)	米国・フロリダ州オーランド
第62回東洋東南アジアライオンズフォーラム	2025年10月23日(木)～26日(日)	札幌市
第108回国際大会	2026年7月3日(金)～7日(火)	中国・香港

**ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区
第 7 1 回年次大会代議員総会議案**

- 第 1 号議案 2023-2024 年度 一般社団法人日本ライオンズ会計決算報告承認の件
- 第 2 号議案 2024-2025 年度 一般社団法人日本ライオンズ上半期会計決算報告承認の件
- 第 3 号議案 一般社団法人日本ライオンズ賛助会費値上げ承認の件
趣旨説明 現行月額 80 円を今後 2 年において 40 円ずつ、計 80 円の値上げを行い最終的に賛助会費を月額 160 円とする。
2016 年 1 月より、賛助会費を月額 80 円に据え置いて来たが、昨今の経済情勢を踏まえ、組織存続の為に値上げを行う。331 複合地区年次大会代議員総会にて承認願いたい。
- 第 4 号議案 2023-2024 年度 331 複合地区会計決算報告の承認を求める件
- 第 5 号議案 2024-2025 年度 331 複合地区会計中間決算報告の承認を求める件
- 第 6 号議案 2024-2025 年度複合地区会計決算報告の審議を次年度ガバナー協議会に委譲する件
趣旨説明 本年次大会における複合地区会計報告は、大会期日が年度途中に開催されるため任期を通じての報告は不可能なので、2024-2025 年度の後期決算を含む年次決算の審議の権限を次年度ガバナー協議会に委譲することを承認願いたい。
- 第 7 号議案 2025-2027 年度国際理事候補者支援の件
趣旨説明 2025-2027 年度国際理事候補者として、334-E 地区・長野みすずライオンズクラブ所属 L 仁科 良三（にしな りょうぞう）元協議会議長、並びに 332-A 地区・八戸ライオンズクラブ所属 L 田名部 智之（たなぶ ともゆき）元協議会議長の 2 名が 8 複合地区の統一候補として決定されております。
本年 7 月 13 日よりアメリカ・オーランドにて開催される（第 107 回）国際大会において投票支援を行なうことにご賛同、ご協力を願いたい。
- 第 8 号議案 次年度複合地区年次大会開催地の件
趣旨説明 2025-2026 年度 331 複合地区年次大会の開催地は札幌市とすることを承認願いたい。

報告事項

- 第 1 号報告 2025-2026 年度ガバナー協議会議長の選任について
趣旨説明 複合地区会則第 5 条 4 項に則り、次期ガバナー協議会議長には 331-A 地区前地区ガバナー L 設楽 幸子（札幌アカシヤ LC）が選任されました。

331-C地区報告

- ライオンズクラブ国際協会331-C地区組織表
- 331-C地区関連年間行事予定表
- 331-C地区クラブ周年行事予定表
- キャビネット備品引継品一覧



ライオンズクラブ国際協会331-C 室蘭キャビネット 組織表(案)

〒050-0083 室蘭市東町5丁目15番18号 2F
TEL (0143) 84-1411 FAX (0143) 84-1422 事務局員 杉田・野澤
E-mail: lc331c_muroran-cae@lionesc331c.org

LCI日本
サブエリアリーダー
L及川 隆人
(室蘭キャビネット)

相談役
元地区ガバナー
L本所 光男
L須藤 敬幸
(伊達LC)

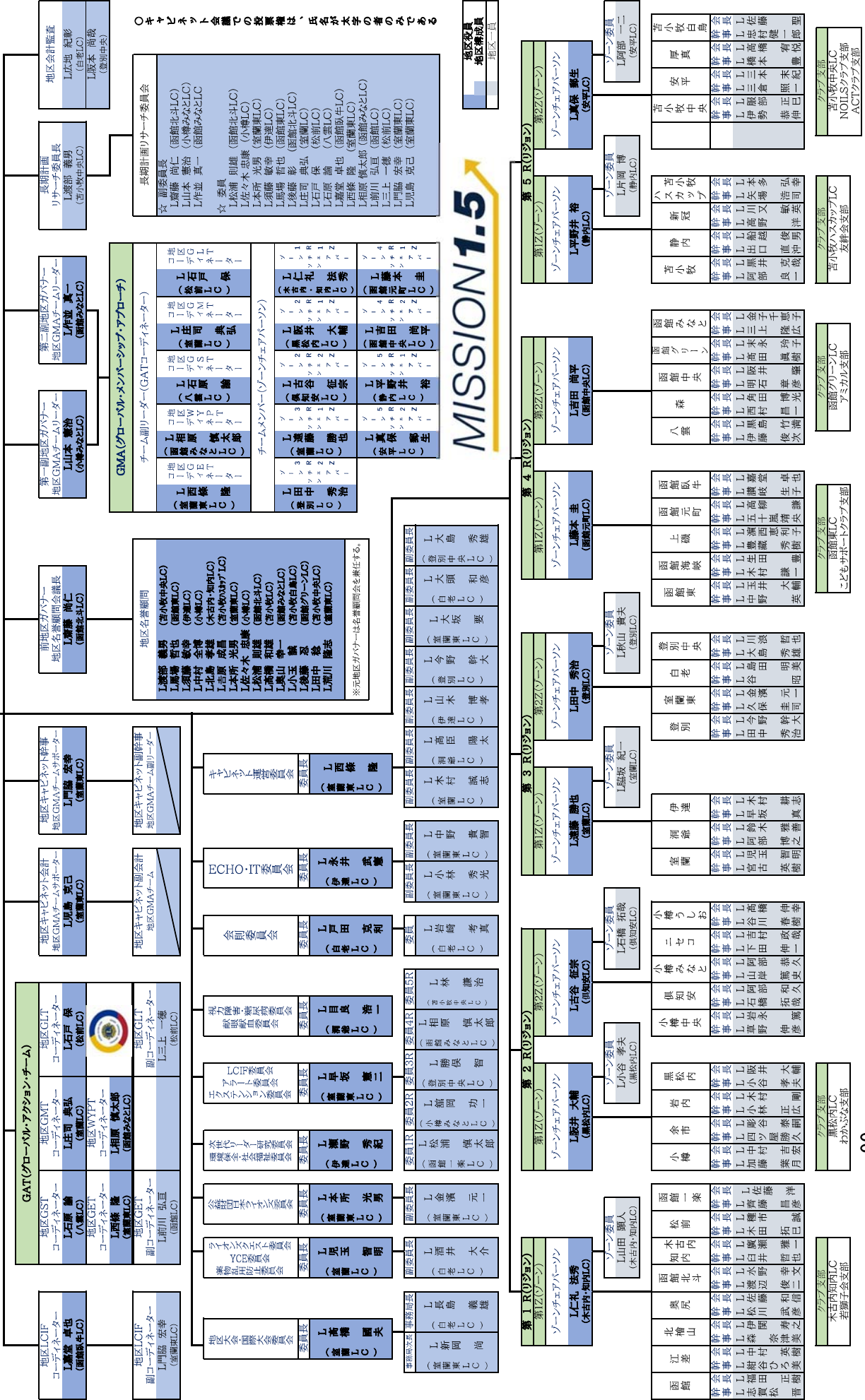
地区ガバナー
GATファシリテーター
地区GMAチアムリーダー
L高橋 伸介
(室蘭東LC)

地区ガバナー
スロージャー
L山本 謙治
(小樽みなとLC)

誇りをもち 未来へつなぐ奉仕の心
「Take Action」行動起こす
「キーワード」

国際会長 A.P.シン (インド)

Lead to Serve Serve to Lead
「キーワード」



○キャビネット会議での投票権は、氏名が赤字の者のみである

331-C地区関連年間行事予定表

(1) 研修会

次期ZC・Z委員・委員長研修会 次期クラブ三役、事務局研修会	2025	6月18日(水)	蓬峯殿	室蘭市
-----------------------------------	------	----------	-----	-----

(2) 国際大会

第107回国際大会	2025	7月13日(日)～ 7月17日(木)	オーランド	アメリカ
第108回国際大会	2026	7月3日(金)～ 7月7日(火)	香港	中国

(3) キャビネット会議

第1回キャビネット会議	2025	8月9日(土)	蓬峯殿	室蘭市
第2回キャビネット会議	2025	11月8日(土)	蓬峯殿	室蘭市
第3回キャビネット会議	2026	1月24日(土)	蓬峯殿	室蘭市
第4回キャビネット会議	2026	3月14日(土)	蓬峯殿	室蘭市

(4) ガバナー協議会

第1回ガバナー協議会	2025	9月8日(月)	札幌パークホテル	札幌市
第2回ガバナー協議会	2025	11月25日(火)	京王プラザホテル	札幌市
第3回ガバナー協議会	2026	3月16日(月)	京王プラザホテル	札幌市

(5) オセアルフォーラム

東洋・東南アジアフォーラム	2025	10月23日(木)～ 10月26日(日)	札幌市	日本
---------------	------	-------------------------	-----	----

(6) 331-C地区年次大会

LCIFゴルフ・ボウリング大会前夜祭 代議員会・記念式典・懇親会	2026	4月24日(金)～ 4月25日(土)	室蘭市民会館 /蓬峯殿/他	室蘭市
-------------------------------------	------	-----------------------	------------------	-----

(7) 331-C地区引継会

現/次期コーディネーター 現/次期ゾーンチェアパーソン 現委員長・次期委員長	2026	4月26日(日)	室蘭市民会館	室蘭市
--	------	----------	--------	-----

(8) 331MD地区年次大会

代議員会・大会式典 懇親会	2026	5月31日(日)	京王プラザホテル	札幌市
------------------	------	----------	----------	-----

(9) ガバナー公式訪問

公式訪問	2025	別紙	別紙	別紙
------	------	----	----	----

331-C地区クラブ周年行事予定表

(2025年7月 ~ 2026年6月)

クラブ名	創立	開催月日	曜日	開催場所
函館中央	55周年	2025年9月14日	(日)	プレミアムホテル CABINPRESIDENT
倶知安	65周年	2025年9月27日	(土)	ホテル第1会館
余市	65周年	2025年10月25日	(土)	服部斎場 法要館 北しりべ
洞爺	65周年	2025年11月22日	(土)	洞爺湖万世閣ホテル レイクサイドテラス
八雲	65周年	2025年11月22日	(土)	八雲 遊楽亭
室蘭東	65周年	2025年11月29日	(土)	蓬峯殿
苫小牧ハスカップ	35周年	2026年4月11日	(土)	グランドホテル ニュー王子
小樽みなと	65周年	2026年5月23日	(土)	グランドパーク 小樽
苫小牧中央	55周年	2026年5月30日	(土)	グランドホテル ニュー王子
静内	65周年	2026年5月頃予定		未定
苫小牧白鳥	50周年	2026年6月6日	(土)	グランドホテル ニュー王子

《引き継ぎ品一覧》

- 1 リボン赤 (中) 18個 リボン白 (中) 7個 リボン赤 (小) 10個
- 2 シェブロンモナーク 1箱
- 3 過去の会議ファイル 1箱
- 4 腕章 60個
- 5 LCIF 1箱
- 6 投票箱 5個
- 7 ガバナーキー
- 8 式典用名札プレート 115ヶ
- 9 ジュラルミンケース 3ケース (過去資料・LCIF 議事録)
- 10 投票パーテーション 4
- 11 CAB 旗 1組
- 12 献花台
- 13 お盆 1ヶ
- 14 目録 1ヶ
- 15 ガバナー印 1ヶ
- 16 年次大会 DVD 51・52・55・61・69・70 回
- 17 キャビネット事務局看板
- 18 ライオンマーク (大) 1ヶ (小) 1ヶ
- 19 LCIF キット 1組
- 20 国旗 2ヶ
- 21 ライオンズ旗 1ヶ
- 22 会議用卓上名札 77ヶ
- 23 大会ブラカード (室蘭キャビネット引継ぎ済)
- 24 パンチ (強力) 1台
- 25 ホチキス (強力) 1台
- 26 テプラ本体 1台
- 27 裁断機 (強力) 1台
- 28 シュレッダー 1台

2025年 7月 日

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区

2024-2025 年度

地区ガバナー

齋藤尚仁



幹事

後藤彰

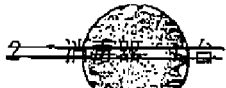


ライオンズクラブ国際協会 331-C

《引き継ぎ品一覧》

次々期小樽キャビネットへ

1 掛時計 2ヶ



4 冷蔵庫 1台

5 FFストーブ 1台


6 月予定表 1枚

7 月3×6ホワイトボード 1枚

2025年 7月 〃 日

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区

2024-2025 年度

地区ガバナー 齋藤尚仁 

幹事 後藤彰 

マンスリーレポート

(2025.3~2025.6)

LCIF状況

(2025.3~2025.6)

LCIF献金実施状況一覧 2025年3月度

R	Z	クラブ名	MJF一括		MJF分割		その他個人		その他クラブ		LCIF合計		期首からの累計	
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	1	函館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	1,462
		江差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		北檜山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		奥尻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館一楽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	940
		函館北斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	8,796
		木古内知内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	3,934
R合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	115	17,138	
2	1	小樽	0	0	37	259	0	0	0	0	37	259	76	1,895
		余市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	1,833
		岩内	0	0	3	300	0	0	0	0	3	300	12	3,306
		黒松内	0	0	0	0	0	0	1	120	1	120	2	433
	2	小樽中央	0	0	17	340	0	0	0	0	17	340	19	685
		倶知安	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	1,699
		小樽みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80	768
		ニセコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87	2,001	
		小樽うしお	0	0	0	0	0	0	1	167	1	167	28	1,000
R合計			0	0	57	899	0	0	2	287	59	1,186	408	13,620
3	1	室蘭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	2,303
		洞爺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	132	3,822
		伊達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4,869
	2	登別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	331
		室蘭東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	86	56,788
		白老	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	3,300
R合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	303	71,744	
4	1	函館東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	1,208
		函館海峡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		上磯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1,705
		函館元町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	992
	函館臥牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	342	
	2	八雲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1,915
		森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
函館中央		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	562	
		函館グリーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		函館みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1,222	
R合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	89	7,946	
5	1	苫小牧	0	0	17	119	0	0	0	0	17	119	53	713
		静内	0	0	48	960	0	0	0	0	48	960	97	1,702
		門別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		新冠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	1,394
	苫小牧ハス	0	0	23	161	0	0	1	70	24	231	75	5,943	
	2	むかわ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	2,938
		苫小牧中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	185	15,065
安平		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	3,379	
		厚真	0	0	0	0	0	1	187	1	187	30	3,366	
		苫小牧白鳥	0	0	46	322	0	0	0	0	46	322	141	3,202
R合計			0	0	134	1,562	0	0	2	257	136	1,819	737	37,702
地区合計			0	0	191	2,461	0	0	4	544	195	3,005	1,652	148,150

LCIF献金実施状況一覧 2025年4月度

R	Z	クラブ名	MJF一括		MJF分割		その他個人		その他クラブ		LCIF合計		期首からの累計	
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	1	函館	0	0	1	7	0	0	0	0	1	7	17	1,469
		江差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		北檜山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		奥尻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館一楽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	940
		函館北斗	0	0	1	7	0	0	0	0	1	7	30	8,803
		木古内知内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	3,934
松前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	2,006		
R合計			0	0	2	14	0	0	0	0	2	14	117	17,152
2	1	小樽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76	1,895
		余市	0	0	3	27	0	0	0	0	3	27	54	1,860
		岩内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	3,306
		黒松内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	433
	2	小樽中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	685
		倶知安	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	1,699
		小樽みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80	768
ニセコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87	2,001		
小樽うしお	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	1,000		
R合計			0	0	3	27	0	0	0	0	3	27	411	13,647
3	1	室蘭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	2,303
		洞爺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	132	3,822
		伊達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4,869
	2	登別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	331
		室蘭東	0	0	4	28	0	0	0	0	4	28	90	56,816
		白老	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	3,300
登別中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	331		
R合計			0	0	4	28	0	0	0	0	4	28	307	71,772
4	1	函館東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	1,208
		函館海峡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		上磯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1,705
		函館元町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	992
		函館臥牛	0	0	1	7	0	0	0	0	1	7	5	349
	2	八雲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1,915
		森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	562
函館グリーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
函館みなと	0	0	1	13	0	0	0	0	1	13	3	1,235		
R合計			0	0	2	20	0	0	0	0	2	20	91	7,966
5	1	苫小牧	0	0	1	186	0	0	0	0	1	186	54	899
		静内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	97	1,702
		門別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		新冠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	1,394
		苫小牧ハス	1	5,000	2	80	0	0	0	0	3	5,080	78	11,023
	2	むかわ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	2,938
		苫小牧中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	185	15,065
安平	0	0	1	7	0	0	0	0	1	7	32	3,386		
厚真	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	3,366		
苫小牧白鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	141	3,202		
R合計			1	5,000	4	273	0	0	0	0	5	5,273	742	42,975
地区合計			1	5,000	15	362	0	0	0	0	16	5,362	1,668	153,512

LCIF献金実施状況一覧 2025年 5月度

R	Z	クラブ名	MJF一括		MJF分割		その他個人		その他クラブ		LCIF合計		期首からの累計	
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	1	函館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	1,469
		江差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		北檜山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		奥尻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館一楽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	940
		函館北斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	8,803
		木古内知内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	3,934
R合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	117	17,152	
2	1	小樽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76	1,895
		余市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	1,860
		岩内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	3,306
		黒松内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	433
	2	小樽中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	685
		倶知安	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	1,699
		小樽みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80	768
R合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	411	13,647	
3	1	室蘭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	2,303
		洞爺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	132	3,822
		伊達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4,869
	2	登別	0	0	0	0	0	0	1	70	1	70	12	401
		室蘭東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90	56,816
		白老	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	3,300
R合計			0	0	0	0	0	0	2	126	2	126	309	71,898
4	1	函館東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	1,208
		函館海峡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		上磯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1,705
		函館元町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	992
		函館臥牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	349
	2	八雲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1,915
		森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	562
R合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	91	7,966	
5	1	苫小牧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	899
		静内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	97	1,702
		門別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		新冠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	1,394
	苫小牧ハス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78	11,023	
	2	むかわ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	2,938
		苫小牧中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	185	15,065
安平		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	3,386	
R合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	742	42,975	
地区合計			0	0	0	0	0	0	2	126	2	126	1,670	153,638

LCIF献金実施状況一覧 2025年 6月度

R	Z	クラブ名	MJF一括		MJF分割		その他個人		その他クラブ		LCIF合計		期首からの累計		
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
1	1	函館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	1,469	
		江差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		北檜山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		奥尻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		函館一楽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	940	
	2	函館北斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	8,803	
	木古内知内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	3,934	
		松前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	2,006	
		R合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	117	17,152	
2	1	小樽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76	1,895
		余市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	1,860
		岩内	0	0	0	0	0	0	0	1	620	1	620	13	3,926
		黒松内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	433
		2	小樽中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	685
		倶知安	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	1,699
		小樽みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80	768
		ニセコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87	2,001
		小樽うしお	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	1,000
				R合計	0	0	0	0	0	0	1	620	1	620	412
3	1	室蘭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	2,303
		洞爺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	132	3,822
		伊達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4,869
	2	登別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	401
	室蘭東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90	56,816	
	白老	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	3,300	
	登別中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	387	
		R合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	309	71,898	
4	1	函館東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	1,208
		函館海峡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		上磯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1,705
		函館元町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	992
		函館臥牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	349
	2	八雲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1,915
	森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	函館中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	562	
	函館グリーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	函館みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1,235	
		R合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	91	7,966	
5	1	苫小牧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	899
		静内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	97	1,702
		門別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		新冠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	1,394
	苫小牧ハス	0	0	6	600	0	0	0	0	0	0	6	600	84	11,623
	2	むかわ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	2,938
	苫小牧中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	185	15,065	
	安平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	3,386	
	厚真	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	3,366	
苫小牧白鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	141	3,202		
		R合計	0	0	6	600	0	0	0	0	6	600	748	43,575	
		地区合計	0	0	6	600	0	0	1	620	7	1,220	1,677	154,858	

就任挨拶・活動方針

- 第一副地区ガバナー
- 第二副地区ガバナー
- 地区コーディネーター
- 地区ゾーンチェアパーソン
- 地区委員長

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区

第 1 副地区ガバナー就任挨拶

331-C 第 2R 第 2Z

小樽みなとライオンズクラブ

L 山本 憲治

この度、歴史と伝統あるライオンズクラブ国際協会 331-C 地区第 1 副地区ガバナーに、就任させて頂きました。

第 2 副地区ガバナーから引き続きよろしくお願いいたします。

良き歴史と伝統を常に引き継ぎながら、ライオンズクラブの新しい未来を創って往くために手を携えて役員・メンバーが一丸となって前進してゆきたいと思えます。

慢性的な物価の高騰、人手不足など世の中の環境が、先が読めない状態ではありますが、各クラブのメンバーの皆様は、例会は当然の事アクティビティーも実施出来まして、充実したライオンズ活動の日々を過ごされている事と思えます。ライオン本来の活動に近付きつつありますが、慢性的な会員不足に悩まされ、今がまさに正念場の時と考えます。今までより一層、日頃からのコミュニケーションを大切にして、各コーディネーターをはじめとしてキャビネットメンバーと連携し頑張りたいと思えます。また、各クラブのメンバーが、和気藹々とライオンズ活動を楽しみ実施できますよう頑張りたいと思えます。

L 高橋伸介ガバナーの活動方針にのっとり各クラブと連携を図り共に学びながらクラブ運営の一助となるよう頑張りたいと思えます。

不慣れな面の皆様にはご迷惑をおかけする場面も多々有ろうかと思えますが、共に勉強させて頂くつもりで頑張りたいと思えます。

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区 第二副地区ガバナー就任のご挨拶

謹啓

新緑の候、ライオン各位におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

このたび、ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区 第二副地区ガバナーを拝命いたしました、函館みなとライオンズクラブ所属のL作並真一でございます。身に余る大役に、責任の重さをひしひしと感じておりますが、微力ながら地区の発展とクラブの活性化のため、誠心誠意努めてまいり所存でございます。

私たちライオンズクラブは、創設以来、「We Serve（我々は奉仕する）」という高邁な理念のもと、地域社会に貢献し、世界の人々のために尽力してまいりました。とりわけ現代においては、社会課題が多様化・複雑化するなか、私たちに求められる役割はますます大きくなっております。

そのような中で、私は「奉仕の心を次世代へつなぐ」ことを使命とし、ベテラン会員の叡智と経験を大切にしながら、若い世代の参加と育成にも力を注いでまいりたいと考えております。また、クラブ間の連携や情報共有をさらに促進し、地区全体の絆を深める活動にも取り組んでまいります。

結びに、皆様のご指導とご支援を心よりお願い申し上げますとともに、各クラブのますますのご発展と、ライオン各位のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

謹白

令和7年（2025年）6月25日
ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区
第二副地区ガバナー L作並真一

令和7年7月4日

キャビネット就任挨拶

長期計画リサーチ委員会 委員
公益財団法人日本ライオンズ委員長
室蘭東ライオンズクラブ 本所 光男

令和5年6月22日 行きつけの寿司屋で高橋伸介ガバナーが第二副地区ガバナーを満面の笑みで快諾したあの光景はとても清々しく素晴らしい時間でありました。

室蘭キャビネットの開催に当たり試行錯誤が有った事でしょうが高橋伸介ガバナー素晴らしい室蘭キャビネットをスタート致しました。本当におめでとうございます。

さて私、ガバナーから 長期計画リサーチ委員会 委員 公益財団法人日本ライオンズの委員長を拝命致しました

長期計画リサーチ委員会では C 地区に置かれている難題が有りましたら全力で取り組んでいきたいと思っております。

公益財団法人日本ライオンズは今年初めて地区に委員長・副委員長を設置された委員会です。副委員長は室蘭東ライオンズクラブ会長 金濱 元一ライオンです。

公益財団法人日本ライオンズは様々な奉仕活動及び人道支援を通じて社会的弱者及び生活困窮者に対する救済や支援をしています。

並びに青少年の健全な教育に関する事業に特化した今期5年の組織です。

主な事業内容は

- 1) 全国の約1,000校の特別支援学級を対象とした全国的なフットサル大会
- 2) 子供たちを手助けし閉ざされた心に手を差し伸べる寺子屋事業
- 3) 他多数

支援金を地区でお願いしなさいとの事です

ガバナーと相談の上対策を考えたいと思います。

お金のことで少し気が重いですがガバナーの指示どおりに頑張ります。

一年間宜しくお願い申し上げます。

高橋ガバナー 室蘭キャビネットのご隆盛を祈念申し上げます。

役員就任挨拶

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区
キャビネット幹事 L門協 宏幸

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区

2025年7月～2026年6月キャビネット幹事を拝命致しました室蘭東ライオンズクラブ所属のL門協宏幸です。

この様な大役を自分が勤め上げられるのか不安だらけでしたが、お受けした以上皆様になるべくご迷惑をお掛けしないように頑張っていく所存でございます。

1年間どうぞよろしくお願い致します。

役員就任挨拶

地区キャビネット会計
L児島 克己（室蘭東LC）

この度、L高橋伸介地区ガバナーのもとキャビネット会計を拝命する事となりました。

室蘭東LC所属のL児島 克己でございます。

大変責任のある立場であり、身の引き締まる思いでございます。

ガバナースローガンである「誇りを持つとう未来へつなぐ奉仕の心」

を常に忘れず、ライオンとしての誇りを持ち、明朗な会計で

しっかりと職務をこなして行けるよう覚悟を持って行動をしたい

と思います。

昨今は日々世界情勢が変化しておりますが、L同志力を合わせ

この難局を乗り越え、ライオンズクラブの発展に尽力していただ

きたいと思います。

明るく元気のあるキャビネットとして、一年間頑張っ

ていきたいと思っております。

331-C地区の皆様のご協力、宜しくお願い申し上げます。

【地区 GMT コーディネーター就任挨拶】

地区 GMT コーディネーター
L 庄司 典弘（室蘭 LC）

この度、地区 GMT（グローバルメンバーシップチーム）コーディネーターを拝命致しました。室蘭 LC 所属の L 庄司典弘です。2023 年度も務めさせていただき今回 2 回目ということで、ミッション 1.5 を達成するべく使命を感じております。高橋新ガバナーの元 ガバナー目標会員純増 30 名以上・新クラブ設立 1 クラブ以上・クラブ支部設立 1 クラブ以上の目標を達成に向けた活動を他コーディネーターと協力して、行っていく所存でございます。この役割を全うできるよう努力いたしますので、皆様のご協力もよろしく申し上げます。

【活 動 方 針】

GMT コーディネーターとしての主な役割は会員純増、会員維持（退会防止）であるが GET の役割であるクラブ新設も兼務して活動していきたいと考えております。

昨年度の会員動静を見ると、結果 89 名減の会員数 1387 名（解散クラブ 1）の結果に終わっていることから、少しでも昨年度末会員数に近づける努力をしないとこのままずるずると減少が続いていく感じがします。今年度は GST コーディネーター（奉仕活動の強化）WYPT コーディネーター（クラブ支部新設特に若手会員中心の）と共に、各 R の諮問会議に第一回キャビネット会議終了後、各 ZC に依頼をして訪問して現状況の確認を含めて、会員増強依頼を行っていききたいと考えております。

【地区GLTコーディネーター就任挨拶】

L 石 戸 保 （松前LC）

このたび、ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区 GLT コーディネーターを拝命いたしました。身に余る光栄であると同時に、その重責に身の引き締まる思いであります。GLT の役割は、クラブの未来を担うリーダーの育成と、会員の皆様が持つ可能性を引き出し、高めていくことにあります。会員一人ひとりの学びと成長こそが、クラブの活性化、さらには地域社会への継続的な貢献につながると信じております。

これからの時代、私たちライオンズクラブも変化への対応が求められます。そのためには、柔軟な発想と行動力を備えたリーダーの存在が不可欠です。GLT として、地区ガバナーと緊密に連携しながら、地区全体の方針や目標に沿ったリーダー育成を進めてまいります。また、各クラブとも積極的に意見交換を行い、現場の声を大切にしながら、より実践的で効果的な研修やセミナー、ワークショップを企画・実施していく所存です。

会員の皆様が学びを通じて自信と誇りを持ち、仲間と共に支え合いながら地域に貢献していける、そんなクラブづくりを目指してまいります。今後とも、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

【活動方針】

GLT（グローバル・リーダーシップ・チーム）コーディネーターとして、私の活動方針は「学びを力に、リーダーを育て、クラブを活性化する」ことにあります。ライオンズクラブの未来は、次世代を担うリーダーの存在にかかっており、そのための人材育成が急務です。

まず、地区ガバナーと緊密に連携し、地区全体の方針を踏まえたリーダーシップ研修や役員研修を計画・実施いたします。研修内容は、クラブ運営に即した実践的なものとし、リーダーとして必要な知識とスキルだけでなく、仲間と共にビジョンを描き、行動する力を養うことを重視します。

また、GLT 単独ではなく、GMT（会員増強）・GST（奉仕活動）と連携した三位一体の取り組みにより、会員のエンゲージメント向上とクラブ活性化を目指します。加えて、若手会員や女性会員がより活躍できる環境づくりも推進してまいります。

各クラブの実情に応じたサポートを行い、双方向のコミュニケーションを大切にしながら、「人が育ち、人がつながる」地区を築いてまいります。これらの取り組みを通じて、ライオンズの誇りと喜びを実感できる、持続可能な地区運営に貢献してまいります。

【地区 GST コーディネーター就任挨拶】

地区 GST コーディネーター
L 石原 諭 （八雲 LC）
（2025～2026）

昨年度に引き続き地区 GST（グローバル奉仕チーム）コーディネーターを仰せつかりました。八雲 LC 所属の L 石原 諭です。地区 GST コーディネーターの役割として、クラブが情報や資料を特定し、奉仕事業をより良いものにし、昨年度よりも更にインパクトを高めるノウハウを活用できるよう支援します。内容の充実した奉仕事業は、会員の満足度を高め、奉仕をしたいと考えている新たな会員の勧誘にも役に立つと思います。クラブ会員の皆様のお役に立ち、地区の発展に貢献できるよう役割を全うする所存でございますので、一年間どうぞ宜しくお願い致します。

【 活 動 方 針 】

〈 活動内容 〉

- 地区ガバナー基本方針の中で打ち出されました**今期の奉仕活動**の推進。
- 地区 GMT および GLT コーディネーター、ならびに地区 GAT（グローバル・アクションチーム）ファシリテーター（地区ガバナー）と連携し、指導力育成、会員維持および増強、人道奉仕の拡大に重点を置いた取り組みを推進。
- 各クラブの皆様の奉仕活動報告のための **Lion Portal 活用**を推進していきます。
- 地域社会へのインパクトを高めるための共同奉仕事業の提案を行い、地区内の活性化を図る。

【地区GETコーディネーター就任挨拶】

L 西 條 隆（室蘭東ライオンズクラブ）

今期、地区GET(グローバル・エクステンション・チーム)コーディネーターを務めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2022年にGMTより派生し、翌年度から設置された新しいコーディネーターでエクステンション(新クラブ結成)もしくはそれに関わる取り組みをリードすることが大きな目的となります。「ミッション1.5」達成に向けてGATファシリテーター(地区ガバナー)のもとGMTをはじめとするGAT(グローバル・アクション・チーム)メンバーとZC(ゾーンチェアパーソン)とともに力を合わせて、GMA(グローバル・メンバーシップ・アプローチ)の手法を通じて地区内クラブの皆様と連携をはかり、楽しく地域とともに発展していけるよう精一杯努めてまいります。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

【活動方針】

① MISSION1.5 への取組

- ・国際目標 2027年7月までに全世界で会員150万人達成を目指す
- ・地区内目標 新会員151名 純増30名

② 新クラブ(支部クラブ)結成

- ・キャンパスクラブ(支部)設立

③ その他必要と思われる事項

- ・ライオンポータルを活用、Learn(学習センター)の受講や諸手続きの確認
- ・メンター(教育係)の育成、ガイディングライオン講習の受講やご案内
- ・その他関連諸会議への参加

【地区 WYPT コーディネーター就任挨拶】

L 相原 慎太郎（函館みなとライオンズクラブ）

本年度、キャビネット WYPT（Women & Young People Team）コーディネーターを拝命いたしました、函館みなとライオンズクラブ所属の L 相原慎太郎でございます。

ライオンズクラブが掲げる「We Serve」の精神のもと、私たちは今、未来の奉仕を担う女性と若者の会員増強を最重要課題の一つとして取り組んでまいります。

少子高齢化や地域のつながりの希薄化が進む中で、次世代のライオンを育てること、そして多様な視点をクラブに取り入れることは、持続可能な奉仕活動の鍵であります。特に女性の感性や若者の行動力を活かし、「入りやすく、続けやすいクラブづくり」を目指してまいります。

そのためには、まず私たち自身が、ライオンズの魅力を伝える「語り手」となり、職場や地域、学校や家庭など、さまざまな場面で自然なつながりを生み出していくことが大切です。

「誰かのために、何かをしたい」—そう思っている人たちに、一歩踏み出してもらえるよう、皆さまと連携しながら、明るく前向きに活動を進めてまいります。

皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

We Serve

【LCIF 地区コーディネーター就任挨拶】

331-C 地区 地区 LCIF コーディネーター
L 嘉堂 卓也（函館臥牛 LC）

今期、LCIF 地区コーディネーターを務めさせていただきます函館臥牛 LC L 嘉堂です。今期も前期同様目標 15 万ドルという大きな数字を掲げることになりました。昨今、各地で紛争や災害に見舞われる地域が増え、我々の LCIF 基金がとても重要なものとなっております。皆さん共通の大義であります奉仕の心でどうかこの助けが必要な時に皆さんの力を分けていただきたいと思います。目標の数字は私一人の力では到底到達できない数字です。皆さんにご理解いただけるように努めます。今期 1 年間宜しくご協力のほどお願い致します。

【活動方針】

昨期は GMT コーディネーターを務めておりましたが大量退会を防ぐことができず責任を痛感しております。

今期は目標達成に向けて努力します

向かうところとしましてはまずはガバナー方針に則り、

15 万ドルの献金目標です。会員が減る中で 1 人当たりの額は増えていますが MJF も前期より 10 名程度増やす目標設定があるので何とか近づけたいと思っております。

なかなか理解を得ることが難しい部門ですが副コーディネーター、ZC や委員長、副委員長と協力して進めてまいりたいと思います。

1 年という短い期間での活動になりますが、皆様のご協力を頂きながらご指導いただければ有難いです。

【地区GLT副コーディネーター就任挨拶】

L三上 一徳（松前LC）

このたび、ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区 GLT 副コーディネーターを拝命いたしました。身に余る光栄であり、その責任の重さをあらためて感じております。

GLT の使命は、ライオンズの未来を担うリーダーの育成と、クラブ運営の質的向上にあります。私は、副コーディネーターとして、コーディネーターと力を合わせ、地区ガバナーの方針のもと、各クラブがより活発に、そして継続的に活動を展開できるよう、全力で支援してまいります。

特に、会員一人ひとりが「自分の成長がクラブの力につながる」と実感できるような、実践的で参加しやすい研修の充実を目指します。また、各クラブの実情に寄り添いながら、対話を重ね、共に学び合える関係づくりを大切にしていまいります。

今後とも、皆様のご理解とご協力、そしてご指導を賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

【地区GET副コーディネーター就任挨拶】

L 前川 弘亘（函館ライオンズクラブ）

皆さま、こんにちは。

本年度、GET（会員増強・維持）副コーディネーターを拝命いたしました、函館ライオンズクラブ所属のL前川弘亘でございます。

このたび、キャビネットにおいてこのような重要な役職を仰せつかり、身の引き締まる思いとともに、ライオンズクラブのさらなる発展に貢献できますよう尽力してまいります。

ライオンズクラブの未来を担うためには、新しい仲間の獲得と、今いる会員の皆さまが誇りとやりがいをもって活動を継続していただける環境づくりが何よりも大切です。そのために、各クラブの皆さまとしっかり連携し、現場の声を大切にしながら、着実な取り組みを進めてまいります。

微力ではございますが、皆さまと共に“WE SERVE”の精神のもと、一步一步歩みを進めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

LCIF副コーディネーター就任挨拶

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区
LCIF副コーディネーター L門脇 宏幸

今年度LCIF副コーディネーターに拝命されました室蘭東ライオンズクラブ所属のL門脇でございます。

LCIFコーディネーターL嘉堂の副として今年度ガバナーの目標達成に向けて邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

【ゾーンチェアパーソン就任挨拶】

第1R第1Z

ZC L仁礼 法秀（木古内・知内LC）

この度331C-1R-第1リジョンのZCに襲名させて頂きました。皆様もご存知の通り第1リジョンは、北海道に於いて高齢化率ワースト3に松前町・福島町（LC解散）・木古内町、他の地域も同じ様な過疎も進んでいるリジョンです。

生活に負担にならない様に現状の維持を志にかけてLC活動を勧めて行きますので、宜しく御協力お願い致します。

【 ゾーンチェアパーソン活動方針 】 2025.06.27

担当ゾーンの責任者として各クラブ間との繋がりをより充実にし、地域社会に貢献できるようクラブへの支援・調整・成長を促す役割を果たすと共に、地区ガバナーの意向が反映されるようクラブ担当者にご理解を頂きながら、キャビネットと連動できるよう調整役に努め、地区ライオンズクラブの更なる発展を目指します。

“ We Serve ” の精神を原点に、アクティビティ（地域奉仕活動）の活性化に向けて協議、連携を図る共に、クラブメンバー1人1人が楽しめる居場所となるクラブづくりに貢献できればとの思いです。クラブの雰囲気や和気藹々となれば、新たなメンバーを迎い入れられる組織づくりを構築できるものと考えていますので、各クラブ関係者皆様の御協力を是非とも宜しくお願い申し上げます。

「 所属クラブの繁栄無くしてライオンズ国際協会の繁栄無し 」

- ① 現在の会員
- ② 新会員増強目標
- ③ 在籍5年未満の会員数
- ④ 今期の在籍5年未満のライオン研修開催の予定（研修内容を教えてください）
- ⑤ 今年度の会長スローガン
- ⑥ 今年度の会長方針
- ⑦ 今年度の改革方針
- ⑧ アクティビティ内容
- ⑨ アクティビティ新規
- ⑩ 継続アクティビティの見直しはありますか

第1回ガバナー諮問委員会(ゾーン会議)開催予定日: 8月9日(土)
開催場所 未定
※ セミナー開催の内容

(ZCへの質問) ⑪ ゾーンチェアパーソンの目標は?

クラブ名	会員動向	今年度の活動目標・改革目標	アクティビティ	ゾーンチェアパーソン目標
函館LC	① 期首 21名 (家族会員 7名) (女性会員 7名) 正会員 14名 ② 新会員増強目標 2名 (一般会員 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 1名 ④ 現在は予定なし、新会員が入ってから予定組みます。 ⑤ 小さな奉仕から ⑥ クラブ内の結束強化。 ⑦ 特に無し	⑧ ホタル観賞会・チャリティーワイン 献血ACT・施設へタオル寄贈 ⑨ 有・無 新規ACT内容 フードバンクへの食品贈呈を予定 ⑩ 有・無 内容	⑪
江差LC	① 期首 7名 (家族会員 2名) (女性会員 3名) 正会員 5名 ② 新会員増強目標 1名 (一般会員 1名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ ④ ⑤ win-win町とクラブでウィ・サーブ キーワード win-win ⑥ 地元を大切に! ⑦ まだ前地区ガバナーで行動するから動かないので、改革はない。	⑧ ・江差町、上ノ国町の新1年生へ記念品贈呈 ・江差LC杯争奪少年軟式野球大会主催 ・ミナナ基金・グリーンアップ ⑨ 有・無 新規ACT内容 ⑩ 有・無 内容	⑪
北桜山LC	① 期首 26名 (家族会員 6名) (女性会員 5名) 正会員 名 ② 新会員増強目標 1名 (一般会員 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ ④ ⑤ 奉仕の胞子を放射 sey-yow ほし ⑥ 奉仕の投資で輝く地球 ⑦ 地球愛	⑧ ・例年通り ⑨ 有・無 新規ACT内容 ⑩ 有・無 内容	⑪
奥尻LC	① 期首 名 (家族会員 名) (女性会員 名) 正会員 名 ② 新会員増強目標 名 (一般会員 名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	⑧ ⑨ 有・無 新規ACT内容 ⑩ 有・無 内容	⑪
函館北斗LC	① 期首 30名 (家族会員 5名) (女性会員 6名) 正会員 26名 ② 新会員増強目標 5名 (一般会員 2名) (家族会員 2名) (女性会員 1名)	③ 5名 ④ 検討中 ⑤ We serve as One Team! ワンチームでウィサーブ ⑥ 第一に新入会員を入会させるべく、会員ひとりひとりに働きかけ 何とか会員増強を実現させたい ⑦ 会員増強はもちろんのこと、退会者を極力出さないようにつとめる 出席率控除のため、例会の内容を充実させ、楽しいものにしていき そのほか、新規ACTを考える	⑧ 献血ACT(春と秋 年2回) 少年武道大会 函館盲学校における運動会のための グラウンド整備、他 ⑨ 有・無 新規ACT内容 「モルック競技」への協賛等を検討 ⑩ 有・無 内容 少年野球大会	⑪
木古内知内LC (若獅子会)	① 期首 21名 支部会員 19名 (家族会員 1名) (女性会員 1名) 正会員 21名 ② 新会員増強目標 3名 (一般会員 3名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 6名 ④ 研修予定は無いが、ACT参加を通じ協働一体感の意識づけ ⑤ 共に友に前へ我ら奉仕 ⑥ ・ACT創出 ・会員増強 ・ACT全員参加 ⑦ 改革方針は特になし	⑧ 献血ACT(春と秋 年2回) 交通安全該当啓発(春と秋 年2回) 町福祉施設タオル、Xmasケーキ贈答 少年野球大会 etc ⑨ 有・無 新規ACT内容 公共施設整備等(簡易塗装など) ⑩ 有・無 内容	⑪
松前LC	① 期首 29名 (家族会員 3名) (女性会員 7名) 正会員 29名 ② 新会員増強目標 4名 (一般会員 2名) (家族会員 1名) (女性会員 1名)	③ 6名 ④ 特に考えていないが、諮問委員会等で開催してもらえれば参加させ たい ⑤ 【笑顔で楽しく We Serve】 キーワード「和」 ⑥ 会員みんなが例会・アウト等、笑顔で参加できるよう工夫していきたい ⑦ 会員の高齢化に伴い、アウト等の実施回数が減少傾向になっている 若い会員の募集等に努めたい	⑧ 年3回の献血推進運動 松前LC桜木・LC広場の環境整備 交通安全運動 町内保育園児へのクリスマスケーキの贈答 ⑨ 有・無 新規ACT内容 ⑩ 有・無 内容	⑪
函館一楽LC	① 期首 46名 (家族会員 1名) (女性会員 7名) 正会員 45名 ② 新会員増強目標 5名 (一般会員 3名) (家族会員 1名) (女性会員 1名)	③ 41名 ④ 今のところ、ありませんが、今後、検討します ⑤ 勇往邁進 一番楽しいクラブを創造する! 笑顔と感謝で We Serve! ⑥ 新入会員増強目標5名 定例会出席率の向上 会員同士の親睦を深め、新会員のフォローを徹底する ⑦ 定例会の出席率70%以上 委員会活動の充実・活性化	⑧ 少年軟式野球大会 チャリティー納涼祭他 ⑨ 有・無 新規ACT内容 チャリティー納涼祭(青少年育成事業) ⑩ 有・無 内容	⑪

【就任にあたってのご挨拶】

第2R第1Z ゾーンチェアパーソン

L 阪井 大輔

今期、室蘭キャビネット、第2R第1Z、ゾーンチェアパーソンを仰せつかりました、黒松内 LC 所属、L 阪井 大輔と申します。この度は、キャビネットと各クラブが緊密に連携していく上で非常に重要な役割を担うゾーンチェアパーソンに就任させて頂いた事に大きな喜びを感じる一方、その責任の重さに身の引き締まる思いをいたしております。

私は、コロナ過全盛期の伊達キャビネット時代に一度ゾーンチェアパーソンの機会を頂きましたが、審問委員会は zoom、クラブ訪問は zoom か未実施となるなど、ゾーンチェアの役割を果たすことができませんでした。もう一度頂いたこの大役ですが、今度はしっかりとゾーン内クラブの会員の皆様の心こもった奉仕活動をキャビネットと連携してお手伝いしていきたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。

【活動方針】

今期、室蘭キャビネット、第2R第1Z、ゾーンチェアパーソンを仰せつかりました、黒松内 LC 所属、L 阪井 大輔と申します。この度、ゾーンチェアパーソンに就任させて頂いた事に大きな喜びを感じる一方、その責任の重さに身の引き締まる思いをいたしております。

ゾーンチェアパーソンとは「クラブの支援・調整・成長を促す」、「クラブ間のつながりを作り、地域社会に貢献する調整役」という大きな役割があります。その役割を達成するためには自分自身がしっかり行動して、学んで必要なスキルを身につけなければならないと考えております。まずは諮問委員会の内容の充実、クラブ訪問による活性化へのお手伝い、研修会の企画を早い段階で行っていききたいと思います。

一年間はあっというまに過ぎてしまいますので、第2回諮問委員会までに1回目のクラブ訪問を実行して、その中で把握した課題等をキャビネットとしっかり連携して解決とクラブ活性化に取り組んでまいります。

1年間どうぞよろしく願いいたします。

【キャネット役員就任挨拶】

2R2Z ZCP L古谷 征宗（倶知安LC）

この度ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区キャビネット役員として、第 2R 第 2Z のゾーンチェアパーソンを拝命いたしました、倶知安 LC 所属、L 古谷征宗でございます。

大役を仰せつかり身の引き締まる思いであるとともに、地区の発展に貢献できる機会をいただいたことに深く感謝申し上げます。

ゾーンチェアパーソンとして、ゾーン内の各クラブ間の連携強化や会員増強への貢献に力を入れてまいります。

微力ではありますが誠心誠意努めますので、何卒ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

- ① 現在の会員
- ② 新会員増強目標
- ③ 家族会員の内規は有りますか？
- ④ 家族会員の内規の作成予定は有りますか？
- ⑤ 今年度の会長スローガン
- ⑥ 今年度の会長方針
- ⑦ 今年度の改革方針
- ⑧ アクティビティ内容
- ⑨ アクティビティ新規
- ⑩ 継続アクティビティの見直しは有りますか

第1回ガバナー諮問委員会(ソーン会議)開催予定日： 8月30日(土) 開催場所： 黒松内町
※ セミナー開催の内容

(ZCへの質問) ⑩ ソーンチェアパーソンの目標は？

クラブ名	会員動向	今年度の活動目標・改革目標	アクティビティ	ソーンチェアパーソン目標
小樽中央 LC	① 期首 22名 (家族会員 0名) (女性会員 3名) 正会員 25名 ② 新会員増強目標 3名 (一般会員 2名) (家族会員 1名) (女性会員 1名)	③ 内規あり ④ ⑤ ウィサーブ モア ⑥ スローガンに掲げた新たな奉仕活動を多く実施する ⑦ 別になし	⑧ 七夕・クリスマス交通安全キャンペーン 小樽少年軟式野球夏季大会へ協賛 小樽市総合博物館自由研究作品展協力 ⑨ 有・無 新規ACT内容 検討中 ⑩ 有・無 内容	⑪ 新しい奉仕活動を後押しする 会員増強の後押し
俱知安 LC	① 期首 52名 (家族会員 4名) (女性会員 5名) 正会員 52名 ② 新会員増強目標 3名 (一般会員 3名) (家族会員 1名) (女性会員 1名)	③ 内規あり ④ ⑤ 奉仕の心で実感する 幸せな地域を目指して ⑥ ・65周年に向けて会員一丸となり活動し、活力あるクラブを未来へ繋ぐ ・地域の皆様と共に、奉仕活動を通して幸せを実感する ⑦ ・例会・事業への出席率の向上 ・入会5年未満の会員の資質向上	⑧ 65周年記念事業、献血活動 じゃが祭りねふた練り歩き・雪トピア (共に薬物乱用防止啓発活動) ⑨ 有・無 新規ACT内容 検討中 ⑩ 有・無 内容	⑪ 65周年事業および式典の成功に 協力する 会員増強の後押し
小樽みなと LC	① 期首 41名 (家族会員 1名) (女性会員 1名) 正会員 41名 ② 新会員増強目標 3名 (一般会員 3名) (家族会員 1名) (女性会員 1名)	③ 内規あり ④ ⑤ 愛する小樽 地域奉仕の輪 そして未来へ キーワード 絆 ⑥ 未来に向けての会員増強(目標会員50名) ⑦ 会員増強の一環として女性会員も積極的に受け入れます	⑧ 小樽スクール文化フェスティバルの継続 青少年の育成事業 ⑨ 有・無 新規ACT内容 2026年小樽みなとライオンズ65周年事業 に向けて検討中です ⑩ 有・無 内容	⑪ 今年度の改革を応援する 会員増強の後押し
ニセコ LC	① 期首 41名 (家族会員 12名) (女性会員 1名) 正会員 29名 ② 新会員増強目標 1名 (一般会員 1名) (家族会員 1名) (女性会員 1名)	③ 内規あり ④ ⑤ 小さな一歩 大きなインパクト ⑥ 地域に密着した支援 ⑦ 組織の活性化と参加者拡大	⑧ マラソン大会参加者へじゃがいも提供ACT 花火大会お菓子提供ACT・献血奉仕ACT クリーン作戦 あそぶっくへの図書購入助成ACT ⑨ 有・無 新規ACT内容 昨年度インフルエンザにより実施できなかった 「道外出身ニセコ高校生へのスキー体験ACT」 ⑩ 有・無 内容	⑪ 小さな一歩を後押しする 会員増強の後押し
小樽うしろ LC	① 期首 26名 (家族会員 1名) (女性会員 3名) 正会員 25名 ② 新会員増強目標 2名 (一般会員 2名) (家族会員 1名) (女性会員 1名)	③ 内規あり ④ ⑤ 新たな一歩・未来への挑戦「ウィ・サーブ」 ⑥ 会員増強 ⑦ 社会貢献・検討中	⑧ バレーボール・空手・サッカー ダンスパーティー ⑨ 有・無 新規ACT内容 検討中 ⑩ 有・無 内容	⑪ 新たな一歩を後押しする 会員増強の後押し

【ゾーンチェアパーソン就任挨拶】

第3R第1Z
ZC L遠藤 勝也（室蘭LC）

このたび、第3R第1Zゾーンチェアパーソンを拝命いたしました、室蘭LC所属のL遠藤勝也です。

先人たちが築き上げてこられた奉仕の精神と、仲間との強い絆に深く敬意を表し、それらを受け継ぐ責任の重さを感じております。

本年度の地区ガバナースローガン『誇りをもとう 未来へつなぐ奉仕の心』のもと、各クラブがそれぞれの強みを活かしながら、互いに学び合い、支え合える関係づくりに努めてまいります。

地域に根ざす奉仕を通じて、喜びと達成感を分かち合える一年となるよう、誠心誠意 尽力してまいりますので、どうぞご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

【ゾーンチェアパーソン活動方針】

地区ガバナースローガン『誇りをもとう 未来へつなぐ奉仕の心』キーワード“Take Action（行動を起こす）”を受け、私は各クラブが主体的に行動し地域に誇りを持って奉仕活動できるよう、微力ながらお手伝いをさせていただきたいと思っております。

主な活動方針は地区ガバナーの基本方針を踏まえて以下の通りです。

1. 会員増強と育成を推進する
2. LCIFへの理解と支援の促進を図る
3. 地域に根差した奉仕の継続と新規活動への挑戦を推奨する

この一年、ZCとして皆さんと一緒に楽しく、そして誇りをもって行動していきたいと思っておりますので、各クラブの皆様のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

それぞれのクラブが持つ力を信じて支え合い、未来へ奉仕の心を笑顔と行動でつないでいきましょう！

- ① 現在の会員
- ② 新会員増強目標
- ③ 在籍5年未満の会員数
- ④ 今期の在籍5年未満のライオン研修開催の予定（研修内容を教えてください）
- ⑤ 今年度の会長スローガン
- ⑥ 今年度の会長方針
- ⑦ 今年度の改革方針
- ⑧ アクティビティ内容
- ⑨ アクティビティ新規
- ⑩ 継続アクティビティの見直しはありますか

第1回ガバナー諮問委員会(ゾーン会議) 開催予定日: 8月20日(水)
開催場所 室蘭プリンスホテル
※ セミナー開催の内容

(ZCへの質問) ⑪ ソーンチェアパーソンの目標は?

クラブ名	会員動向	今年度の活動目標・改革目標	アクティビティ	ソーンチェアパーソン目標
室蘭LC	① 期首 27名 (家族会員 7名) (女性会員 2名) 正会員 14名 ② 新会員増強目標 2名 (一般会員 2名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 6名 ④ 無し ⑤ 原点復帰 今こそ真の奉仕活動を!! ⑥ 誇りを持って心を繋ぐ! ⑦ 事務の効率化とアクティビティの高度化 持続可能な財務体制の構築	⑧ ・みたら、地球岬の「幸福の鐘」補修 ・むろらんだいすき絵画展 ・ヘアドネーション ・人と旗の波運動 ・ハートフルパークゴルフ大会 ・傾聴ボランティア ・赤い羽根募金 ・緑の羽根募金 ・歳末助け合い募金 ・献血 ・ビアパーティー 他 ⑨ (有) ・ 無 新規ACT内容 ・子ども食堂 ・室蘭アートプロジェクトなど地元で活動する 団体・個人への支援 ⑩ 有 ・ (無) 内容	⑪ 地区ガバナーの基本方針を受け 責務を全うしたい
洞爺LC	① 期首 83名 (家族会員 21名) (女性会員 8名) 正会員 61名 ② 新会員増強目標 2名 (一般会員 2名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 10名 ④ 無し ⑤ 「さあ、未来に向けて We Serve」 ⑥ 1. 会員が集い、地域社会に奉仕と地域貢献するクラブを目指す 2. 会員増強・会員維持に努める 3. リーダーシップの育成 ⑦ 会員増強と出席率の向上	⑧ ・第42回知的障害施設 清水友愛の里 園生との交歓会の開催 ・第39回洞爺LC旗争奪 洞爺湖新人少年野球大会の主催 ・社会福祉協議会への基金寄贈 毎年5万円、本年度51回目、使用済み 切手やタオルの寄贈 ・町民総ぐるみ黄色い旗の波運動への 参加、交通安全キャンペーンへの参加 ・献血運動の推進 ・ヘアドネーションへの協力 ・洞爺湖畔清掃活動 ・子供食堂への協力 ・町内イベントの協力 ・青葉山道整備への協力 ⑨ (有) ・ 無 新規ACT内容 洞爺ライオンズクラブ65周年を通じた アクティビティ ⑩ 有 ・ (無) 内容	⑪ 地区ガバナーの基本方針を受け 責務を全うしたい
伊達LC	① 期首 51名 (家族会員 9名) (女性会員 9名) 正会員 33名 ② 新会員増強目標 2名 (一般会員 2名) (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 5名 ④ 無し ⑤ 「楽しむ。」 ⑥ クラブ活動を楽しむ。 ⑦ 会員数の減少により40代、50代の若手会員が主軸となって活動しな ければならない状況となっています。例会や活動よりも仕事を優先する 必要もあるため、担当者のクラブ活動の時間的負担を少なくできるように したいと思います。	⑧ ・清掃活動 ・献血呼びかけ ・交通安全運動「旗の波運動」参加 ・植樹 ・市内中学校弁論大会の後援 ・西胆振少年野球連盟への助成 ・新入学児童への交通安全啓発 ・歳末助け合い運動募金 ・緑の羽根募金 ⑨ 有 ・ (無) 新規ACT内容 ⑩ 有 ・ (無) 内容	⑪ 地区ガバナーの基本方針を受け 責務を全うしたい

ゾーンチェアパーソン就任の挨拶と感謝



3R-2Z

L田中 秀治(登別LC)

ZCを拝命いたしましたL田中秀治です。

本来、ゾーンチェアパーソン予定者でございました登別ライオンズクラブ会長故田中寛志Lが、去る6月末、企画されたロータリークラブとの合同アクティビティ（登別外国人交流）の日に、突然ご逝去されました。LCが大好きで、各種ご貢献をされた故人の功績に感謝申し上げ、謹んでご冥福をお祈りいたします。このような状況下で、急遽、故人の遺志を継ぎZCの大役をお引き受けしました。微力ですが皆様のご支援とご協力を賜ります様、お願い申し上げます。

この度、新年度構成員の変更に伴い、L高橋伸介ガバナー、L本所光男地区名誉顧問には適確なるご助言・ご指導を賜りました。また、第3R1Z・ZC 遠藤 勝也L(室蘭LC)・白老LCのL島田明美会長には温かいご配慮、更に、快く会則 委員会委員長をお引き受けくださった戸田克利Lはじめ、白老LCメンバーの皆様に対して、登別LCは沢山のお心遣いや同士の支えに心より実感・感謝しております。ありがとうございました。

何とか新ガバナーL高橋伸介丸に間に合い乗せて頂きましたのでゾーンの為に努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

報告 第 3R 第 2Z ゾーンチェアパーソン

L 田 中 秀 治(登別 LC)

(登別・室蘭東・白老・登別中央 LC)

クラブ訪問基本質問事項(7項目)

- ① 奉仕活動 ……クラブは有意義な奉仕活動を行っているか
- ② LCIF・MJF ……取り組みは前向きか
- ③ クラブ報告書 ……定期的に報告されているか
- ④ クラブ役員 ……役員は効果的な役目を果たしているか
- ⑤ クラブ役員層 ……役員は毎年変わっているか
- ⑥ 例会 ……前向きで有意義・生産的か
- ⑦ 会員増強 ……会員増強に前向きか

その他

	登別 LC 会長	室蘭東 LC 会長	白老 LC 会長	登別中央 LC 会長
① 奉仕活動	市内の多くの団体を巻き込み、年 2 回の海岸清掃、障がい者団体への豆まきや餅つき、中学生を対象とした主張大会開催、7 施設へのタオルボランティア、市への図書贈呈等、他にも多くの市民から認知されている有意義な奉仕活動が展開されている	青少年育成弓道大会、青少年サッカー大会(R6 より)の主催、障がい者と保護者とのボートレース大会、R 東室蘭東口花壇整備、イタンギ浜清掃、室蘭市人と旗の波運動の参加、暴走放の参加、社会を明るくする運動等各種市民運動への参加。	薬物乱用教室・旗の波・献血奉仕等を行う予定です。	行っています
② LCIF MJF	LCIFは予定通り MJFはその年によるが出来る範囲で取り組んでいる	LCIFは委員長を輩出し積極的に取り組みます。 MJF 例年通り	各メンバーへの声掛けを行います。	前向きです
③ クラブ報告書	事務局より定期的に報告されている	・幹事を中心に速やかに報告予定	報告しています	報告しています

	登別 LC 会長	室蘭東 LC 会長	白老 LC 会長	登別中央 LC 会長
④ クラブ役員	自身の役にとらわれず互いの協力体制が図られている	・キャビネットとの精査を図り、適材適所で配置し、より効果的な組織体とした	果たしています	果たしています
⑤ クラブ役員層	人財(会員)不足の影響も踏まえ、固定的な役員は否めない	・新旧会員入替で、若い世代には経験を積んでいただけるような配置とした。	毎年変わっています	変わっています
⑥ 例会	参加者の全員の 3 分間スピーチ取り入れるなど、充実していると思う	・本年度は、ガバナを輩出したことや 65 周年記念式典を挙行することになり、例年以上多忙な年となり、会員も使命感を持ちながら積極的に参加している	前向きに例会活動を送っています	前向きに行っています
⑦ 会員増強	財源不足の課題を抱えており、前向きと思われる	・最初の例会で、2 名の新入会員の承認をして頂いた。8 月に更に 2 名の入会が予定されている	各自の声掛け等を行っています	前向きです
その他		・ガバナーを輩出し、11 月には 65 周年記念式典、3 月にはチャリティイベントスパーティ、4 月には年次大会と非常に忙しい 1 年間で、各近隣クラブには協力をお願いしたい		

【ゾーンチェアパーソン就任挨拶】

第4R第1Z ZC L藤本 圭（函館元町LC）

この度、331C地区第4R第1Z、ゾーンチェアパーソンを拝命いたしました藤本 圭と申します。

歴代の諸先輩方の築かれた実績を受け継ぎ、高橋ガバナーの元 各クラブの活動がより円滑かつ活発に行われるよう、橋渡し役として誠心誠意努めてまいります。

また各クラブの絆を深め会員同士が互いに刺激を受けながら学び合える一年にしたいと思います。

未熟な点多々ございますが、皆様のご協力を賜りながら進んで行こうと思います。よろしくお願い致します。

【活動方針】

会員増強、クラブ活性化を目標とし

1. 「入会して貰えるクラブ環境作り」を目標とし、各クラブの魅力を高める活動に取り組む。
2. 会員満足度を向上し既存会員の定着を目標に例会、アクト等、活動の活性化に取り組む
3. 各クラブの連携を深化させ、情報共有や役割分担を軸に各クラブが互いに協力し合い、効果的かつ無理の無い奉仕活動の実現を目指す。

以上となります。宜しくお願い致します。

【ゾーンチェアパーソン就任挨拶】

第4R第2Z ZC L吉田 尚平（函館中央LC）

この度、第4R第2Zのゾーンチェアパーソンを拝命致しました、函館中央ライオンズクラブ所属のL吉田尚平です。今期のガバナースローガンの「未来へつなぐ奉仕の心」の下、キャビネット運営に努めさせて行きたいと思えます。一方現実には、会員の減少・高齢化が一層加速しております、スローガンにあります～未来につなぐ～ためにも、会員の増強と若い方々の退会防止なども注視していかなければと思えます。

今期一年、各クラブの皆様、よろしくお願ひ致します。

【ゾーンチェアパーソン就任挨拶】

第5R第1Z ZC L平野井 裕

この度、第5R第1Zゾーンチェアパーソンに就任いたしました静内ライオンズクラブL平野井裕でございます。

諸先輩方がいる中、この様な大役を仰せつかる事は大変恐縮ではありますが、1年間務めさせていただきたいと思っております。

ゾーンチェアパーソンとしては、L高橋伸介ガバナーの基本方針をしっかりと理解し、各クラブへ丁寧に伝達し、それぞれのクラブの実情等を把握して、キャビネットに伝えるとともに各クラブからの意向等を確認してキャビネットとの橋渡し役になればと思っております。

各クラブの皆様方にはご指導ご協力を心からお願い申し上げ就任の挨拶とさせていただきます。

「活動方針」

1、【会員増強】

第5リジョン第1ゾーンの各クラブには、新入会員増員目標通りの取り組みをいただき、その支援となる情報等をキャビネットと共に各クラブへ提供するとともに、各クラブからの会員増強の悩み等の情報を共有し、会員増強の活性化を図る。

2、【奉仕活動】

第5リジョン第1ゾーンの各クラブには、継続アクティビティの実施や新しいアクティビティの情報提供等により、ライオンズクラブの社会奉仕活動や地域での奉仕活動を市民や町民に対しPRし、会員増強への軌跡となる様な活動を行う。

3、【LCIF】

全クラブの会員1名20ドル以上、50ドル～100ドル献金協力に向け、様々な情報提供をキャビネットと共に行い、目標達成を促す。

4、【情報提供・情報共有】

第5リジョン第1ゾーンの各クラブとコミュニケーションを図り、現在の状況や今後に向けた問題解決等、様々な情報をキャビネットと共に共有し、必要な情報を各クラブへ提供出来るよう活動するとともに、各クラブからの提案等に対してもキャビネットと共有し、真摯に向き合う活動を行う。

【ゾーンチェアパーソン就任挨拶】

第5R 第2Z
ZC 真保 郵生 (安平LC)

この度、第5リジョン第2ゾーンのゾーンチェアパーソンを拝命いたしました安平ライオンズクラブのL真保郵生と申します。

私は、今期6年目でまだまだ勉強中の身でございますが、メンバーの皆様にご迷惑を掛けぬよう鋭意努力してまいりたいと思っておりますので一年間、何卒よろしくお願い申し上げます。

【 ゾーンチェアパーソン活動方針 】

- ① 現在の会員
- ② 新会員増強目標
- ③ 在籍5年未満の会員数
- ④ 今期の在籍5年未満のライオン研修開催の予定（研修内容を教えてください）
- ⑤ 今年度の会長スローガン
- ⑥ 今年度の会長方針
- ⑦ 今年度の改革方針
- ⑧ アクティビティ内容
- ⑨ アクティビティ新規
- ⑩ 継続アクティビティの見直しはありますか

第1回ガバナー諮問委員会(ゾーン会議)開催予定日： 9月5日～6日(金・土)
開催場所： 苫小牧市内 *第1・第2合同開催予定
※ セミナー開催の内容

(ZCへの質問) ① ゾーンチェアパーソンの目標は？

クラブ名	会員動向	今年度の活動目標・改革目標	アクティビティ	ゾーンチェアパーソン目標
苫小牧中央LC	① 期首 77名 (家族会員 0名) (女性会員 3名) (支部会員 19名) 正会員 58名 ② 新会員増強目標 5名 (一般会員 3名) (家族会員 0名) (女性会員 2名)	③ 43名 ④ ⑤ ともに描く物語が未来を創る～We Serve ⑥ 1、人と人をつなぐ奉仕活動・私たちが地域の子供達や社会的弱者との交流、次世代への継承・若い世代に奉仕の心を学ぶ機会を提供する 3、会員どうしのビジョン「物語」の共有・その時々々の活動をリアルタイムに共有 ⑦ 上記方針の中にもある会員同士の活動の共有	⑧ ・苫小牧中央ライオンズクラブサッカー-中学生大会 ・苫小牧特別支援学校 課外活動アクティビティ(支部クラブ合同アクティビティ) ・子ども食堂へ寄付 ⑨ 無 新規ACT内容 現在のアクティビティの充実を中心にしていきたい ⑩ 無 内容	① ガバナーの思いをしっかりと伝えていきたい。
安平LC	① 期首 33名 (家族会員 2名) (女性会員 3名) 正会員 33名 ② 新会員増強目標 4名 (一般会員 2名) (家族会員 1名) (女性会員 1名)	③ 10名 ④ ⑤ WE SERVE 未来へつなごう ⑥ 力を合わせ共に分かち合える奉仕で未来へつなごう ⑦ ・ライオンズクラブの会員研修(ライオンズを知り、理解を深める)	⑧ ・うままつり出店 ・献血協力受け付け ・新入学児童へ入学祝 ・災害支援(飲料) ・市内こども園へ絵本寄贈 ・歳末助け合い奉仕 ・タオルボランティア(随時) ・ライオンズデー奉仕(環境整備、交通安全街頭啓発) ・環境整備(巻) ⑨ 無 新規ACT内容 ⑩ 無 内容	① ガバナーの思いをしっかりと伝えていきたい。
厚真LC	① 期首 30名 (家族会員 2名) (女性会員 2名) 正会員 30名 ② 新会員増強目標 4名 (一般会員 2名) (家族会員 1名) (女性会員 1名)	③ 7名 ④ ⑤ つなげよう 奉仕の心 明るい未来へ ⑥ 昨年度の50周年を一区切りとして新たな気持ちで奉仕に取り組む ⑦ 会員相互の結束と次世代への継承	⑧ 地区ガバナースローガン・会長スローガン関係、清掃活動、タオルボランティア、 義経塾老人志願院代替え義経塾後援、厚真町内の青少年対象社会生活指導行事の支援 銀のぼり関係、厚真町田舎まつり協賛、献血PR、交通安全街頭啓発参加 ⑨ 無 新規ACT内容 ⑩ 無 内容	① ガバナーの思いをしっかりと伝えていきたい。
苫小牧白鳥LC	① 期首 46名 (家族会員 0名) (女性会員 5名) 正会員 46名 ② 新会員増強目標 3名 (一般会員 2名) (家族会員 1名) (女性会員 1名)	③ 9名 ④ ⑤ 『みんな笑顔でWe Serve』 ⑥ 会員増強と維持に努め、活動の原点である例会では、会員同士の理解を深める 明るい例会を目指します ⑦ 50周年が控えておりますので60年、70年とクラブが発展するよう、若い会員増強を 中心に進めていく	⑧ 小学校陸上競技大会・NPO法人「木と風の香り」金銭支援 苫小牧市への福祉用具寄贈・新入学児童交通安全ACT(文房具寄贈) 桜の木育成・苫小牧白鳥LC杯中学校アイスホッケー大会 ⑨ 有 新規ACT内容 現在検討中 ⑩ 有 内容 苫小牧白鳥LC杯中学校アイスホッケー大会	① ガバナーの思いをしっかりと伝えていきたい。
ZC 補足事項				

【就任挨拶】

地区大会・国際大会 委員会
委員長 L 高橋 國夫（室蘭 LC）

この度、地区年次大会委員長に就任しました、室蘭ライオンズクラブ所属 L 高橋國夫です。

今春の函館大会でも次期委員長として挨拶したとおり 331-C 地区第3リジョンは重厚長大な工業地帯室蘭、歴史と農業の伊達、温泉観光の洞爺・登別、ウポポイで売り出し中の白老とございますが全地区で共通なのは豊富な海産物です。

きっと、皆様に参加してよかったとっていただけるような大会にする所存です。ぜひ、来年の室蘭大会にお越し下さい。

委員会一同多数の参加を心からお待ちしております。

<ご挨拶>

薬物乱用防止・YCE・ライオンズクエスト委員会を担当することになりました、室蘭ライオンズクラブの児玉です。

若年者による大麻使用や、市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）が社会問題化しています。そのため、子どもたちに薬物に対する正しい知識と危険性を伝えるため、薬物乱用防止教室を開催するとともに、薬物乱用防止教育講師認定講座も実施したいと思います。

YCE 交換生の受け入れや派遣については、ホストクラブ・ホストファミリーを開拓できるよう情報収集に努めたいと思っています。

また、子どもたちの「わかる（知識）」を「できる（行動）」にする力、「ライフスキル」が学べる、ライオンズクエストの普及にも取り組んでいきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

薬物乱用防止・YCE・ライオンズクエスト委員会

委員長 児玉 智明

ライオンズクラブ国際協会 331-C地区
次世代リーダー研究委員会 環境保全・社会福祉委員会
委員長 L 瀬野 秀紀 (伊達LC)

就任挨拶

「誇りをもとう 未来へつなぐ奉仕の心」のガバナースローガンを基に、さまざまな奉仕活動に取り組まれている皆さまと手を携え、私たち室蘭キャビネットの力を通して、より大きなインパクトを地域にもたらせるよう努力していく所存です。

また、メンバー一人ひとりの思いを大切にしながら、多様な価値観とアイデアを取り入れ、参加しやすく、やりがいのある奉仕活動の場づくりを継承していきたいと考えております。

最後に、本年度も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますと同時に、皆さまとともに歩む一年が実り多きものとなるよう、心より願っております。

どうぞよろしくようお願い申し上げます。

【就任挨拶】

LCIF 委員会
アラート委員会
エクステンション委員会
委員長 L 早坂 憲二（室蘭東 LC）

今年度LCIF、アラート、エクステンション委員会の委員長を務める
事になりました

L早坂憲二です。どうぞ宜しくお願い致します。

この3つの委員会全てにおいて、全クラブメンバーお一人お一人様
のご協力なしでは運営が成り立たない委員会と感じております。

近年では、世界各国私共の住む日本全国そして北海道においても大
地震、豪雨、風災とあらゆる災害が発生しておりますが、災害救援、
人的支援、災害支援金他あらゆる災害に対する物資支援、ボランティ
ア活動等で全クラブメンバー様の支援とお力が必要であります。

メンバー増強、又は新クラブ設立等も含め、皆様方をお願い申し上
げご挨拶に代えさせていただきます。

【就任挨拶】

視力障害・糖尿病委員会
献眼献血委員会
委員長 L目良 浩一(洞爺LC)

今期、L高橋伸介ガバナーのもとで視力障害・糖尿病委員会 献眼献血委員会の委員長を仰せつかりました洞爺ライオンズクラブのL目良 浩一です。

献血活動については、北海道赤十字と協働でより一層の啓蒙活動や地域アクティビティの活性化が図れればと考えております。また糖尿病予防においては地域の方々に糖尿病のリスクを理解していただき、糖尿病の発症予防に取り組んでいただけるよう健康講演会を企画したいと考えております。

キャビネットの役職は初めてのため何かと至らないこともあるかと思いますが、1年間どうぞ宜しくお願い致します。

就任挨拶

地区会則委員長

委員長 L 戸田 克利（白老 LC）

今期、地区会則委員会 委員長を務めさせていただきます白老 LC
L 戸田です。

責任の大きい役職を受けるにあたり役不足ではありますが頑張っ
ていきたいと思ひます。この役割を全うできるよう努力して参りま
す。1年間よろしくお願ひいたします。

【就任挨拶】

ECHO・IT委員会

委員長 L永井 武憲(伊達LC)

この度、L高橋 伸介ガバナーのもと、エコー・IT委員会委員長を仰せつかりました伊達ライオンズクラブのL永井 武憲です。

エコー誌は、年4回発行いたします。内容としましては、キャビネットの活動報告や各クラブのアクティビティを中心に掲載し、各クラブのアクティビティの内容はHPブログの投稿記事から採用させていただきます。

高橋ガバナーの意向を取り入れ、今年も多くの記事を掲載していきたいと思っておりますので、会員皆様のご協力よろしくお願いいたします。

【キャビネット運営委員会 委員長 就任挨拶】

L 西 條 隆（室蘭東ライオンズクラブ）

この度、キャビネット運営委員会委員長を務めさせて頂くことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

地区出向経験が乏しい中での運営委員長という大役、地区キャビネット幹事よりご指示を仰ぎながら諸責務を務めていく所存でございます。

今期、地区ガバナースローガン「誇りをもとう 未来へつなぐ奉仕の心」キーワード Take Action「行動起こす」に向けて、ホストクラブよりご輩出頂いた7名の副委員長と力を合わせ円滑な運営に心掛け、地区内の会長をはじめといたしますクラブメンバーの皆様と共に有意義な1年となるように頑張ります。

キャビネット運営に際しお力添えを頂けますように重ねてお願い申し上げます。

【活動方針】

・諸会議(研修会、キャビネット会議、長期計画リサーチ委員会、名誉顧問会など)、懇親会場の設営、運営、撤去全般

- ① 出欠・資料作成(次第、会議資料、座席表など)
- ② 設営・受付(キャビネット旗、ライオンズクラブ旗(紫色の旗)、国旗、ガバナー
スローガン、地区ガバナースローガン会議横断幕、飲み物、会議資料の配布、
座席ネームプレート設置)、キャビネット事務局員と運営員会
- ③ 運営(司会進行、記録(映像、写真、音声など)、その他必要な事項)
- ④ 議事録の作成(キャビネット会議終了後10日以内作成・HP掲載)
- ⑤ ホームページへの会議資料の掲載
- ⑥ エコー誌への諸会議の様子や内容の掲載
- ⑦ ZOOM 会議のご案内・開催・運営など
- ⑧ その他必要な事項



LIONSCLUB 331-C DISTRICT GOVERNOR'S CABINET



ライオンズクラブ 国際協会 331-C 地区

室蘭キャビネット事務局

〒050-0083 室蘭市東町5丁目15番18号 2F
TEL (0143)84-1411 FAX (0143)84-1422
E-mail : lci331c_muroran-cab@lionsclubs-331c.org

